

「小江戸塾」10年の歩み



竹馬乗り(大東南公民館)



折り紙でつるし雛作り(中央公民館)



小学4年生の総合学習(仙波小学校)



小畔川自然探検隊(伊勢原公民館)



川越シニア大学『小江戸塾』



「小江戸塾」マークについて（2008年11月制定）阿部 恒男 作

全体イメージ：川越市のイメージを継承

シンボル：鐘つき堂、家族社会構成のバランス

※個々の表現

鐘つき堂：川越市と一環活動の表示

3個の丸：住民（3世代／社会構成のバランス）

大リング：市、住民社会との触れ合い（手を取り合う）

真中の小江戸塾：地域の中で主体性、また地域から求められる存在

「『小江戸塾』10年の歩み」発行にあたって

川越市シニア大学「小江戸塾」は、平成12年11月に高齢者を対象に、体験を通して「考える」「行動する」を大切にした学習会として開催され、専科では川越の歴史・自然を題材に川越を伝える学びをしました。平成14年3月に修了した第1期修了生の有志によって、「小江戸塾同窓会」を平成14年5月22日に設立しました。

平成16年度から講座名が「川越市シニアカレッジ『ふるさと塾』」となりましたので、『小江戸塾同窓会』の団体名を“川越シニア大学『小江戸塾』”と名称を変えて、川越市シニアカレッジ「ふるさと塾」の修了生等も会員に迎え拡大・充実してまいりました。

平成24年度をもちましてお蔭様で10周年を迎えることができ、ここに10周年を記念して「川越シニア大学『小江戸塾』10年の歩み」を発行する運びとなりました。

川越シニア大学『小江戸塾』は、この10年間に多くの修了生達が仲間入りし、研修や仲間づくり、そして今までの知識・経験・見識を活かして、公民館や小学校等で体験学習ボランティアなどを活発に行っております。

10周年記念誌編集委員会は、この間の実績や出来事を振り返りながら、簡潔に分かりやすく編集するため、地域活動等の写真を多用しました。年表は、会のトピックス、会の主な活動に加え、世の中の出来事をシンクロさせ思い出となるよう十大ニュース（時事通信社・共同通信社等）、その年の漢字（日本漢字能力検定協会）や広報川越の記事等を併載しました。まだまだ多くの記事を書きたいところですが、紙面の都合で会報「小江戸塾」や毎月発行している月報などの会員向け文書及び一般公開しているホームページURL

(<http://ko-edo.sakura.ne.jp/>) または「小江戸塾・体験学習」でインターネット検索の上、ご覧頂きたいと思います。

物心両面にわたりご協力いただいた川越市役所の方々・関係者の方々や会員の皆さまに深く感謝を申し上げます。

「『小江戸塾』10年の歩み」の発行を機に、今後、公民館・学校からのご依頼が増え、会員皆様が益々元気で楽しく誇りをもってご活躍できることに繋がれば幸いです。

平成24年10月吉日

川越シニア大学『小江戸塾』10周年記念誌編集委員会

・委員長：仲井 謙介

編集委員：

鈴木 二郎、北村 幹男、青木 政代、田島 晃義
山崎 有康、井山 幸之、飯田 静子

『小江戸塾』で大切にしたいこと

「学び」を支援できる人ってどんな人

- ・学び合う環境をつくることができる人と考えます

「学び合う環境をつくる」ってどんなこと

- ・信頼関係を築く支援ができることと考えます

信頼関係を築くために、ここでは以下のことを大切にしていきたいと考えます

自分も含めた参加者全員を、尊重し大切にする

- ・積極的に参加する
- ・心と身体の両面で安全に活動する
- ・体験を率直に受け入れ、自分の感じたままを正直に伝える努力をする
- ・目標を決め、その実現に向けて努力する
- ・否定的なことにとらわれず、前向きに取り組む
- ・自分や他者に対して思いやりと心配りの気持ちをもつ
- ・助けを必要としたら、助けを呼ぶ
- ・助けを求めている人がいたら、支援する

※第2期川越市シニア大学「小江戸塾」（平成14年5月～平成14年11月）報告書より転載

目次

『小江戸塾』10年の歩み発行にあたって	1
・『小江戸塾』で大切にしたいこと	
目次	3
祝辞	5
・お祝いのことば----- 川越市長 川合 善明	
・お祝いのことば----- 文化スポーツ部長 今井 孝雄	
・「小江戸塾」結成10周年を祝って-----中央公民館長 大嶋美紀夫	
・「小江戸塾」10周年更なる飛躍を期待して-----元教育総務部長 有山 達	
・小江戸塾10周年を迎えて -----『小江戸塾』会長 岩本 浩一	
・『小江戸塾』10周年に寄せて-----『小江戸塾』前会長 仲井 謙介	
・十年ひとむかし-----『小江戸塾』元会長 吉田 庄一	
・私の小江戸塾10年、活動の思い出-----『小江戸塾』元会長 金子 晃	
会員のひとこと	13
・飯田静子/早川定夫/藤田誠二/島村清治	・菅野仲夫/鯨井愛子/土井廣海/森下フミ子
・小川義和/内田昭雄/永堀均/新取守正/鎌田保	・本田清/佐野功/吉村勝矢/馬上武士/鈴木富士男
・梶野但/堀尾勝巳/村田昭夫/室井三男	・渋谷善正/田中哲夫/笛木次郎/森久美子
・阿部恒男/飯島一次/山本洋子/山崎敏江/水田勇	・岩本浩一/根本充男/山崎有康/泉隆臣
・宮崎大/鈴木二郎/高木章/佐竹良江	・鈴木健司/矢口孝次
クラブの歩み	23
・小江戸塾ハイキングクラブ/北村幹男/堀尾克巳/長谷川とみ子/平田隼一	・例会一覧
・パソコンクラブ/石坂克子/大野明美/藤本光枝	・パソコンクラブの歩み/代表 山崎有康
・「書とペン字」クラブ/代表 青木政代/榊原妙子/四十崎弘/宮内照雄	・「書とペン字」クラブの歩み
・史跡めぐりクラブ/小江戸塾10周年によせて	・史跡めぐりクラブの歩み
・小江戸塾さわやかダンスクラブ/代表 横溝善江/ダンスクラブ 鈴木二郎	
・ゴルフクラブ/ゴルフクラブ例会一覧/ゴルフクラブの回想 田島晃義	
『小江戸塾』地域活動担当の業務（抜粋）	34
資料編	35

会 員 ・ 会員数の推移/会員の地区別分布図 ・ 川越シニア大学『小江戸塾』 会員名簿	37
運営委員会 ・ 『小江戸塾』 企画運営委員会名簿/『ふるさと塾』 運営委員会名簿	
歴代役員 ・ 川越市シニア大学『小江戸塾』 同窓会歴代役員名簿/川越シニア大学『小江戸塾』 歴代役員名簿	
会 則 ・ 川越シニア大学『小江戸塾』 会則/川越シニア大学『小江戸塾』 細則	42
年 表 ・ 平成14（2002）年度 ～ 平成23（2011）年度	45
川越市シニア大学設立までの経緯 ◆社会的背景	55
（仮称）川越市シニア大学企画案 ～市民活動の推進～	57
川越市シニア大学『小江戸塾』 開講	64
川越市シニア大学『小江戸塾』 から川越市シニアカレッジ『ふるさと塾』 へ	72
写真で綴る『小江戸塾』の10年	79
・ 川越市シニア大学『小江戸塾』 第1期/第2期・平成16年度 川越市シニアカレッジ『ふるさと塾』 / 平成17年度「ふるさと塾」/平成18年度/平成22年度/平成23年度	
・ 企画部・同窓部・同窓担当/旅行/親睦/学習会	
・ 事務局/定期総会/市長へ要望書提出	
・ 小江戸塾のクラブ	94
①・小江戸塾ハイキングクラブ/②パソコンクラブ/③「書とペン字」クラブ/ ④史跡めぐりクラブ/⑤小江戸塾さわやかダンスクラブ/⑥ゴルフクラブ	
地域活動	101
・ インターネット「小江戸新聞 川越ほっと」/ペットボトルロケットを飛ばそう	
・ 体験学習/中央公民館「まちで遊ぼう!」 折り紙、お手玉/新河岸川観て、遊び隊/凧作りと凧揚げ/ 折り紙でつるし雛を作ろう/ペットボトルロケットを飛ばそう/川越城の七不思議を探そう/ 七夕祭りを楽しもう/節分会を楽しもう/折り紙、あやとり/お正月飾りを作ってみよう/ 名細地区湧水探検/竹馬、竹トンボ、水鉄砲/喜多院おもしろ探検/氷川神社おもしろ探検	
・ 体験学習/大東南公民館「みんなの広場」 コマを作って回しましょう/竹馬、竹トンボ、水鉄砲、 ぽっつくり/凧作りと凧揚げ/ペットボトルロケットを飛ばそう2010/ペットボトルロケットを飛ばそう2011/ 折り紙でつるし雛を作ろう	
・ 体験学習/伊勢原公民館「小畔川自然探検隊」	
・ 北公民館/北公民館かんきょう祭り「こどものひろば」2010、2011	
・ 仙波小学校4年生/総合学習……わたしたちの川 新河岸川	
広 報 ・ 小江戸塾 I Tグループ /小江戸塾ホームページ	136

お祝いのことば



このたび、川越シニア大学『小江戸塾』が、設立10周年の記念すべき年を迎えられ、ここに、10周年記念誌を発行されますことは、誠に意義深く心からお祝い申し上げます。

『小江戸塾』は、生涯学習を推進する行政の一環として、川越市教育委員会が開講したシニア講座の修了生が、親睦と地域社会活動の参加促進を図ることを目的に平成14年5月に設立された団体でございます。これまでの活動内容では、文化・歴史・人・まちづくりなどさまざまな視点から川越らしさを探求してきたこと、またこれまで培った豊かな経験を生かし、地域の市民活動として、日頃から公民館の子どもを対象とした事業や、市内の小学校などで、子どもたちの学習活動支援など多岐にわたり成果を挙げてこられました。これは、関係者皆様の絶え間ないご努力とご尽力の賜であり、深甚なる敬意を表するものであります。

さて、我が国をとりまく社会環境は、少子高齢化、地球温暖化に代表される環境問題の深刻化、地方分権の進展など、さまざまな要素が絡み合いながら、急激に変化しています。一方、私たちは科学技術の進歩や高度情報化により、利便性は手に入れましたが、人とのかかわりが希薄になり、心の豊かさなど大切なものを失いつつあると思われまます。

このような中でも、市民の皆様が、目標を持ち、心豊かな日常生活を送ることができれば、地域社会も活力に満ちたものになると確信しております。その源の一つになるのが生涯学習です。

生涯学習において最も大切なことは、年齢や性別、職業や学歴などにかかわらず、一人ひとりが充実した自己を目指し、自発的に、楽しみながら学習活動を続けられるということです。これは正しく、川越シニア大学『小江戸塾』が、10年に渡り活動してきた内容そのものでございます。

市では今後も、こうした市民の皆様がの学習活動を支援し、市民の皆様が、学習を通して人とつながり合い、健康でいきいきと暮らせるまちを目指してまいりたいと考えております。

結びに、川越シニア大学『小江戸塾』の益々のご発展と皆様方のご活躍をご祈念申し上げます。お祝いのことばといたします。

平成24年10月

川越市長 川合善明

お祝いのことば



川越市文化スポーツ部長

今井孝雄

川越シニア大学「小江戸塾」10周年おめでとうございます。これまでの皆様の着実な歩みに改めて敬意を表するとともに、10周年の記念をお祝い申し上げます。

さて、教育委員会が川越市シニア大学「小江戸塾」を平成12年11月に開催してから、すでに12年の年月が経とうとしています。いま、開講時を思い出してみると、当時は少子高齢社会への対応が急がれていました。社会的問題の解決や高齢者教育の活性化を目指し、より主体的で活動的な人たちに参加を求め、55歳以上の参加も可能とし年齢的にもより幅を持たせ、これまでになかったシニア層の社会教育関係団体を育成しようする計画でした。第1期開講には多くの参加者を迎えたことを思い出します。

あれから10年を経過した現在、統計によりますと我が国の65歳以上の人口比率は23%に達しているといわれます。国民の約4人に一人が65歳以上です。ちなみに、2000年の高齢化率は17%ですのでここ10年で急激に高齢化が進みました。しかも介護保険制度における支援や介護を要しない高齢者は65歳以上で約8割、75歳以上でも約7割となっています。多くの元気なシニア層が増加したということです。これらシニア層に新たな活動の場を提供したいと、教育委員会では生涯学習計画に基づきこれまで高齢者向けの事業を展開してきました。その大きな成果の一つが皆様の川越シニア大学「小江戸塾」の活動だと胸を張ることができます。

我が国は、税負担の問題、社会保障の問題など、社会システムの転換がまったなしの状況になっていることは誰もが感じていることだと思います。私もすでに「小江戸塾」に参加できる年齢に達しました。他人任せの転換は待てない。自らの意思と行動で対応したいと思う一人です。自らの居場所、活動場所、出番は自らが作り出すものと思います。先駆者のシニア大学「小江戸塾」の皆様の活躍を手本に自らの人生を歩んでいきたいと思います。末永い活躍をお祈りし、お祝いの言葉といたします。

「小江戸塾」結成10周年を祝って



川越市中央公民館
館長 大嶋 美紀夫

「小江戸塾」結成10周年、おめでとうございます。

「小江戸塾」は、平成12～13年度に開催した川越市シニア大学「小江戸塾」の修了生が集まり、川越市シニア大学「小江戸塾」同窓会が地域の資源を学習素材とした体験学習・野外活動プログラムを通して子どもたちの健全育成と地域づくりを願う組織として誕生したと聞いております。

国では、中央審議会第一次答申において、今後における教育の在り方について、ゆとりの中で、子どもたちに「生きる力」をはぐくむことが基本であり、「生きる力」は学校・家庭・地域社会が相互に連携しつつ、社会全体ではぐくんでいくものとして、家庭や地域社会における教育力を充実していくことが提案されました。生活体験が豊富な子ども、お手伝いする子ども、また自然体験が豊富な子どもほど、道德観・正義感が身についている傾向が見受けられるという報告書が提出されております。

小江戸塾の活動は、地域社会において子どもたちを対象に、様々な学びの機会の提供者であり、地域の木養育の担い手でもあり、まさに地域の教育活動団体であると理解しています。

公民館活動との接点は、中央公民館を会場に開催している「まちで遊ぼう!」伊勢原公民館の「小畔川自然探検隊」等多くの事業に小江戸塾さんと連携をとりながら事業を進めております。

また、小学校からの指導（講師）依頼もあり、地域社会から信頼される団体として着実に実績をのばしていることにたいし、敬意を表します。

公民館の事業は、ライフステージにおける課題の学習・現代的課題の学習・地域の教育力の3事業を柱に事業を展開しており、これからは、地域でお住まいの皆さんが、できることから地域活動を実践していただき、地域づくり・地域地域コミュニティーの醸成に役立つことが、地域の教育力の向上に繋がってくるものと理解しておりますので、公民館では地域で様々な教育活動を行っている団体の活動を支援してまいります。

これからも、お互いに連携しながら、地域社会における教育力が充実するよう、地域の担い手として、今後の活動に期待します。

「小江戸塾」10周年更なる飛躍を期待して



川越市教育委員会

元教育総務部長

有 山 達

川越シニア大学「小江戸塾」10周年おめでとうございます。心から皆様の積み重ねてきた10年の歴史に祝意を表したいと思います。

シニア大学が構想化されたのは、平成10年に策定した第一次生涯学習基本構想・基本計画の中であり、具体的に変わったのは平成12年の秋でした。この基本計画の中で、シニア大学は、「身に付けた知識・技術を活かす学習、地域活動の充実」等を目指すことが位置づけられていました。併せて、川越の歴史・文化、自然等について学ぶ「川越学」の構築も目指していきたいという願いがありました。企画委員の募集、関係課長会議、学長としての市長決裁を経て、広報募集で256名の方々が参加し、11月の開講式は市民会館が賑やかで、特に男性参加者の多くは仲間との出会いや学習に対する期待感など、熱気を持って爽やかな顔をしていた方々が多くいたことを記憶しています。2年間の学習を経て同窓会としての「小江戸塾」がスタートしたわけですが、特に定年退職後、地域社会にデビューしなければならない男性にとっては、楽しく生きがいを持って暮らすことが求められており、「小江戸塾」の皆さんにはその先達としての範を示してほしいと思います。

私も60歳を過ぎ、淡い緑の葉、夏には青い実が収穫できるブルーベリーを70種以上育てることに喜びを感じるとともに、野菜も種から蒔いて育てるスローライフ的な自然と調和した生活に充実感を感じるようになりました。一方、単位自治会の副自治会長として2年目を迎えましたが、イベントを通して地域住民のコミュニケーションを図り、地域を元気にしていくことの難しさを感じています。

「小江戸塾」の皆さんには、日々行っている個人の多様な活動が小江戸塾の活動の中で活かされる個と総合との有機的な関係の継続、ふるさと塾の企画運営、公民館の学習や子どもたちの学習をサポートする学校支援など、期待されている活動の充実と後輩たちへの継承を目指して、一人ひとりと「小江戸塾」が次の10年に向けてスタートできることにエールを贈り、お祝いの言葉とさせていただきます。

小江戸塾10周年を迎えて



川越シニア大学『小江戸塾』

会 長 岩 本 浩 一

川越シニア大学『小江戸塾』創立10周年を迎えることが出来ましたこと誠に喜ばしく全会員ともどもお祝いしたいと存じます。

初代仲井謙介会長をはじめ歴代の会長のもと役員・会員が一丸となって活発な活動を展開し、積み重ねてきた結果、今日を迎えることが出来たものと思う。

川越市生涯学習関係者・公民館・小学校等々のご指導ご支援ご協力の賜ものであることも確かである。

そして何よりも私たちの活動に参加してくれた子どもたち、この子どもたちの笑顔が私たちの活動にはずみをつけてくれ子どもたちから元気をもらい、次の活動の原動力となったといえよう。

こうしたすべての関係者に唯々感謝申し上げる次第であります。

子どもたちは社会の宝であります。子どもたちの健やかな成長は地域社会の活性化に欠かすことの出来ないことであり、伝統ある川越がますます発展していく為には必要なことといえましょう。

私たちは子どもたちの健やかな成長を目指して今後も活発な活動を展開し元気なシニアの生甲斐をここに結集していく覚悟です。

少子高齢化社会において私たち元気なシニアが子どもたちの為に出来ることは私たちが培った知識・経験を正しく伝承していくことではないでしょうか。

川越シニア大学『小江戸塾』はこうした考えのもと、次の10年に向けて意義ある活動を展開して参りたいと考えております。

関係各位の更なるご指導ご支援を心よりお願い申し上げます。

「元気なシニアここにあり」をモットーに活発な活動を展開して参りましょう。

「小江戸塾」10周年に寄せて



川越シニア大学『小江戸塾』

前会長 仲 井 謙 介

このたび川越シニア大学「小江戸塾」は設立10周年を迎えることができました。これまで着実に事業を進めることができましたのは、ひとえに関係者皆様の厚いご支援ご協力の賜物であり、心より感謝申し上げますとともに心から祝福致します。

川越シニア大学「小江戸塾」は、平成14年3月に修了した川越市シニア大学「小江戸塾」第1期生の有志により平成14年5月に「小江戸塾同窓会」として設立されました。

川越市シニア大学は、今まで各公民館で行われていた「高齢者学級」等と異なり、今まで会社等で培ってきた知識や技術を基に講座で学んだことを活かして、地域に貢献することでした。それは、私たちシニアが川越の歴史・文化、自然等について学んだことを子ども達に伝えて行くことが使命だと考えています。

平成16年度より講座名が川越市シニアカレッジ『ふるさと塾』と変更になり、同窓会は、団体名を“川越シニア大学『小江戸塾』”として『ふるさと塾』修了生等も加わり、「ふるさと塾」の企画・運営、公民館における子どもサポート、小学校への学習サポート等を活発に行って参りました。

『小江戸塾』で特筆すべきことは、今までの活動が無事故で実施されてきたことです。これは活動当初より中央公民館のご理解とご協力により、会員への安全研修を毎年実施してきたからです。加えて支援する会員には会にてボランティア保険に加入し、子どもたちに「生きる力」をはぐくむ心を大切に、安全・安心を第一に考え行動していることが皆様に評価され信頼されてきたからではないかと自負しております。小江戸と言われる郷土川越への愛着心と熱意、さらに奉仕の精神に支えられながら諸々の事業が行われています。

『小江戸塾』は、私の心の故郷であり、諸活動を行う上での原点でもあります。今後の20年周年記念に向けて更に組織を充実して事業も拡大していくことを楽しみにしています。

十年ひとむかし



川越シニア大学『小江戸塾』
元会長 吉田 庄一

設立十周年、会員みんなできらびを分かち合ひましょう。

十年前の小江戸塾同窓会（現「小江戸塾」）設立時、市の講座を担当した生涯学習課の小野寺さんの、「みんなの熱意と行動力で柔軟で丈夫な組織をつくり、十年後、二十年後には、川越市の教育は小江戸塾同窓会抜きでは語れないと、みんなに言わせましょう。」との言葉が懐かしく思い出されます。

それはさておき、私が三代目会長として、直接「小江戸塾」に関わったのは平成十七年から二十年までの四年間でした。この間「会員の会員による会員のための小江戸塾」を概念におき、そのモットーは「よく遊び よく学び そして楽しむ」でした。

学習支援の場を求めて市内の全公民館を回ったことや、小江戸川越をもっと知るために小江戸栃木や小江戸佐原を視察したことなどが、シニアの地域活動への関わりで生涯学習の推進やまちづくりに役立ったのではないかと、ひとり我点している今日この頃です。

これからも、生涯学習をベースとして地域活動参加を促進し、シニアの生きがいを高めるという目的達成のために、みんなできらびしていこうではありませんか。

私の小江戸塾10年、活動の思い出

川越シニア大学『小江戸塾』
元会長 金子 晃

6月中旬、街中でバツタリと岩本現会長と出会った。「今回のふるさと塾の応募は、いかがですか。」とお聴きすると「締切り6日前だけど定員30名をオーバーしています。」喜ばしい笑顔の会話が出来ました。

私の脳裏には、平成12年11月から始まった第1期、小江戸塾の記憶が、薄っすらと甦っていた。生涯学習課からの依頼で、シニア大学「小江戸塾」、専科Bコースの自然学で「川越の巨樹・古木」講座の講師を受け持ったことでした。巨樹の写真と私の話に聴き入る塾生の目顔と質問。なんと多くの方が川越に興味を持ち、学ぼうとしている事かと感じました。翌13年には、学舎の仲間にと第2期生となり、多くの方との出会いが持てました。2年続いた小江戸塾が、1年後に「ふるさと塾」となり活動が再開。会長兼「ふるさと塾」運営委員長として、運営委員の方たちと塾運営を企画。3回の「ふるさと塾」を運営。100名の修了生を小江戸塾に迎えられました。

小江戸塾活動の一つになっていた学習体験を基に、地域の学校を支援する学校応援団組織、「川越地域子どもサポート委員会」の設立に加わり、委員長として学校からの依頼で体験学習、校外学習などの支援活動が続ける毎日になっている。小江戸塾会員に、毎月の通信を届ける配達員も受け持っている。これからの10年。届け先が増え学校支援が続けられる発展を願っています。

当時の写真

① 教育長を迎えて

「ふるさと塾」 開校式



② 「ふるさと塾」の旗を持ち、

歴史建築家屋 武家屋敷の学習



③ 城跡の巨樹の学習



小江戸塾への思い

飯田 静子

H12年11月私が念願としておりました主催川越市シニア大学小江戸塾が開校されました。

定年退職された人達が地域に戻られます。団塊の多くの人たちが受講され、この塾で学んだ事、今迄のキャリア、技術を生かし公民館、地域、学校で生き生きと活動してほしいと願っています。私は小江戸塾1期生です、素適な仲間との出逢い沢山の考え方、遊び方等、数多くの事を学びました10周年を迎え感無量です。

高齢者が引きこもる事なく共に学び、共に遊び心豊かに歩んでほしいと思っています。

これからの時代はシルバー世代、小江戸塾の窓が広く大きく開かれシニアの人達が健康で輝いて活動される事を願っております。

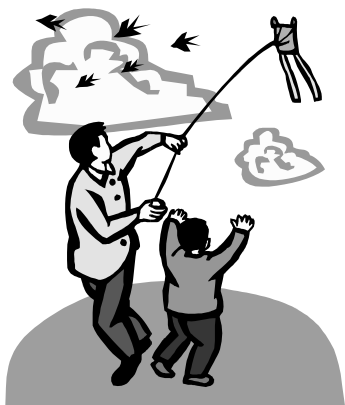
小江戸塾との出会い

小江戸塾第1期修了 早川 定夫

定年後毎日が日曜日。これからの人生何をしようかと考えている時、「広報川越」に川越の歴史や文化・自然、産業その他多方面から学ぶ第1期川越市シニア大学「小江戸塾」が55歳以上の人を対象に300名募集する。という案内を見て早速応募することにしました。受講期間は、平成12年11月～平成14年3月なので本科に応募しました。

256名のシニア仲間と2年間の学習を修了し、学んだことを次代を担う子供達に健やかに育成して行く事が必要と思います。

これからも小江戸塾のPRと公民館等の地域活動をして行きたいと思います。



理事・役員の皆様に感謝

藤田 誠二

私は平成16年度ふるさと塾の卒業生です。その時以来、理事の皆様のご指導の下で、小畔川探検隊、青年学級支援やハイキングなどに参加してきました。楽しい体験をし、支援の子供たちに元気をもらって来ました。その折にいつも感心するのは、理事や係の方々の企画・運営に対する献身的な取り組みです。また、私のような自己主張の強い、わがままな老人を束ねての、10年間の実績は誠に素晴らしいものです。小江戸塾の良さは、自分たちの趣味に没することなく、地域貢献することにあると思います。

今後も継続・発展を祈念し、これまでの理事・役員の皆様のご尽力に、心より感謝申し上げます。

小江戸塾草創のころ

島村 清治

私は、10年前、川越市が創設した生涯学習講座「小江戸塾」に参加した。講座終了後、「小江戸塾同窓会」が結成されたが、その頃の活動で印象に残っているのは毎回の理事会の大論戦と、最初のイベント「宝川温泉バスツアー」である。

私は会計に指名され理事会に参加したが、30人位で構成された理事会は論客揃いで、議論百出、毎回、延々数時間に及んだ。

また、バスツアーでは、車中の交流と懇親会が大いに盛り上がり、会員間の絆が一気に強まった。あの草創のころの熱気と活気が、10年続いた「小江戸塾」のマグマになっているのだと私は思っている。

以上

小江戸塾

菅野 仲夫

皆さんそれぞれにご活躍のことと思いますが、縁あって仲間入りされたのですから、入会した当時の気持ちをもう一度思い出してみませんか。自分の得意とすること、これからやってみたいことなどいろんな思いがあるかと思います。

年齢と共に行動範囲は狭くなり、地域との繋がりを大切にしたいものです。自分は会員となり新しい仲間と交流でき、新しい活動に取組めたことで、地域社会をよく理解もでき元気がでています。

伝承行事の仲間

鯨井 愛子

小江戸塾一〇周年おめでとうございます。

生涯学習課の企画として運営委員を公募、その一員として企画に携わりました。

担当の小野寺氏の斬新な企画で、当初は二五〇名を越す会員でした。全体研修、テーマ別研修、研修旅行と充実した活動に参加しました。中でも九年間継続した伝承行事は、節分、七夕祭り等の謂れや伝説を調べ子供達に伝えました。スマイル、オール、ウエーズの仲間の熱意と協力が、楽しいプレゼンテーションに繋がりました。



『かるがも行状記』

土井 廣海

それは平成17年6月1日に始まった。

“ふるさと塾・入塾式”新入生38名が、やまぶき会館に集まった。ほとんどが初めて見る顔だった。その中の5人が自然・環境コースの「かるがも」として紅一点の雌と4羽の雄が誕生した。

プロジェクトのテーマは『川越の川の昔と今とこれから』だった。その後半年間「かるがも」は新河岸川を中心に精力的



に調べた。そしてコンセプトとして子供たちに“遊びを通して自然の楽しさを知り、大切にできる心育てる”に行きつき、翌年2月22日に無事修了証書を手にすることが出来た。今年「かるがも」は7歳になる、今も毎月一度集まっています、この1月で64回目となる。

この場では主に毎月“川越探訪や子供達とのつながり・活動”について話し合い、次への活動の糧としている。「かるがも」は川越の子供達と共にまだまだ成長するだろう。

小江戸塾と私

森下 フミ子

ふるさと塾を終了して、小江戸塾に席おいて早いもので5年になります。地域活動として仙波小の川探検が主で、公民館の活動は余り貢献出来てません。

四年生の総合学習で行く川探検は、終了後に発表会の招待状とお礼の手紙が届く事、これが楽しみで参加しています。

恩返しのため昨年ふるさと塾の運営に携わりました。

これからの「小江戸塾」について

小川 義和

平成23年4月より事務局の理事として参画しておりますが、毎月1回の理事会と、さわやかサロンには、なるべく出席出来るよう努力しているが、欠席することがあり、大変迷惑をかけている。そこで今後の小江戸塾の発展のためには、もう少し理事を増員し、きめこまやかな施策を作り、会員を多く集められるよう努力すべきと考える。

小江戸塾1期2班けやきの会

内田 昭雄

定年退職を機に川越を知り知的な話しも聞きたい、多くの人と交わりたいと入塾しました。

卒塾の折、同班の縁を大切に今後も交流していく事になりました。以来今日まで10年間、けやきの会を結成し、11名で昼食会やハイキングなどで毎年大いに盛り上がっています。

異業種を歩んできた多くの良き友に小江戸塾でめぐり会えた事に感謝しています。

クラブ活動に参加中

永堀 均

昨年度入会致しました。クラブ活動の中で“史跡めぐりクラブ”と“小江戸塾ハイキングクラブ”に参加させていただいておりますが、今まで知らなかった場所、事柄、歴史的な価値などいろいろと詳細に教えていただいて、毎回楽しく過ごさせていただいております。これからも多くのイベントに参加させていただき沢山の方と一緒に行動できたらと考えております。

小江戸塾二十周年に向けて

富士見町在住 新取 守正

若い頃から歴史や社寺・仏像・庭園などの文化財に興味があり、暇を見つけては京都・奈良に通っていました。リタイアを機に、大学通信教育で「歴史遺産」を学び、卒業して引き続き「ランドスケープデザイン」を学んでいます。その間に、京都文化検定試験一級と奈良まほろばソムリエ検定一級に合格することができました。

地元にも目を向けようと、3年ほど前から小江戸川越検定にチャレンジし、去年は「ふるさと塾」を受講しました。その成果は、小江戸川越検定一級に合格できたことです。

小江戸塾二十周年に向けて、様々な活動に参加させていただければと思っています。

世代交代

鎌田 保

最近の公民館活動に参加して思う事は、活動の様相が以前に比べて色々変わってきているという事です。それは、支援参加者(スタッフ)の顔触れが変わってきていること。また、スタッフの方々が活動の中で、子ども達と余り距離感がなく接し合っている事でしょうか。この様な事を大事にしながら、これからも会員の皆様が、支援活動に大勢参加される事によって、お互いの技能を高め合いながら、更なる『小江戸塾』の発展を願うものです。



小江戸塾10周年雑感

本田 清

1期生本科260名の一員として卒業し、まだ現役で週3日働いていましたので、諸々のクラブ活動には、殆んど参加出来ずにきてしまいました。

ただ、「新河岸川探検隊」途中からは、「小畔川自然探検隊」には、土曜日の行事の為、細々と協力させていただきました。

現在、70の手習いで、「小江戸塾パソコンクラブ」で月3回皆さんと楽しく、脳トレに励んでおります。

十周年に寄せて

第1期12班 馬上 武士

シニア大学開校を知り、川越の事を勉強したいと入学・卒業後もう十年、早いなあと感じ無量。私の班は、最近は無理ですが、懇親会を開催し交流継続中。卒業後は地元（大東）で子供達の遊びのボランティア（子供サポート委・大東南のみんなの広場）をしています。小江戸塾の仲間には子供遊びでご協力をいただき感謝しています。同窓会行事に何とか参加するつもり。同窓会の益々の発展と役員諸氏のご活躍を祈念します。

ふりかえって

佐野 功

「ふるさと塾」自然・環境コースを16年度に終了したので、小江戸塾に入会して7年になる。随分昔のような感じがする。

改めて、当時の講座や成果発表の沢山の資料、名簿を繰ってみるといろいろ思い出される。運営委員の皆さんの熱心なご指導があって、結構、まじめに当時の課題に取り組んでいたなと思う。

現在、小江戸塾のIT委員会、事務局の配達関係のお手伝い、小畔川自然探検隊の活動に参加しているが、この、1、2年の自分の身体の状態を考慮しながら、できるだけ参加したいと考えている。

第2の人生の補習授業

鈴木 富士男

川越市シニア大学「小江戸塾」に高齢者への自己実現を課題に第2の人生の補習授業を通し10年を過ぎた。市の生涯学習課を事務局にして、2百名を越す塾生による地域の「歴史と文化」を研鑽しつつの切磋琢磨の日々だった。

晴耕雨読に交り「子どもたち活動」に、その若さを頂戴しての連なるセレモニーへの参加に、塾の多彩な史蹟・名所を訪ねる旅人の一員に…聴いて観て、語りを忘れずに、川越学の補足したく歩み始めた24年の陽春です。

これからの小江戸塾

吉村 勝矢

1. グループでの勉強会の提唱

会員個々の知識欲とより深い交流をめざすため、テーマを選別して勉強会を行う。

会員は興味があるテーマの会に入り、同じ興味を持つ会員と勉強、交流し塾を活性化させていく。

2. 会員が気楽に交流できる場所の確保

交通の便利な場所に場所を確保して、もっと会員同士が交流できるようにする。



地域活動と私

梶野 但

私は新宿町に住み42年となりました。

町内には雀の森氷川神社があり、毎年大晦日には境内でお囃子と甘酒のふるまいがあります。焚き火を囲んでの新年の挨拶が恒例になっています。

その雀の森会館と境内を私達一新会（老人会）は毎月2回会館内の清掃、境内の落ち葉を掃きビニール袋に入れて、地域の集積所へ出しています。その為に境内はいつも清掃されています。掃除に集まった皆さんと、色々なお話が出来る事で地域のコナニュケーションがとれ健康にも良いです。私達一新会の一つの生きがいとなっています。

今後も出来る限り続けて行くつもりです。

地域に友人・小江戸塾の10年から

村田 昭夫

10年前の市のシニア大学開校は、シニア達に地域との接点を提供しようとするものであった。1年間の受講終了後、仲井さん、北村さんなどが「同窓会として親睦と活動の組織を」と小江戸塾として引き継がれ、以後ふるさと塾の卒業生を毎年加えながら、今ではすっかりその活動も定着してきた感がある。

参加会員には当然ながら濃淡がある。私自身「淡」の会員であるが、地域に楽しく遊んでくれる友人達が出来たことは幸せである。

身勝手な会員

堀尾 勝巳

職を離れてフリーになつて、すぐ小江戸塾が開講された。余白ばかりのカレンダーをどんな形で埋めようか考えていた矢先のこと、まずはと思いとびついた。お蔭で仲間ができて幾つかのグループにも参加、余白を埋める目処がたったと思った。若い時の山仲間や職場の仲間とも50年来の縁が続き、史跡を訪ね各種講座にも参加、余白を埋める日々を過ごしている。小江戸塾をリードしている方々には申し訳ないが、資質にも恵まれず、努力もせず、ボランティア活動は孫のいない身には、まごまごするばかり、小江戸塾のアイデアはこの身に重い。人生の余白も少なくなった今、身勝手な歓迎されざる会員でいたいと思う。ご寛容を願う。



和気藹藹と

室井 三男

さきほどから記念誌用の原稿用紙と睨めっこしているが、右手に持つペンは一向に進まない。従って用紙の升目はまだ一つも埋まってなく気ばかり焦る状態だ。「たかが200字、されど200字」であるが・・・。

「この大根は、どう切るの?」「人参は・・・」「計量スプーンは、どの引き出しかな?」

この会話は、公民館の実習室から流れてくる小江戸塾同窓部主催の料理教室の一コマである。頭には素敵なバンダナを巻き、胸にはこれまた素敵なエプロンを身に纏った立派な出で立ち姿の紳士達（加齢からくるその風貌は避けがたいが・・・）がテーブルの廻りを右往左往している。家庭では「私食べる人」的存在の元企業戦士と思われる面々もここではレシピには疎い生徒さん達だ。だから紅一点で講師役の伊勢勢子さん（小江戸塾会員）の親切丁寧なご指導に「一喜一憂」しながらも、ワイワイ・ガヤガヤと楽しい会話で味付けした料理がうまい御馳走となるよう念じながら、時を刻んでゆく・・・。

仙波小学校の支援活動に思う

渋谷 善正

母校に背中を押され支援を行ってから7年が経過。最初の1年は、支援者としてその後6年間は責任者として取り組んだ。支援のコンセプトは、総合的な学習の時間を活用、狙いを身近な川に関心を持たせ自然環境の良さの理解を深化させ学校の主体性の下に小江戸塾は、川たんけんを通して工程毎に必要な紫煙を行う。毎年活動への思いは多いが先生方との対応又、児童のアイディンティティのある発表会に感動するなど、支援を続けて良かったと思う。

入塾にあたって

田中 哲夫

約半年間の「ふるさと塾」の受講が終わり、十周年を迎える「小江戸塾」に入塾できる事は、大変光栄な事と思っています。

川越に生まれ育った私にとっても今迄は単なる居住地区としか見ていなかったのですが、塾の受講を通じて改めて、ふるさと川越の良さを認識させられました。69歳のデビューでやや遅きに失した感も否めませんが、これから塾の色々な催しに積極的に参加し、理解を深めたいと思います。



ふるさと塾の支援学習について

笛木 次郎

私は平成23年度ふるさと塾修了生です。ふるさと塾の講座は、川越の「歴史・文化」「自然・環境」「観光・産業」等と、実地学習（グループごと資料収集と調査活動、学習支援プログラム作成と成果発表）で、地域貢献と仲間作りを学びました。サポートをしてくださった「小江戸塾」企画運営委員の諸先輩方に感謝いたします、無事に学習成果発表することが出来ました有難うございました。その縁で「小江戸塾」に入塾することが出来ました。

私は川越の郊外に生まれ、城下町特有の古い伝統・風習文化を身につけて育ち、未だに故郷から脱皮出来ず住んでいます。遅まきながら地域に貢献したいと思い、還暦を過ぎ古希を迎える年齢に近づきましたが、「小江戸塾」の先輩が築いた公民館・学校での体験学習等の支援活動へシニア・ボランティアとして参加したいと思います。

小江戸塾の会員になって

森 久美子

幾つになっても新しい出会いができるんですね！
還暦を前に、仕事を超え、利害を超えた良いお付き合いが、友人が、沢山できました。

出来る範囲ですが、新しいことにも、チャレンジさせていただいています。

そして、いつのまにか、10年近くの時が経ちました。
こんな機会を与えてくださった、小江戸塾に感謝です。

20年誌(?)の頃には、私も 確実に70代！
これからの10年に、どんなことができるかわからないけれど、素敵な先輩方のあとに ついていければと思っています。

小江戸塾は高齢社会のパイオニアたれ

阿部 恒男

もう10年！驚いております。想えば1期生として、無鉄砲に走り出した当時を振り返りながら、歳月は何事も成長させるんだなと、充実された小江戸塾を誇らしく思います。更に今後の期待として、高齢者の7～8割が引きこもり人生と言われている今日、子供たち支援のみに留まらず高齢者に生き甲斐を持たせる手助けの必要があります。

小江戸塾は一步踏み出したサンプルで、そんな役割を担っていると思います。地域毎に小江戸塾の分身を拡大する活動に期待します。

小江戸塾に感謝

山崎 敏江

私は自然環境コースで男女6名の仲間と子供達に雑木林の楽しさや遊び方を体験し、自然環境の大切さを伝える事を目的にスタート。まず子供目線で雑木林に入り、虫探しやネイチャーゲーム等を自分達で体験。修了後はそれぞれ小江戸塾での子供支援やクラブ活動等縁あって集まった仲間として時々近況報告、私も泉小での子供サポート、町内高齢者の介護予防サポート等に携わり、今後も小江戸塾での体験を少しでも活かし、少しでも長く続けていきたいと思っています。

アッという間の十年でした

飯島 一次

毎日が日曜日の身で何か社会活動もしていかなければと思っていますが、現在は柄にもない自治会活動に足を取られて身動きできない状況です。自治会活動も社会活動には違いないけれども、自発性のある活動とも言えませんから充足感がいまひとつです。

小江戸塾は発足以来ですから何か出来る事はと、毎月の配達業務ぐらひは引受けていますが、川越の地で自然を相手にした何かを始められればと考えてはいるのですが。

小江戸塾10周年によせて

水田 勇

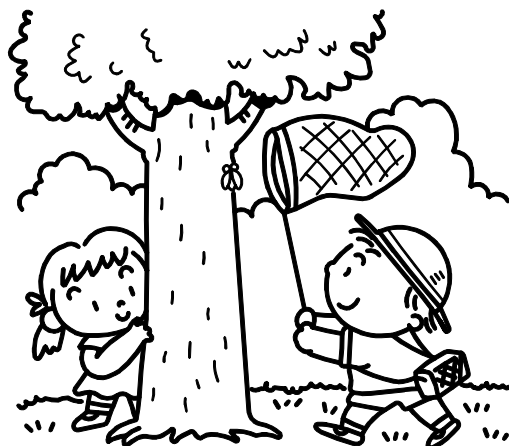
川越市シニア大学「小江戸塾」第1期卒業生として小江戸塾同窓会に入会して、これまで色々新しく楽しい活動を経験出来ました。特に公民館での子供たちとの触れ合いは今後も続けて行きたいと思いません。小学生時代は世界大戦の真っ最中で三重県の山奥に疎開、雑誌やおもちゃは皆無、山をかけずりまわり、木を切り、鳥を捕る仕掛けを造り、竹を削って鳥かごを造り、独楽を造り、通学のための藁草履を編んだりした経験が役立っています。

クラブ活動を楽しむ

山本 洋子

入塾以来、ハイキングクラブと史跡めぐりクラブに入部して、今まで行った事のない所や、以前行った事のある所を再度訪れたりして、脳の衰え防止と健康維持のためと、それにも増してお仲間達との楽しい会話を楽しんでいます。

これからも続けていこうと思っています。



私と小江戸塾

岩本 浩一

60歳の定年を迎えるまでモーレツな会社人間として懸命に働き続けていた。

定年を迎え単身赴任先の東京から川越に戻った私は自分のふるさと川越についてあまりにも無知な自分に驚いた。

川越について学ぼうと意を決した。そして公民館・図書館・博物館通いが始まった。

講演会・講習会にも積極的に参加した。

しかし、何か腑に落ちない日々であった。

ただ知識を増やすだけでは何の意味があるのか、この先元気に長生きする為には知識を増やす事も大切であろうが、それらを生かすことを考えなければと気づいた。

折もおり、川越シニア大学『小江戸塾』という集団の存在を知り、仲間入りさせて頂き、今日に至っている。誠に嬉しい限りである。

地域活動に参加して

根本 充男

地域活動に無縁であった私が、どのような風の吹き廻しか平成22年から地域活動支援にハマっている。子供達の元気な様子や興味を示した輝く表情に接すると、また次も支援参加に意欲が湧いてくる。

小江戸塾の支援の柱が子供支援で展開されている事は誠にうれしく思う。「小江戸塾」創立以来10年間の輝かしい実績と安全意識を持って、これからも体力の続く間は会員の皆さんと共に地域活動に参加し、限りある時間を楽しんで行きたい。



私の元気の基・小江戸塾

山崎 有康

第2期小江戸塾の体験学習会に参加したこと、そして、小江戸塾に入会してから9年の継続的な活動が、今の元気な自分を生み出す基となっています。

公民館での支援活動、パソコンクラブ、ハイキングクラブ、小江戸塾ホームページとメールのIT化グループ、いろいろな活動に参加しています。自分の体力を維持して、これからもずっと活動に参加していけるようにすることが、私の望です。

小江戸塾が長く続くことを願っています。

小畔川自然探検隊に参加して

泉 隆臣

私は小畔川自然探検隊に参加して3年になります。小学生(3年生から6年生)対象の支援活動です。

友人達からは「大変だろう」と、言われますが、大変ではありません。

子どもは小学3年生の時から、大人が目線で物事を見ていると思います。一人前の人間として、接する事により教えられることが多々あります。一緒に考え、行動するよう務めています。

“あまり干渉せず、目を離さず”です。特筆は小畔川の筏遊び、ペットボトルでの“うけ”による小魚獲り、手作り舟の競争等です。“うけ”をあげる時のドキドキ感、小魚が獲れた時の喜び、子どもも大人も生きいきしています。準備も大変ですが、子ども達の笑顔を見て、疲れも感じません。

この子ども達が親になり、自分の子どもを参加させ、父母が支援者として参加されるような“輪”が広がればと夢を見ながら参加しています。私も元気一杯支援者として楽しみたいと思います。

(追) 獲った小魚は放流しています。

私と小江戸塾

宮崎 大

平成18年春「ふるさと塾」修了と同時に入塾して丸6年、主に地域活動部や同窓部の活動に参加して、昔の学友や仕事からみ以外の多くの知己に巡り会えました。又自転車を使っの会報配りで健脚維持に役立て、同時に書き留めた駄句の一部が次の通りです。

- ・緑陰に寄りて額の汗拭う
- ・雷雨浴び家路急げど濡れねずみ
- ・木枯しに負けぬ気合いで踏むペダル

小江戸塾10周年の想い

平成18年ふるさと塾卒 鈴木 二郎

「ふるさと塾」との御縁で川越の事を多く学び、また、多くの人と出会いました。仲間が増えたおかげで私の活動が広がり、ありがたいと思っています。平成21年度からは小江戸塾の理事になり、同窓活動担当として活動しています。小江戸塾の仲間が楽しめる事を企画しながら活動しています。10周年を新たな出発点として、小江戸塾の仲間がより楽しめることを考え、また、地域の活動に貢献したいと思います。会員の皆様の御参加をよろしく願います。



”明日を創造する小江戸塾でありたい！”

高木 章

早くも10年の年月が過ぎ、会員の増減しながら継続出来たのも、役員の方と会員諸氏のご努力だと思っています。又毎月情報満載の会報を各家庭に届けて頂きまして、感謝に堪えません、何時も有難う御座います。

会員の多くは終戦を経験し、日本の復興に寄与した事は自負出来る人生を歩いて来られ、多くの経験と苦楽を積み、その中には成功が有り、失敗有り過酷な人生を過ごして来た仲間だと思しますので、その経験を糧に地域の人を味方にして新しい企画を作り上げて、これからの小江戸塾はお互いに健康・意欲・専門性・柔軟性・対応力を持って活性化して多くの会員が入会される小江戸塾に育って行く事を期待したいと思っています。

入塾にあたって

佐竹 良江

この度「ふるさと塾」を修了し諸先輩方が築き上げた「小江戸塾」への入塾は、今後の私にとって多岐にわたり深く物事を教えて頂ける機会を得ました。

「ふるさと塾」においての講義や諸先輩方、同窓生の御経験と深い知識にふれ私自身とまどいと不安を抱えていましたが、先輩の御指導、話しかけに安堵し、これからの活動にも楽しみが湧いてきました。

塾生の皆様と子供達と共に成長して行ける事を期待いたします。

小江戸塾発足当時の思い出

小江戸塾・第1期本科コース
鈴木 健司

最初250名程でスタートし、班別に分かれ毎回交代で司会進行を担当する形で進められた。毎回の講義は高齢期に入った者には大変有意義な内容だった。

講演の合間には誰の企画だったか荒川を船下りした体験は記憶に残るものだった。これ等有意義且つ思い出深い学習がスムーズに進められた背景には市の生涯学習課の方や運営委員の方の様々な事前準備のお蔭と改めて感謝したい。

このコースが修了し次のコースに進んだが、ここでは新たなテーマ別に班が設けられ、我々は“伝えよう・守ってきた川越の良さ・時の鐘”をテーマに最初5人程のメンバーが途中から神田さんと私の二人だけになり、市民会館の広い舞台上

発表をすることになった。発表直前に神田さんが腕を骨折、首から包帯を吊っての発表となったが、資料まとめの段階では神田さんのお嬢さん始め暖かな家にお邪魔し大変お世話になった。その時の資料は今も大事に保存している。

私は在職中の55歳の時に脳梗塞で半身不随になったり更に定年直前には大腸がん手術をしたが無事定年まで勤めることができた。

そして定年後は小江戸塾での様々な経験やその間、多くの方との出会いのお蔭で今日があると感謝している。

今75歳、幸い元気で地域の高齢者施設での芸能訪問や地域の歌謡教室で楽しく過ごし、小江戸塾の興味あるイベントには時々参加させて頂いている

人は足から死んでいくと聴き、雨の降らない日は1時間程度のウォーキングに努めている。

「川越城の七不思議」の出会いと別れ

矢口 孝次

平成16年10月5日大雨の中、グループ代表の斉藤さんと私の二人“まちで遊ぼう”参加者募集PRの為チラシを持ち中央小学校を訪問した。すると昇降口入口正面に「小江戸塾のみなさん雨の中御苦労様です。校長室でお待ちしております」と黒板があるではありませんか。見たトタン学校側の対応にまず感激した。嶋崎校長の我々の活動に対する協力の表明あり、以下川越小学校須田校長より学校の歴史について熱心に話された事、又仙波小学校、第一小学校と訪問した結果、我々の活動が理解されている点心強く感じた事はありませんでした。



七不思議を説明するあり日の
斉藤さん

以後3年間共に苦労した斉藤さん“通称恒さん”は、もう逝ない。

飾気のない真面目で人間味のある人柄に魅かれ、思わず裏方を引受けたのである。特に斉藤さんとは平成19年私が前立腺ガン手術治療中に見舞いにも行けぬまゝ先に逝ってしまった事が私にとって小江戸塾との拘わりの中で生涯忘れる事の出来ない強烈な思いである。

幸い我がグループは斉藤さんの別宅が空いていたので打ち合わせの名目に飲み会の出来る格好の場所に恵まれていたのである。

また志多町の太田道灌屋敷跡の情報や宮元町岩田屋の焼きダンゴを持って来てくれた矢島さんも斉藤さんの前に他界してしまった。

しかし、「川越城の七不思議」研究グループが故、素晴らしく楽しい仲間との出会いが生まれた事も事実であるがグループ全員での解散式も出来ぬまゝ今日迄至っている事が誠に残念でならない。

小江戸塾ハイキングクラブ

小江戸塾ハイキングクラブ

世話人代表 北村 幹男

小江戸塾ハイキングクラブのモットーは健康と親睦です。自然や景観の中を自分の足で歩き、仲間と談笑しながら親睦を深めます。2002年発足以来毎年春4回、秋4回ずつ、すでに昨年までに73回の例会を行いました。世話人の皆さんがすべてボランティアで計画をたて、下見を行い、当日の案内をしています。

皆さんハイキングに参加して、仲間づくりをしませんか！

山歩き（ハイキング）へのいざない

堀尾勝巳

山の風に牧歌が流れ、陽の光に爽やかな悦びがある。広い裾野には日々の暮しの煙が立ち、行手はゆっくりと高まって今日めざす頂は大きい。

野山を歩くことは健康保持にプラスになることは誰もが認めるところ。仲間と話しながらの歩行は脳内活動を活性化するとは学者の言。歩くことで、山の本にも、音楽にも、歴史や自然などにも関心が生じ、育つ。雨の日は地図を眺め、憧れの山へ思いをはせ、机上ハイキングに時を忘れることもある。山歩きはまさに一石◎鳥。自然への優しさや人生への深い思念が湧くのも山歩き。

小江戸塾のみなさま

“いざゆかんハイキングへ”



皆さん、ハイキングに行きましょう

世話人 長谷川 とみ子

ハイキングが好きな私は、16年度卒塾と同時に世話人を申し出ました。16回より参加しています。

皆で行き先をそれぞれ提案して、話し合いで決めています。

ハイキングは、景色、街並み、花、季節の移り変わり等、五感を刺激しながら歩くので、私たち中高年には、とても良薬と思います。会員の方からも、いつでも行く先を募集しています。

ハイキングクラブでのこと

平田 隼一

世話人の一人として、苦い思い出は「外秩父七峰を完歩してみよう」シリーズの大霧山、登山の時でした。実施日は雨で中止になり、翌年再度計画しましたが、前日は又、大雨で要件が悪くなり心配でしたが、当日は絶好の登山日和になりました。展望は素晴らしく奥秩父・両神山等々が望め大成功でした。

所が、残念にも参加者は3名（世話人2名、他1名）で最少記録となってしまいました。

世話人

北村 幹男

広辞苑で「世話人」をひくと「人のめんどうをよくみる人」とある。ハイキングクラブにも世話人がいる。彼らは誰に頼まれるでもなく多くのボランティアで、ハイキングの企画をし、下見をし、当日は参加者を引率し、何かと面倒を引き受ける。かくいう私も世話人だ。なぜそんな面倒なことやるのといわれれば、少しでもみなさんの役に立ちたいということと、それと引き換えにちょっぴりの晴れがましきがあるから。わがクラブにもこのおせっかいな世話人がいる限り御安泰？。

小江戸塾ハイキングクラブ・例会一覧

例会	実施日	コース
1	02, 11, 06	日和田山、物見山
2	03, 01, 15	宝登山
3	03, 04, 03	多摩湖
4	03, 05, 14	顔振峠
5	03, 06, 11	棒の折※
6	03, 09, 27	岩殿山、笛吹峠
7	03, 10, 15	子の権現※
8	03, 11, 12	官の倉山
9	04, 03, 31	武蔵国分寺跡
10	04, 04, 21	羊山公園
11	04, 05, 19	森林公園
12	04, 06, 09	あじさい山
13	04, 09, 13	高幡不動
14	04, 10, 19	鐘つき堂山※
15	04, 11, 16	琴平丘陵
16	04, 12, 13	築地、佃島、月島
17	05, 03, 28	拝島大師※
18	05, 04, 26	碓氷峠
19	05, 05, 17	東大農場、小金井公園
20	05, 06, 06	笠山
21	05, 09, 27	吉見百穴、吉見観音
22	05, 10, 18	大霧山※
23	05, 11, 17	加治丘陵
24	05, 12, 12	駒形どぜう、浜離宮
25	06, 03, 28	拝島大師
26	06, 04, 18	高尾山
27	06, 05, 16	筑波山
28	06, 06, 06	水元公園、柴又帝釈天
29	06, 09, 28	奥多摩むかし道
30	06, 10, 25	大霧山
31	06, 11, 30	鬼石桜山公園
32	06, 12, 13	横浜散策、中華街
33	07, 03, 27	入間川沿い桜見物
34	07, 04, 24	皇鈴山、登谷山
35	07, 05, 17	都電荒川線小さな旅
36	07, 06, 05	軽井沢離山
37	07, 09, 19	日和田山、巾着田

38	07, 10, 23	子の権現
39	07, 11, 27	御嶽山
40	07, 12, 09	鐘撞堂山、かんぼの宿
41	08, 03, 11	鎌倉アルプス
42	08, 04, 15	多摩森林科学園
43	08, 04, 28	館林の芝桜とつつじ
44	08, 06, 05	関八州見晴台
45	08, 09, 09	富士山お中道
46	08, 10, 21	神代植物園、深大寺
47	08, 11, 25	相馬山※
48	08, 12, 16	世田谷散策
49	09, 04, 03	玉川上水、小金井公園
50	09, 04, 30	鎌倉丘陵
51	09, 05, 19	三頭山
52	09, 06, 04	入笠山
53	09, 10, 01	鳩ノ巣溪谷
54	09, 10, 28	白谷沢、平尾根
55	09, 11, 11	草加松原
56	09, 12, 02	トトロの森
57	10, 04, 01	播磨坂、小石川植物園
58	10, 04, 20	秋川丘陵
59	10, 05, 18	見沼代用水東緑
60	10, 07, 13	野反湖
61	10, 09, 15	大磯
62	10, 10, 29	レインボーブリッジ
63	10, 11, 20	渡良瀬遊水地
64	10, 12, 08	大高取山、桂木観音
65	11, 03, 24	皇居一周※
66	11, 04, 14	多摩森林科学園
67	11, 05, 17	若御子山
68	11, 06, 05	中山道倉賀野宿
69	11, 07, 22	本白根
70	11, 09, 26	昭和記念公園
71	11, 10, 21	新木場
72	11, 11, 07	仙元山
73	11, 12, 07	野火止用水、平林寺

※天候その他の事情により中止

※小江戸塾ハイキングクラブの写真は、94ページに掲載してあります。

パソコンクラブ

「小江戸塾」10周年によせて

平成16年度ふるさと塾卒 石坂 克子
開塾10周年おめでとうございます。

「ふるさと塾」で学んだことは、学校で学んだことのように おぼろげだ。

しかし、入塾して良かったことは主に2つある。

一つは、入塾しなければ絶対に巡り合えなかった友Oさんとの出会いである。同郷の彼女とは今も親しくさせていただいている。

もう一つは 18年度からパソコンクラブに入れてもらったことだ。根底に塾で学んだ仲間意識があるので、すぐに打ち解けられる。その仲間との交流も楽しい。

職場を退職し、コミュニティへの第一歩として、入塾した私の判断は正にホームランといえる。



パソコンを楽しむ

藤本 光枝

「小江戸塾」10周年おめでとうございます。

私は、ふるさと塾第5期生として修了し、今は、小江戸塾会員として、仙波小学校4年生の学習である「新河岸川周辺の川たんけん」の支援のお手伝いをさせて頂いております。

また、パソコンクラブに入会して、デジカメ写真を使用しての各種資料作成や、水彩画機能による描画、Tシャツに転写プリント等、いろいろ学習しています。只今は、立体画に挑戦中です。

これらの作品は、年一度開かれる中央公民館の文化祭にも、参加出展するので、目標が有り、又、張り合いもあります。

私は、クラブに入会して4年目ですが、それまではパソコンにはまったく無知で、こんなんでも入会したら皆様に迷惑掛けるのではと、ためらいもありましたが、温かく迎え入れて下さり、会員の方々のガイドのお陰で、今では、月3回のクラブ活動を、めい一杯楽しんで居ります。パソコンで無限の世界が開けて行くようです。

最後になりましたが、小江戸塾役員の皆様のお骨折りに感謝し、これからも宜しくお願い致します。

「小江戸塾」10周年記念誌発行に際し

大野 明美

このたび、「小江戸塾」10周年記念誌発行に際し心よりお祝い申し上げます。

小生は「ふるさと塾18年度」参加させていただきました。当時元勤務会社のOB仲間より埼玉県の老人大学に参加している楽しいよとの話を聞きました。今年も生徒募集があるはずとのお話を聞いておりました。会社を退職して、さてこれから何をしようかと考えておりました。そしたら妻より川越市の情報誌「広報 川越」を読むようにいわれました。そしたら飛び込んできたのが「ふるさと塾18年度」生徒募集の広告でした。川越市に生まれたが市内のことは何も知らないしまずは参加しようと申し込みしました。仲間ができるだろう。参加すると課題を作り、まとめ発表するとのことになり。5名で新河岸川探検してまとめることになりました。いまだ仲良くさせていただいております。

人との出会いは大事にしておりますが小江戸塾の活動の一つパソコンクラブに参加しております。当時の仲間4名全員も参加しております。(1名死亡)パソコンクラブ楽しいですよ。また最近ニューフェース多数入りましたよ。



パソコンクラブ

パソコンクラブの歩み

代表 山崎 有康

活動開始：第1回会合を2003/7/11に 中央公民館で開催。現在の会員数は25名、初年度から続いている会員は6名です。

パソコン：2004年8月から古いノートパソコンを8台くらい借用し、2006年ごろから、ノートパソコンを購入する会員が徐々に増え、2007年には、ほとんどマイパソコンの状況になりました。

開催状況：場所は中央公民館で、初年度は18回開催、翌2004年度以降、月3回午前中（金曜2回 火曜1回）開催し、年間36回、毎回10～15名が出席（平均出席者数11名）しています。

特 徴：毎年いくつかテーマを決めて、皆で取り組むので、先に進んでいる会員が、質問に答えたりし、和気あいあいと楽しんでいます。講習会形式ではないので、途中からでも参加しやすくなっています。

取 組：皆で取り組んできた主な内容は

2003年度 おもにWord、年賀状、エクセルの基礎、デジカメの特徴の学習

2004年度 ホームページ、デジカメ、写真アルバム、写真入り名刺

2005年度 パソコン基礎、年賀状、ファイルのコピー、ホームページ画面の作成

2006年度 パソコン基礎、Word文に図の挿入、年賀状、Excel写真入りメンバー表

2007年度 Wordを使ったホームページ画面作成、WindowsXPの基礎

2008年度 絵を描くソフト「ゆめいろえのぐ」「etegami」を配布し、絵手紙を作成

2009年度 前年と同じソフトで、A4サイズの絵を描く

2010年度 WordやExcelのオートシェイプ機能で花や風景を作画

2011年度 転写紙を使用し絵をTシャツに転写するというテーマに取り組む

中央公民館秋の文化祭出展：

2008年9月 パソコンソフト「ゆめいろえのぐ」で描いた絵てがみを展示

2009年9月 パソコンソフト「ゆめいろえのぐ」で描いた絵（A4サイズ）を展示

2010年9月 オートシェイプで作画した花や風景の絵を展示

2011年9月 転写紙にプリントした絵をTシャツに転写してTシャツを展示

さわやかサロンに展示：

2008年～2011年、毎年中央公民館秋の文化祭出展作品をそのまま展示

その他：2006年3月会則制定し、2006年4月中央公民館登録グループ、同連絡協議会参加

※パソコンクラブの写真は95頁に掲載してあります。

「書とペン字」クラブ

「書とペン字」クラブ

- ・場 所 さわやか活動館 2F会議室他
- ・練習日 月末の火曜日(変更あり)
- ・時 間 10時～12時(9時より練習可)
- ・会 費 年間1,000(入会時)
(練習の成果がわかるクラスは別会計)
- ・入 会 自由

・クラブの特徴

千字文(漢字1000字からなる四字句の詩文)の中からの課題で正しい読み方、書き方を習う。

書は、他人(ひと)と比べるのではなく、自分の進歩を楽しむ。また、専門分野に進みますと、隸書(レイショ)等の古典文学も練習します。

・持ち物

太筆(4号ぐらい)、硯(小皿でも)、墨(墨汁可)、下敷(フェルト)、ペン字用ペン(水性ボールペン0.6～1.6mm)

・その他

書展見学会等(参加自由)
暑気払い(参加自由)
忘年会(参加自由)
新年会(参加自由)

- ・連絡先 代表 青木 政代 049-232-1534

心豊かな至福の日

榊原 妙子

月に1度の書道の日が、私にとりとても心豊かな至福の時です。

久しぶりに筆を持つ緊張もありましたが、青木先生のご指導と仲間との飾らないおしゃべりが楽しみな1日になっています。

これからも緩やかに続けていかれたらと願っております。

書に親しむ

四十崎 弘

平成17年3月ふるさと塾を修了した後、約3年間は各種活動を経験して来ましたが、しかし、健康を害し体調不良となったため、室内で出来る「書とペン字クラブ」に平成22年3月入会しました。後期高齢者からの手習いなので、先ず書に親しむことを主眼に始めました。現在臨書(手本どうりの文字を書く)を学んでいますが、次第に書に惹かれ毎月の昇段試験を目標に励んでいます。

クラブのみの会員ですが今後も塾会員として在籍して行く積りです。宜しくお願いします。

書道クラブのこと

第1期生 宮内 照雄

小江戸塾結成10周年おめでとうございます。あれから10年早いものです。

小江戸塾ホームページで皆様のご活躍を拝見して、ただ会員であるだけの自分が情けないとともに、会の運営に携わっておられる皆様に感謝いたします。

もともと書道に関心のあった小生は、書道クラブにお世話になり、青木南海先生の丁寧なご指導の下、和やかな雰囲気仲間と学んでいます。左足が故障中の小生の今は、郵送に頼り、遅々とも、前に進むよう努めています。

クラブのシステムは、月づき頂く手本の課題を清書して提出、後に送られる昇級・昇段を励みに練習に精進しています。

書道・ペン習字に興味をお持ちの方仲間になりませんか。

「書とペン字」クラブの歩み ※「書とペン字」クラブの写真は96頁に掲載してあります。

2005(H17)

7/26(火) スタート、月刊誌「方円」を教材として。
先ず、自分の名前の書き方。季節の言葉や花の名前などを課題にして正しい書き方の練習をする。

12/26(月) 年賀ハガキの書き方

2006(H18)

2/14(火) 上野東京博物館にて「書の至宝」見学。昼食会。
上野東京都美術館にて東洋書芸展（青木の作品）見学（「書とペン字」クラブ写真①参照）

6/27(火) 「my扇」づくり 1点2,000
扇形の紙に好きな文字を書き、それを京都に送り仕上げてもらおう。

2007(H19)

3/27(火) 希望により練習の成果がわかるクラスがスタートする。（有料）

7/24(火) 「my扇」づくり2回目（「書とペン字」クラブ写真②参照）

10月 代表（青木）がアメリカにて日本の書のワークショップ（デモンストレーション）に参加する

2008(H20)

3/25(火) 水上公園にて花見

12/22(火) 忘年会（かすみ食堂）

2009(H21)

1/26(月) 新年会（馬車道）

3/24(火) 親睦会（エトワール）

3/31(火) 作品づくりの為の特別教室（会議室）

5/2～5/6 アトレ6Fにて展覧会（青木個人の教室展に参加）（「書とペン字」クラブ写真③参照）

12/22(火) 忘年会（かすみ食堂）

2010(H22)

4/26(月) 千字文を書く（4文字）

8/3(火) 暑気払い（かすみ食堂）

9/23～25 中央公民館文化祭に出品

11月 …… 青木代表がポーランドにて、日本の書のデモンストレーションに参加（「書とペン字」クラブ写真④参照）

12/22(火) 忘年会（かすみ食堂）

2011(H23)

4/26(火) 千字文（6文字）を書く

9/29～30 ……中央公民館文化祭に出品

12/26(月) 忘年会（ガスト）

2012(H24)

2/5(日) 書展見学……横浜県民センターにて（青木の書、「書とペン字」クラブ写真⑤）、食事会（中華街）

史跡めぐりクラブ

小江戸塾10周年によせて

史跡めぐりクラブ

代表 大金 正司

10周年おめでとうございます

史跡めぐりクラブは、平成19年に発足し6年目になります。

歴史とは現在と過去の対話であるといわれます。

歴史を知れば旅は楽しくなります。旅が楽しくなると人生が豊かになります。

史跡めぐりクラブは、その様な事を考えて活動をしています。

江戸時代の一般庶民も、大いに人生を楽しんでいたようでした。

江戸の人が、江戸から出て旅をするには、特に、女性は村役人や檀那寺から発行される「往来手形」と「関所手形」が必要で、少し面倒でした。又大変なお金もかかるので、比較的手軽な江戸近郊での楽しみが多かったですね。

各地のお祭り、寺社詣で、勧進相撲、花見、川遊び、紅葉狩り、盛り場、矢場等多いに楽しんでいました。

江戸庶民のお花見のお話を少ししましょう。江戸近郊のさくらの名所としては、上野寛永寺、品川の御殿山、王子の飛鳥山、隅田川の両岸（墨堤）等が有名でした。

「寛永寺」（今の上野公園一带）は徳川將軍家の廟所で、住職が宮家出身のため庶民は入れなかったが、花見の時に限って、日中のみ開放された。しかし酒や音曲は禁止されており、老人や女性向けの静かで上品なものになって行った。

踊りや浄瑠璃の師匠が弟子を連れ、揃いの日傘などを手に花を見る、「お揃い」と称する花見も多かった。

今はどうですか・・・お酒にカラオケ、大声を出す人、桜を忘れて大騒ぎ。

江戸時代とはまるで正反対ですね

「御殿山」は江戸中期に吉野山の桜の苗を植

えて名所となった。しかし幕末、その土は掘り崩され、海防のため江戸湾のお台場の土台となってしまいました。

今御殿山の跡はマンションの一角に小さな公園が有るだけです。

「飛鳥山」の桜は八代將軍吉宗の命に

よって数千本が植樹されたものです。

水茶屋や楊弓などの営業も許可され、王子稲荷参詣と併せて大娯楽地となっていった。

飛鳥山は日帰り圏とはいっても、徒歩では道のりも遠く、女性向きではなかった。

現代は電車も有り便利ですね。

「隅田川両岸」の桜は吉宗時代、江戸城吹上御苑の桜を移植したのが始まり。

その後も桜、桃、柳等が植えられた。

江戸中心地からも近く、船でも徒歩でも桜を眺めることが出来、向島の料理屋から夜桜を楽しむことも出来た、花見はここが一番とされたが、男性には花見にかこつけて吉原行きという楽しみもあった。

今では、近くに東京スカイツリーも出来て、浅草と併せると、見どころの多い所ですね。

宿泊を伴う花見の名所としては、郊外の「小金井」堤も有名でした。

これも八代將軍吉宗の命により桜が植えられた。

吉宗は政策として庶民の行楽地を造営していました。（南町奉行大岡越前守の行政が有ったからでしょうね）

江戸庶民は「グルメ」もおおいに楽しみました。

江戸前・寿司・天ぷら・そば・屋台・初物・料理茶屋等色々ありました。

江戸グルメについては又次の機会に紙面を借りてお話ししましょう。

皆さん大いに人生を楽しみましょうね。



史跡めぐりクラブ

史跡めぐりクラブの歩み

※史跡めぐりクラブの写真は97頁に掲載してあります。

代表幹事 大金正司

- 平成19年1月15日 第一回史跡めぐりクラブ発足検討会
10名の世話人が決まる 大金正司・島村清治・神田みずゑ・金子晃・小柳津弘・
中山和章・小川義和・上野勝乃・長谷川とみ子・山本洋子
- 平成19年2月19日 第一回世話人会開催
リーダー選出・行事計画・日程・候補地・費用・その他

平成19年度

回数	実施年月	コースと内容	参加者数
1	H19, 4	将軍家菩提寺上野寛永寺から谷中方面の散策	30名
2	H19, 5	江戸史跡の宝庫 粋な深川界限	25
3	H19, 9	本郷・根津界限の文学と江戸歴史	19
4	H19, 11	一泊にて北茨城・いわて方面の歴史散策	16
5	H19, 12	徳川幕府・江戸城址～北の丸公園・靖国神社	23
6	H20, 1	松の内の七福神・江戸一番の賑わい浅草界限	23

平成20年度

7	H20, 4	甲州街道最初の宿場 内藤新宿の歴史を訪ねる	13名
8	H20, 5	東海道最初の宿場 面影が残る品川宿	21名
9	H20, 6	日光街道最初の宿場 水戸黄門も通った千住宿	19
10	H20, 7	中山道最初の宿 近藤勇のゆかりの板橋宿	22
11	H20, 9	江戸五街道の起点 日本橋界限の散策	17
12	H20, 10	古代武蔵の国 大国魂神社の甲州街道府中宿	14
13	H20, 12	将軍家菩提寺芝増上寺と赤穂義士の泉岳寺	12
14	H21, 1	江戸で一番古いと言われている谷中七福神巡り	17
15	H21, 3	佃煮の発祥地・佃島と築地界限の歴史	19

史跡めぐりクラブ

平成21年度

16	H21, 3	神楽坂の路地裏散策と牛込御門外濠の桜観賞	27名
17	H21, 5	目黒不動尊と白金長者屋敷跡の植物園	25
18	H21, 6	目白不動と旧黒田藩庭園・旧鳩山邸巡り	14
19	H21, 7	坂の街六本木から赤坂への歴史を求めて	18
20	H21, 9	赤穂義士ゆかりの大名屋敷跡・虎の門・新橋界限	18
21	H21, 10	テレビドラマ直江兼継ゆかりの地へ 一泊の旅	18
22	H21, 11	江戸の仏教大学・六義園・古河庭園と紅葉を求めて	20
23	H21, 12	江戸明治の文豪の街 伝通院・小石川後樂園・植物園	15
24	H22, 1	江戸の大旦那の隠居地 向島七福神と話題のタワーへ	21
25	H22, 3	古河公方城址の観桃と古河城下町散策	20

平成22年度

26	H22, 4	八王子同心の故郷・八王子宿散策	11名
27	H22, 5	武蔵国の国分寺と鎌倉街道・国分寺崖線	14
28	H22, 6	近江井伊家の豪徳寺・旧吉良家の城下町 世田谷	20
29	H22, 9	猛暑の中東京大仏・高島秋帆ゆかりの板橋下赤坂界限へ	18
30	H22, 10	ロマンのさきたま古墳群・武蔵国の名城 忍城	17
31	H22, 11	新撰組の故郷 甲州街道日野宿から高幡不動の紅葉観賞	16
32	H23, 1	新宿界限の新宿七福神巡り	21
33	H23, 3	文士たちの歩いた高台と池上本門寺の梅観賞	22

平成23年度

34	H23, 4	江戸四大桜の名所 飛鳥山から王子の歴史散策	震災で中止
35	H23, 5	高円寺界限から蘆花公園と寺町 そしてつつじの観賞	22名
36	H23, 6	中世の渋谷城から明治神宮の歴史と菖蒲観賞	20
37	H23, 9	中世豊島家ゆかりの石神井公園界限の歴史散策	23
38	H23, 10	日本橋から京橋・銀座・新橋界限の路地裏散策	16
39	H23, 11	菅谷館・菅谷八幡・鎌倉街道の嵐山へ	13
40	H23, 12	新しくて古い街広尾から麻布十番を歩く	20
41	H24, 1	江戸時代から人気の深川七福神	30
42	H24, 3	武蔵野国三代城下町の岩槻城下と雛祭り観賞	23

小江戸塾(さわやか)ダンスクラブ

～若さと健康を保つために、社交ダンスを始めませんか～

代表 横溝 善江 TEL(223)1089

小江戸塾さわやかダンスクラブは、楽しく踊ることを一番に活動としています。この機会にぜひ参加してみませんか。

日頃運動不足になりがちな高齢者にとって、ダンスは運動不足解消に最適です。足腰を鍛え、姿勢を良くして、音楽を聴きながらステップを踏んでいると、気分が爽快になります。健康維持のためにも是非おすすめします。

練習日 毎週月曜日(毎月4回)
場 所 仙波町2丁目自治会館2F
時 間 午後1時30分より4時00分迄
会 費 月額1,800円、入会金 1,000円
指 導 横溝 善江(日本社交舞踊教師協会)
レッスン種目 ・ワルツ・タンゴ・ルンバアメリカン
・チャチャチャ・ブルース・ジルバ

親睦のための行事(2011)

- ①新年会(1月)
- ②さくら祭りパーティ(4月)
- ③ダンスクラブ総会(4～5月)
- ④暑気払い(6月)
- ⑤ダンス旅行(11月)
- ⑥忘年会(12月)



ダンスクラブ

鈴木 二郎

私たち「小江戸塾ダンスクラブ」は、毎週月曜日に川越市仙波町2丁目自治会館で練習をしています。

会員は、小江戸塾会員と地元の方と合同の会として運営しています。現在会員は10名です。

毎回基本ステップから始まり、ルンバやワルツなど楽しく練習をしています。練習は和やかな雰囲気です。約3時間、楽しい時間を過ご

しています。また、毎年暑気払いや一泊旅行の合宿も行っています。

ダンスは全身運動で健康には大変よいと思いますので、小江戸塾の皆様、健康のためにも一緒に始めませんか。

ぜひ、一度見学に来てみてください。

きつとダンスを始めようという気持ちになりますよ。

お待ちしております。



ゴルフクラブ

※ゴルフクラブの写真は99頁に掲載してあります。

ゴルフクラブ例会一覧

No.	年月日	曜日	場 所
1	H13, 10, 26	金	奥武蔵カントリークラブ
2	H14, 3, 6	水	〃
3	H14, 5, 15	木	〃
4	H14, 11, 7	木	〃
5	H15, 5, 15	木	〃
6	H15, 9, 18	金	〃
7	H15, 11, 14	金	〃
8	H16, 6, 11	木	〃
9	H16, 10, 13	水	〃
10	H16, 12, 15	金	〃
11	H17, 5, 20	水	〃
12	H17, 10, 5	火	〃
13	H17, 12, 6	火	〃
14	H18, 5, 10	火	武蔵の杜カントリークラブ
15	H18, 9, 22	金	〃
16	H18, 11, 15	水	〃
17	H19, 5, 15	火	〃
18	H19, 9, 26	水	〃
19	H20, 3, 18	火	〃
20	H20, 6, 6	金	〃
21	H21, 3, 31	火	〃
22	H21, 6, 12	金	〃
23	H21, 10, 2	金	〃
24	H22, 3, 26	金	〃

ゴルフクラブの回想

田島 晃義

当クラブの発足は、平成13年開催の川越市シニア大学「小江戸塾」卒業時同窓会設立とともに同窓部内活動の一環として、「余暇の活用」「友愛精神」「健康維持」「仲間意識」「コミュニケーション」の場として有志と語り立ち上げました。本来の考え方全員が共通の目的を持ち交代で企画することが大切と思いましたが、お互い高齢になると誘われれば参加するが企画は苦手な部分が、私自身同窓会発足時、会計係を担当させて頂きましたので会の運営をお世話係「私と村田昭夫氏、内田昭雄氏」に固定して年3回開催を予定しました。平成13年から平成22年3月まで24回開催楽しい時間の共有となりました。会員もピーク時は20数名参加者は平均10名内外でした。



楽しく過ごさせていただき感謝申し上げます。平成22年3月で一度休部といたしました。スタート以来会員の高齢化により一日を楽しむには、体力的に無理になり出席出来る方が4～5名と減少いたしました。

今後につきましては「ふるさと塾」卒業の方で企画される方によりしくお願い申し上げます。

『小江戸塾』地域活動担当の業務（抜粋）

1 地域活動担当は下記の業務を分担して行う

- ① 当該年度事業報告書を作成（総会資料）
- ② 次年度事業計画案作成（総会資料）
- ③ 次年度予算案の作成
- ④ ボランティア保険加入手続き
- ⑤ 安全講習会の企画と開催
- ⑥ 地域活動レベルアップ講習会の企画と開催（筏、竹馬、折り紙等も含む）
- ⑦ 地域活動短期活動計画作成（向こう3か月）
- ⑧ 地域活動費清算手続き（事務用品、各行事毎に会計清算等）
- ⑨ 役割分担を決める際は、必ず写真係を決めて、終了後にMLに流す。
- ⑩ 地域活動担当は、活動記録を事務局及び広報担当に報告する。
- ⑪ 各行事毎に資料をファイル化する。
- ⑫ 会議場所を事前に確保する。
- ⑬ 各行事とも「安全第一」とし、行事責任者は事故が発生した場合、直ちに公民館及び「小江戸塾」会長に報告すると共に別紙報告書を作成し提出すること。

2 地域活動担当の活動体制

地域活動担当は、学校支援担当、各公民館担当（中央公民館等）に分かれて支援する。

3 学校支援活動

- ① 学校からの支援依頼をベースに行う。
- ② 会員が依頼を受けた場合は会長に報告し、指示に従う。支援する場合は地域活動担当と協議する。

4 中央公民館活動「町で遊ぼう」

- ① 年度末に次年度の事業計画案を作成して理事会に諮り、中央公民館に提出する。
- ② 各行事の参加者募集は「広報川越」に掲載して行う。各行事責任者は計画書を3か月前に地域活動担当に提出する。

5 伊勢原公民館「小畔川自然探検隊」

- ① 伊勢原公民館長より「小江戸塾」会長への依頼に基づき、地域活動担当が関係者を招集して企画会議を開催する。その時、「隊長」、「副隊長」、「グループリーダー」を決定する。以後の運営業務を「隊長」に委嘱する。
- ② 各グループリーダーは行事に先立ち「隊長」を通して企画書を、実施後に活動報告書を地域活動担当に提出する。

6 大東南公民館「みんなの広場」

大東南公民館長より「小江戸塾」会長への事業依頼に基づき、計画して実施する。

7 北公民館「北公民館かんきょう祭り（こどもの広場）」

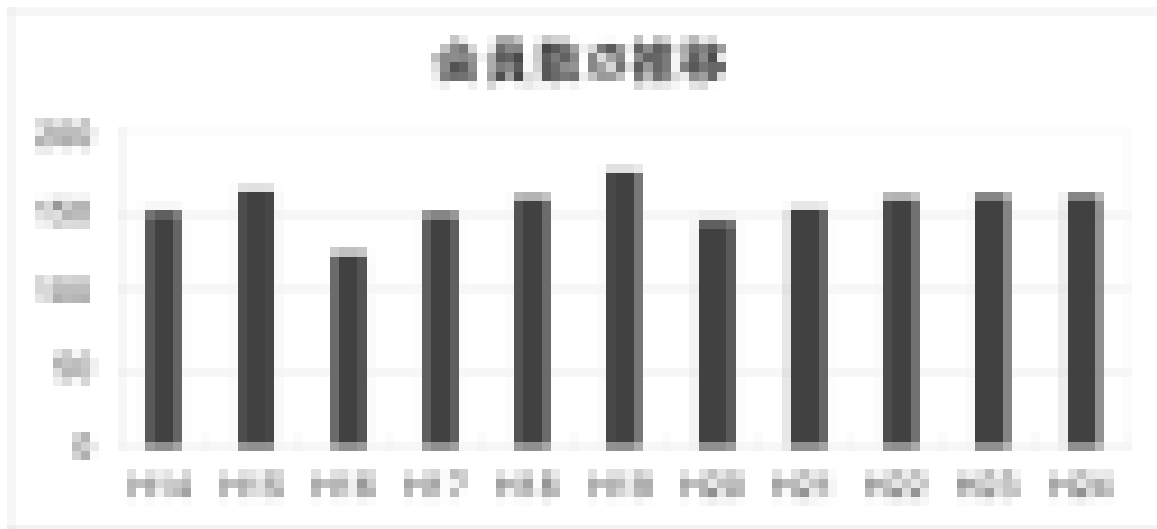
北公民館長より「小江戸塾」会長への事業依頼に基づき、計画して実施する。

8 その他の公民館

各公民館長より「小江戸塾」会長への事業依頼に基づき、理事会で検討して日程等が合えば、地域活動担当が計画書を作成し、公民館と打ち合わせて実施する。

資料編

会員数の推移



年	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
会員数	151	165	124	150	161	177	145	153	160	162	162

※ 会員数の数字は、各年度総会開催日現在のものである。

会員の地区別分布図

※ 地区区分は、川越市自治会連合会ホームページ(H24, 1, 1)による。



地区	人数
本庁1支会	3
本庁2支会	8
本庁3支会	16
本庁4支会	8
本庁5支会	4
本庁6支会	9
本庁7支会	6
本庁8支会	2
本庁9支会	5
本庁10支会	3
本庁11支会	8
本庁合計	72
芳野支会	0
古谷支会	6
南古谷支会	5
高階支会	12
福原支会	3
山田支会	3
名細支会	8
霞ヶ関支会	9
霞ヶ関北支会	17
川鶴支会	3
合計	162

川越シニア大学「小江戸塾」会員名簿

2012年8月31日現在
(あいうえお順)

No.	氏名	No.	氏名	No.	氏名	No.	氏名
1	四十崎 弘	45	金井 眞一郎	89	神宮 エツ子	133	藤井 キミ子
2	粟飯原 勇	46	嶮 庄作	90	菅谷 儀	134	藤崎 京子
3	青木 政代	47	金子 晃	91	鈴木 健司	135	藤代 弘子
4	青山 剛	48	鎌田 保	92	鈴木 二郎	136	藤田 誠二
5	阿部 清吉	49	鎌田 昌子	93	鈴木 富士男	137	藤本 光枝
6	阿部 恒男	50	鎌田 政稔	94	鈴木 基文	138	堀尾 勝巳
7	荒木 長美	51	上村 世紀子	95	鈴木 洋子	139	本田 清
8	飯島 一次	52	唐澤 増一	96	関口 良雄	140	本田 幸子
9	飯田 静子	53	川口 和子	97	高岡 威之	141	本間 仁
10	池田 潔	54	川田 とみ	98	高木 章	142	馬上 武士
11	池田 英春	55	神埼 庄一郎	99	田嶋 武	143	間瀬 正実
12	石川 邦治	56	神田 みづゑ	100	田島 晃義	144	松尾 博
13	石川 登喜枝	57	菅野 仲夫	101	田中 哲夫	145	松村 隆
14	石坂 克子	58	岸野 秀實	102	田中 昌子	146	丸山 美津子
15	泉 隆臣	59	北野 富治	103	坪内 進	147	水田 勇
16	伊勢 勢子	60	北村 幹男	104	寺島 隆美	148	三原定文
17	伊藤 浩子	61	木村 浩	105	寺本 甚太	149	三原 ヒロ子
18	井上 直光	62	清原 昌裕	106	土井 廣海	150	宮内 照雄
19	井上 範雄	63	鯨井 愛子	107	仲 恭子	151	宮崎 大
20	井上 博寿	64	工藤 五子	108	仲井 謙介	152	宮崎 富美子
21	井山 幸之	65	栗原 規一	109	長尾 富雄	153	村田 昭夫
22	入江 純一	66	栗原 美枝子	110	永堀 均	154	室井 三男
23	岩本 浩一	67	小池 弓子	111	中山 和章	155	茂木 恵満子
24	上野 勝乃	68	後藤 順造	112	生井 喜久子	156	本橋 恒子
25	内田 昭雄	69	小林 英二	113	新取 守正	157	森 久美子
26	江口 栄	70	小林 猛	114	西澤 正彦	158	森下 フミ子
27	海老澤 みや子	71	小峰 邦夫	115	蜷川 崇雄	159	矢口 孝次
28	江守 成丈	72	小山 弘	116	沼澤 輝子	160	矢沢 茂次
29	大井 巖	73	今野 正三	117	根本 充男	161	山崎 有康
30	大金 正司	74	榊原 健二	118	野口 泉	162	山崎 敏江
31	大久保 彦	75	榊原 妙子	119	長谷川 とみ子	163	山田 雅行
32	大島 正敏	76	鷺 正孝	120	畠山 昭雄	164	山本 富美子
33	大野 明美	77	鷺谷 智意子	121	畠山 ミヨ	165	山本 洋子
34	大矢 誠一	78	佐竹 良江	122	八角 朝美	166	遊佐 江一
35	岡田 隆行	79	佐藤 守	123	早川 定夫	167	横溝 善江
36	岡田 三和子	80	佐野 功	124	原 靖夫	168	横山 健太郎
37	小川 修一	81	三瓶 俊子	125	桧垣 敬子	169	横山 咲子
38	小川 伸子	82	渋谷 善正	126	平田 育子	170	吉田 庄一
39	小川 義和	83	嶋崎 若代	127	平田 隼一	171	吉村 勝矢
40	尾原 普	84	島村 京子	128	平野 和夫	172	四方田 平八郎
41	笠原 義照	85	島村 清治	129	笛木 次郎	173	渡辺 敏彦
42	梶野 但	86	志村 千枝子	130	深澤 賢一	174	渡辺 信之
43	片平 正	87	下山 信枝	131	深瀬 安正		
44	加藤 洋一	88	荘司 紀美子	132	福島 勇吉		

川越市シニア大学「小江戸塾」第1期 企画運営委員会

委員	飯島 一次	委員	北村 幹男	委員	鯨井 愛子	委員	関 千枝子
委員	高木 章	委員	仲井 謙介	委員	村田 昭夫	委員	横溝 善江

川越市シニア大学「小江戸塾」第2期 運営委員会

委員	鎌田 保	委員	尾原 普	委員	井山 幸之	委員	増田 慎一
----	------	----	------	----	-------	----	-------

川越市シニアカレッジ平成16年度「ふるさと塾」運営委員会

委員長	金子 晃	委員	鎌田 保	委員	増田 慎一	委員	吉田 庄一
会計	平田 隼一		神田 みづゑ		北村 幹男		仲井 謙介
	山口 水江		尾原 普		横溝 栄		

川越市シニアカレッジ平成17年度「ふるさと塾」運営委員会

委員長	金子 晃	委員	神田 みづゑ	委員	松尾 博	委員	長谷川 とみ子
委員	鎌田 保		岩本 浩一		佐野 功		森 久美子

川越市シニアカレッジ平成18年度「ふるさと塾」運営委員会

委員長	金子 晃	会計	井上 範雄	委員	四十崎 弘	委員	中島 裕子
			上野 勝乃		後藤 順造		

川越市シニアカレッジ平成22年度「ふるさと塾」運営委員会

委員長	吉田 庄一	委員	栗原 規一	委員	島村 清治	委員	藤田 誠二
委員	神田 みづゑ		原 靖夫		井山 幸之		
	鎌田 保		小川 義和		仲井 謙介		

川越市シニアカレッジ平成23年度「ふるさと塾」企画運営委員会

委員長	井山 幸之	委員	栗原 規一	委員	関口 良雄	委員	山本 洋子
副委員長	鎌田 保		原 靖夫		上野 勝乃		仲井 謙介
	中山 和章		島村 清治		森下 フミ子		岩本 浩一
委員	小川 義和		藤田 誠二		長谷川 とみ子		

川越市シニアカレッジ平成24年度「ふるさと塾」企画運営委員会

委員長	中山 和章	会計	長谷川 とみ子	委員	島村 清治	委員	田中 哲夫
副委員長	鎌田 保		上野 勝乃		関口 良雄		岩本 浩一
	小川 義和		委員 栗原 規一		井山 幸之		

川越市シニア大学「小江戸 塾」同窓会歴代役員名簿

平成 14年 度	会 長	仲 井 謙 介	広報部長	飯 島 一 次	理 事	鯨 井 愛 子	理 事	尾 原 普
	副 会 長	水 田 勇	地域活動部長	横 溝 栄		神 田 みづゑ		井 山 幸 之
		飯 田 静 子	学習支援部長	鎌 田 保		安 達 邦 明		高 木 章
	会 計	田 島 晃 義	理 事	村 田 昭 夫		大 井 巖	監 事	村 上 まさ
		島 村 清 治		瀧 礼 司		青 木 政 代		矢 口 孝 次
	総務部長	阿 部 恒 男		平 田 隼 一		小 峰 一 郎		
企画部長	北 村 幹 男	横 溝 善 江		室 井 三 男				

平成 15年 度	会 長	仲 井 謙 介	地域活動部長	横 溝 栄	理 事	水 村 浅 子	理 事	井 山 幸 之	
	副 会 長	飯 田 静 子	学習支援部長	鎌 田 保		水 田 勇		小 山 弘	
		金 子 晃	理 事	村 田 昭 夫		飯 島 一 次		山 口 水 江	
	事務局長	阿 部 恒 男		瀧 礼 司		大 井 巖	監 事	村 上 まさ	
	会 計	田 島 晃 義		平 田 隼 一		八 木 英 克		矢 口 孝 次	
		島 村 清 治		鯨 井 愛 子		室 井 三 男			
	企画部長	北 村 幹 男		神 田 みづゑ		尾 原 普			
	広報部長	安 達 邦 明		青 木 政 代		増 田 慎 一			

川越シニア大学「小江戸 塾」歴代役員名簿

平成 16年 度	会 長	金 子 晃	事務局長 (兼)	吉 田 庄 一	理 事	室 井 三 男	監 事	島 村 清 治
	副 会 長	吉 田 庄 一	同窓部長	神 田 みづゑ		青 木 政 代		矢 口 孝 次
		鯨 井 愛 子	広報部長	井 山 幸 之		飯 島 一 次		
	会 計	田 島 晃 義	地域活動部長	鎌 田 保		水 田 勇		
堀 尾 勝 巳		理 事	小 島 国 光	尾 原 普				

平成 17年 度	会 長	吉 田 庄 一	事務局長	岩 本 浩 一	理 事	室 井 三 男	理 事	金 井 松 雄
	副 会 長	金 子 晃	同窓部長	神 田 みづゑ		北 村 幹 男		水 田 勇
		鯨 井 愛 子	広報部長	井 山 幸 之		小 柳 津 弘		長 谷 川 とみ子
	会 計	堀 尾 勝 巳	地域活動部長	鎌 田 保		山 本 洋 子	監 事	島 村 清 治
		佐 藤 福 寿	理 事	小 島 国 広		島 貫 雅 子		金 井 眞 一 郎

平成 18年 度	会 長	吉 田 庄 一	事務局長	岩 本 浩 一	理 事	山 崎 有 康	理 事	小 島 国 光
	副 会 長	鎌 田 保	広報部長	井 山 幸 之		小 柳 津 弘	監 事	鯨 井 愛 子
		神 田 みづゑ	理 事	室 井 三 男		渋 谷 善 正		水 田 勇
	会 計	佐 藤 福 寿		上 野 勝 乃		松 尾 博		
		(兼)岩本 浩一		島 貫 雅 子		金 子 晃		

平成 19 年 度	会 長	吉 田 庄 一	事務局長	小 島 国 光	理 事	上 野 勝 乃	理 事	小 池 清 則
	副 会 長	鎌 田 保	広報部長	井 山 幸 之		本 間 仁		澁 谷 善 正
		金 子 晃	理 事	室 井 三 男		山 崎 有 康		鱒 庄 作
	会 計	水 田 勇		深 津 賢 一		大 久 保 彦	監 事	仲 井 謙 介
(兼)小島 国光		小柳津 弘	松 尾 博	北 村 幹 男				

平 20 年 度	会 長	吉 田 庄 一	同窓部長	宮 崎 大	理 事	早 川 定 夫	監 事	金 子 晃
	副 会 長	井 山 幸 之	広報部長	本 間 仁		澁 谷 善 正	顧 問	鎌 田 保
		山 崎 有 康	会 計	水 田 勇		大 久 保 彦		
	事務局長	小 島 国 光		(兼)小島 国光	監 事	岩 本 浩 一		

平成 21 年 度	会 長	仲 井 謙 介	事務局長	本 間 仁	同窓部長	鈴 木 二 郎	監 事	水 田 勇
	副 会 長	井 山 幸 之	会 計	(兼)山崎 有康	地域活動部長	大 久 保 彦		飯 田 静 子
		山 崎 有 康		(兼)本間 仁	広報部長	(兼)井山 幸之	顧 問	鎌 田 保

平成 22 年 度	会 長	仲 井 謙 介	事務局長	本 間 仁	同窓部長	鈴 木 二 郎	監 事	水 田 勇
	副 会 長	井 山 幸 之	会 計	(兼)山崎 有康	地域活動部長	大 久 保 彦		飯 田 静 子
		山 崎 有 康		(兼)本間 仁	理 事	根 本 充 男	顧 問	鎌 田 保

平 23 年 度	会 長	岩 本 浩 一	同窓担当	鈴 木 二 郎	理 事	小 川 義 和	監 事	水 田 勇
	副 会 長	山 崎 有 康	広報担当	井 山 幸 之		岡 田 三 和 子		飯 田 静 子
		大 久 保 彦	地域活動担当	根 本 充 男		山 田 雅 行	顧 問	鎌 田 保
	事務局長	本 間 仁	会 計	(兼)山崎・本間		伊 勢 勢 子		仲 井 謙 介

平 24 年 度	会 長	岩 本 浩 一	会 計	田 中 哲 夫	広報担当	井 山 幸 之	顧 問	鎌 田 保
	副 会 長	山 崎 有 康	会 計	(兼)山崎 有康	地域活動担当	根 本 充 男		仲 井 謙 介
		大 久 保 彦	同窓担当	鈴 木 二 郎	地域活動担当	伊 勢 勢 子		
	事務局長	小 川 義 和	同窓担当	中 山 和 章	監 事	水 田 勇		
事務局	笛 木 次 郎	同窓担当	小 林 英 二	飯 田 静 子				

川越シニア大学『小江戸塾』会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この会は、川越シニア大学『小江戸塾』（以下本会という。）という。

(事務所)

第2条 本会の事務所は、会長宅に置く。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本会は、会員相互の親睦を図るとともに、市民活動の推進を図り自主的な社会活動参加を促し、もって会員の健康維持と生きがいを高めることを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 会員相互の交流・親睦及び学習機会の提供。
- (2) 地域活動の企画及び実践。
- (3) その他この会の目的達成に必要なこと。

第3章 会 員

(会 員)

第5条 本会の会員は、川越市シニア大学「小江戸塾」修了生及び川越市シニアカレッジ「ふるさと塾」修了生並びに本会の目的に賛同するもの。

(会 費)

第6条 本会の会費は、年額1,000円とし年初に一括納入するものとする。

- 2 本会入会時の入会金は1,000円とし、入会日の属する年度の会費は納入不要とする。

第4章 役 員

(役員の種類、定数及び選任等)

第7条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 理 事 若干名 (2) 監 事 2名
- 2 理事及び監事は総会において、事前に立候補した会員の中から選任する。
- 3 理事のうち1名を会長、2名を副会長、1名を事務局長、2名を会計とする。
- 4 会長、副会長、事務局長、会計は、理事の互選とする。
- 5 監事は、他の役員と兼ねることができない。

(役員任期)

第8条 役員任期は1年とし、再任を妨げない。

- 2 役員はその任期終了後においても後任者が就任するまでは、なお、その職務を代行する。
- 3 補欠又は増員により選任された役員任期は、前任者又は現任者の残存期間とする。

(役員職務)

第9条 会長は、この会を代表し会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3 事務局長は、日常業務を統括的に執り行う。
- 4 会計は、会の出納事務を処理し、会計に必要な書類を管理する。

5 監事は、会の財産の状況又は職務の執行状況を監査し、その結果を総会に報告する。

6 理事は、理事会を構成し、本会の業務を執行する。

(顧問等)

第10条 本会に、顧問を置くことができる。

2 顧問は、理事会の推薦により会長がこれを委嘱する。

第5章 会 議

(会 議)

第11条 本会の会議は、総会と理事会とする。

2 定期総会は、毎年1回開催し、事業報告・決算の承認・事業計画・予算案の承認並びに会則の変更等を審議決定する。但し、会長が必要と認めたとき、又は会員の3分の2以上から総会開催の請求があったときは、臨時に総会を開催することができる。

3 理事会は、第7条に掲げた役員で組織し、会の事業を審議する。

4 総会及び理事会は会長が招集する。

(会議の成立要件並びに議長)

第12条 総会は、会員の2分の1以上の、理事会及び役員会は構成員の2分の1以上の出席をもって成立する。ただし、やむを得ない事情によって出席できない者は、委任状の提出により出席者の数に加えるものとする。

2 総会の議長は会員の中から選出し、理事会は会長もしくは会長が指名した者がこれにあたる。

(議 決)

第13条 会議の議決は、出席者の過半数の賛成で決し、賛否同数の場合は、議長がこれを決する。

第6章 会 計

(会計年度)

第14条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日で終わる。

第7章 雑 則

(書類及び帳簿の備付け)

第15条 本会の事務所に、次の書類及び帳簿を備えておかなければならない。

- (1) 会 則 (2) 会員に関する書類 (3) 役員名簿 (4) 会員名簿 (5) 会議議事録
(6) 収入支出に関する帳簿及び証拠書類 (7) その他必要な書類及び帳簿

(細 則)

第16条 理事会は、この会則を実施するにあたって必要な細則は、理事会の議決を経て、会長がこれを定める。

付 則

(施行期日)

- 1 本会則は、平成14年5月20日から施行する。
- 2 平成15年4月15日会則の一部を改正同日より施行する。
- 3 平成16年4月26日会則の一部を改正同日より施行する。
- 4 平成18年4月22日会則の一部を改正同日より施行する。
- 5 平成19年4月28日会則の一部を改正同日より施行する。
- 6 平成23年4月23日会則の一部を改正同日より施行する。

川越シニア大学『小江戸塾』細則

(会員資格)

第1条 会則第5条における、本会に賛同する者の入会は、理事会の承認を得て認めるものとする。

(会員の遵守事項)

第2条 本会の会員は、本会を通し知り得た会員の個人情報などを他人にみだりに漏らしてはならない。

(担当及び委員会)

第3条 本会に次の担当及び委員会を設ける。

- (1) 同窓活動担当
- (2) 広報担当
- (3) 地域活動担当
- (4) 会長が必要と認めた専門委員会

(担当及び委員長)

第4条 担当及び委員長は、理事会の承認を得て会長が委嘱する。

(担当及び委員会の業務)

第5条 担当及び委員会は次の業務を行う。

- (1) 同窓活動担当；会員の仲間づくり、生きがい探しを通じて社会参加を促すための企画と運営活動を推進する。
- (2) 広報担当；本会の内外情宣活動、広報活動及び会報の編集・発行
- (3) 地域活動担当；地域活動に関する企画とプログラム実践及び学習活動を推進する。
- (4) 専門委員会；委員会に付託された事項

(会 計)

第6条 本会の地域活動で得られた収入は、本会に帰属するものとする。

- 2 本会の地域活動で発生する経費の一部を、次の基準により支給するものとする。
 - (1) 会則第4条の事業遂行で、かつ、本会の活動として位置づけられていること。
 - (2) 支給金額は、活動実施に伴う実費（教材費、教材サンプル代）とし、次の枠内とする。
 - ① 地域活動1回当たり原則3,000円を限度とする。
 - ② 支給は明細書（領収書）をもって、月末親金支払いとする。

付 則

本細則は、平成15年3月20日から施行する。

平成16年4月26日改正施行する。

平成19年4月28日改正施行する。

平成22年4月24日改正施行する。

川越市シニア大学「小江戸塾」

川越市シニア大学「小江戸塾」同窓会

- ・第1期 修了生 188名
- ・平成12年11月～平成14年3月

- ・会員数（設立総会時） 151名
- ・会長 仲井謙介・副会長 水田勇 飯田静子

会のトピックス

- ・第1期 受講生 本科 256名、専科歴史文化コース 65名、自然コース 69名
- ・第1期 修了生 本科 188名、専科歴史文化コース 49名、自然コース 49名
- ・(仮称)川越市シニア大学「小江戸塾」同窓会、設立準備委員会が26名で発足(3月)
- ・川越市シニア大学「小江戸塾同窓会」設立総会(平成14年5月22日)を、やまぶき会館で開催
- ・会則、役員を選出、平成14年度事業計画、予算等が決定
- ・会報「小江戸塾同窓会」を年4回発行、全会員に配布、地域別に会員が配布

会報	第1号	第2号	第3号	第4号
発行日	H14, 6, 30	H14, 9, 30	H14, 12, 15	H15, 3, 20

- ・「小江戸塾」第2期 歴史・文化コース、自然コース 開講(6月)
- ・第2期修了生、歴史・文化コース19名、自然コース8名、計27名、小江戸塾同窓会に入会
- ・他団体交流会「宇都宮生涯学習ボランティア」と川越市中央公民館で実施(11月)

会の主な活動

- ・「小江戸塾」第2期生 歴史文化コース、自然コースを学習支援部が中心となり支援
- ・仙波小学校4年生「総合的な学習の時間」を新河岸川グループを中心に支援
- ・川越小学校1年生との世代間交流実施(竹馬、竹トンボ、お手玉、独楽回し等)
- ・新河岸川Gr、喜多院Gr、伝承行事Gr等、第2期生へのプレゼンテーション実施
- ・会員親睦日帰りバス旅行(須田貝ダム、奈良俣ダム、宝川温泉)
- ・ハイキングクラブ、社交ダンスクラブ、パソコンクラブ、ゴルフクラブが発足
- ・秩父札所巡りハイキング(1番札所～34番札所)実施
- ・平成15年新年会をラ・ボア・ラクテで実施(参加者51名)

社会の主な出来事

- 国内・4月 完全学校週5日制の実施、新学習指導要領の実施
- ・5月 第17回サッカーワールドカップ開催(日本・韓国共催)
 - ・9月 史上初、日朝首脳会談
 - ・10月 北朝鮮の拉致被害者5人が24年ぶりに帰国
 - ・10月 ノーベル賞で小柴昌俊氏が物理学賞、田中耕一氏が科学賞を受賞した
- 海外・10月 インドネシア・バリ島で爆弾テロ、日本人2人を含む190人が死亡
- H15/2月 米国のスペースシャトルが大気圏突入途中で空中分解
- ・第19回冬季オリンピック冬季大会(日本・金0、銀1、銅1)

平成14年の漢字

帰

北朝鮮に拉致された方の帰国、日本経済がバブル以前の水準に戻ったことなど。

川越市の出来事

- ・川越市の人口 男166,079人、女163,101人、合計329,180人(平成14年4月1日現在)
- ・市制80周年を迎える
- ・川越市立美術館オープン
- ・「蔵の町並み」「遊歩百選」(読売新聞社)に選ばれる
- ・オータン市(フランス)と姉妹都市の提携

川越市シニア大学「小江戸塾」

川越市シニア大学「小江戸塾」同窓会

- ・第2期 修了生 27名
- ・平成14年6月～平成14年11月

- ・会員数(平成15年4月15日現在) 165名
- ・会長 仲井謙介・副会長 飯田静子 金子晃

会のトピックス

- ・「小江戸塾同窓会」第2回定期総会開催(平成15年4月15日)中央公民館
 - ・グループ活動の発表 ①実践活動の紹介 ②第2期生の作品発表
- ・シニア大学再開について、川越市生涯学習課長宛 要望書を提出
- ・会員の懇親と談話の場として「さわやかサロン」を、さわやか活動館で毎月開催
- ・「これからの荒川づくり」講演と彩湖見学を荒川上流事務所に講師を依頼して実施
- ・企画部主催「街並みウォッチング・パートI」を実施、
- ・会員による講座を開催、楽しいマジック(室井三男氏)、書道はこんなに楽しい(青木政代氏)、ストーンペインティング(青木貞雄氏) 陶芸にチャレンジ(飯島一次氏)
- ・「ふるさと塾」を運営するために運営委員会(金子晃委員長)が発足
- ・平成16年3月25日発行「広報川越」にて平成16年度「ふるさと塾」塾生募集開始
- ・広報部長退会の為、

会報	第5号	第6号	第7号
発行日	H15, 7, 29	H15, 10, 20	H16, 1, 19

今年度は会報3回発行となる

会の主な活動

- ・仙波小学校4年生「総合的な学習の時間」に地域活動部が中心となって支援
- ・泉小学校6年生「にこにこ体験スクール」川越市街探検を地域活動部が支援
- ・霞ヶ関東小学校4年生「リサイクル体験学習」地域活動部を中心に実施
- ・霞ヶ関地区5公民館主催、小畔川流域探検隊①～⑦を企画・実施
- ・中央公民館・小江戸塾同窓会共同企画「まちで遊ぼう」(喜多院と周辺、湧水探検隊、折り紙・お手玉・おはじき、新河岸川・観て・遊び隊、伝承行事・正月飾り・節分・七夕、竹馬・竹トンボ・水鉄砲、町名の由来、川越城の七不思議、こま回し・凧作りと凧揚げ、川越自然探勝①・②)など

社会の主な出来事

- 国内・7月 宮城地震(震度6強、675人が負傷、住宅4,945軒全半壊)
- ・9月 十勝沖地震(震度6弱、400人以上が負傷)
- ・9月 自衛隊、イラク派遣決定
- ・9月 文部省内に「子ども居場所づくり推進室」を設置
- ・9月 阪神タイガース、18年ぶりリーグ優勝
- 12月 自衛隊をイラクに派遣(平成21年2月まで)
- H16/1月 山口県の養鶏場で鳥インフルエンザ感染を確認
- 海外・4月 ヨルダンのアンマン空港で、手荷物の爆弾が爆発
- ・8月 フランス全土で猛暑による死者が11,000人以上と発表
- ・11月 イラク北部で日本大使館車が襲われ、外交官2名が死亡

平成15年の漢字

虎

阪神タイガースの18年ぶりのリーグ優勝、衆議院選挙で政治家が声高に吠えたことなど。

川越市の出来事

- ・川越市の人口 男166,629人、女163,852人、合計330,481人(平成15年4月1日現在)
- ・川越まつり会館オープン
- ・埼玉県内で初の中核市に、全国で31番目

川越市シニアカレッジ「ふるさと塾」

川越シニア大学「小江戸塾」

- 平成16年度 修了生 35名
- 平成16年5月～平成17年3月

- 会員数(平成16年4月26日) 124名
- 会長 金子 晃・副会長 吉田庄一 鯨井愛子

会のトピックス

- 川越市シニア大学「小江戸塾同窓会」定期総会(平成16年4月26日)を、中央公民館で開催
- 会の名称を川越市シニア大学「小江戸塾同窓会」から川越シニア大学「小江戸塾」に変更
- 組織変更専門部を「事務局、同窓部、広報部、地域活動部」とする。
- 平成16年度、川越市シニアカレッジ「ふるさと塾」歴史・文化コース、自然・環境コース、産業・環境コースの3コースで開講、受講生43名、修了者35名・運営委員長 金子晃、運営委員 鎌田保、神田みづゑ、尾原普、平田隼一、増田慎一、北村幹夫、山口水江、横溝栄、吉田庄一、仲井謙介
- 同窓部行事 小江戸川越の隠れた史跡探訪/地ビールのタベ ・そば打ちと酒のつまみ作り
 - 仙波東照宮内覧と中院見学 ・国会議事堂と日本銀行見学会、川越まつり山車組立見学
 - 平成16年度総会後の懇親会、平成16年度忘年会、平成17年新年会等

- 会報を年4回発行、全会員に配布

会報	第8号	第9号	第10号	第11号
発行日	H16, 6, 21	H16, 9, 21	H17, 1, 17	H17, 3, 22

会の主な活動

- 仙波小学校4年生「総合的な学習の時間」、鯨井愛子氏を隊長として12名が支援
- 中央公民館 ほくたちの「町探検隊」で遊ぼう!、伝承遊び「折り紙、おはじき、お手玉」七夕祭りを楽しもう、伝承遊び「竹馬、竹トンボ、水鉄砲、ポックリ」、喜多院おもしろ探検、川越城の七不思議、湧水探検隊、お正月飾りを作ろう、節分会、龍池弁天湧水探検、折り紙でお雛様を作ろう、凧揚げをして遊ぼうなど。
- 伊勢原・霞ヶ関・名細公民館 小畔川流域探検隊、探検隊を作ろう、ウォーターワールド、さいたま森の博物館、三つ又沼ピオトープ、ウインターワールド、下流探検など。
- 大東南公民館 伝承遊び、ミニ凧を作って遊ぼう、コマを作って遊ぼう、紙飛行機など。

社会の主な出来事

- 国内・5月 イラクで邦人の殺害や拉致が相次ぐ
- 5月 北朝鮮の拉致被害者家族が帰国
 - 6月 佐世保市で小6少女が同級生を殺害
 - 10月 新潟県中越地方でM6.8の地震発生、死者40人
 - 10月 台風が観測史上最多の10個、日本に上陸
- 海外・6月 イラク情勢混迷の一途
- 8月 アテネ五輪で北島康介平泳ぎで金を含め日本は金16個
 - 11月 米大統領選でブッシュ氏再選
 - 11月 PLOアラファト議長死去
 - 12月 スマトラ沖でM9.0大規模地震、ベンガル湾に大津波

平成16年の漢字

災

台風、地震、豪雨、猛暑等、記録的な天災。イラクでの人質殺害、子供の殺人事件などの人災が発生。

川越市の出来事

- 川越市の人口 男167,238人、女164,623人、合計331,861人(平成16年4月1日現在)
- 小江戸川越大使を任命
- 川越市保健所がオープン
- 彩の国まごころ国体を開催
- H17/2「川越氷川祭の山車行事」が国の重要無形民俗文化財に指定

川越市シニアカレッジ「ふるさと塾」

川越シニア大学「小江戸塾」

- ・平成17年度 修了生 35名
- ・平成17年6月～平成18年2月

- ・会員数(平成17年4月23日) 150名
- ・会長 吉田庄一・副会長 鯨井愛子 金子晃

会のトピックス

- ・川越シニア大学「小江戸塾」定期総会(平成17年4月23日)を、市立中央図書館で開催
 - ・記念講演「小江戸商家の一年」～映像とトークで知る商家の暮らし～ 宮岡 正一郎氏
- ・平成17年度「ふるさと塾」受講生 38名 修了生 35名 運営委員長 金子晃、運営委員 鎌田保、神田みづゑ、岩本浩一、松尾博、佐野功、長谷川とみ子、森久美子
- ・仙波小学校 4年生”そうGO”学習「川たんけん(わたくしたちの川)支援
- ・川越小学校社会科ゲストティチャーとして支援
- ・障害者青年学級との交流 昔の遊びでお正月を楽しもう
- ・全体事業 司法書士を招いて講演会、伊佐沼の古代蓮見学会、家族と楽しむ落語会、日帰りバス旅行(小江戸栃木を訪ねて)、年越しそば打ち体験、小江戸川越の春を探す、平成17年度総会後の懇親会、平成18年新年会など。

- ・会報を年4頁発行
全会員に配布

会報	第12号	第13号	第14号	第15号
発行日	H17, 5, 16	H17, 9, 20	H18, 1, 16	H18, 3, 20

会の主な活動

- ・中央公民館(まちで遊ぼう)活動 ぼくたちの「町探検隊」で遊ぼう!、伝承遊び「折り紙、おはじき、お手玉」、七夕祭りを楽しもう、伝承遊び(竹馬、竹トンボ、水鉄砲、ポックリ)、「時の鐘」鐘楼に登ろう、喜多院おもしろ探検、川越城の七不思議、湧水探検隊、お正月飾りを作ろう、節分会、折り紙でお雛様を作ろう、凧揚げをして遊ぼうなど。
- ・伊勢原公民館(小畔川流域探検隊)活動、探検隊を作ろう、ウォーターワールド、展望台に登る、さいたま水族館、上流探検、ウインターワールド
- ・北公民館(新河岸川探検隊)活動 5回コース
- ・大東南公民館(みんなの広場)活動 伝承遊び、ミニ凧を作る、コマを作る、紙飛行機など。

社会の主な出来事

- 国内・4月 JR福知山線脱線事故、死者107人
- ・6月 アスベスト(石綿)関連死問題広がる
- ・9月 第44回衆院選、自民党圧勝
- ・10月 郵政民営化法が成立
- ・12月 日本人の人口、初の減少
- 海外・7月 ロンドン同時多発テロ(死者50人を超える)
- ・8月 超大型ハリケーンで米ニューオリンズ大被害
- ・10月 パキスタン大地震、約7万3千人が死亡
- H18/2月 トリノ五輪で荒川静香が金メダルを獲得
- H18/3月 第1回ワールドベースボールクラシックで日本が優勝

平成17年の漢字

紀宮さまと黒田慶樹さんのご結婚。
21世紀最初の万博「愛・地球博」。

川越市の出来事

- ・川越市の人口 男167,341人、女164,906人、合計332,247人(平成17年4月1日現在)
- ・「広報川越」を市のホームページに掲載開始
- ・第10回 小江戸サミット川越大会開催
- ・江戸天下祭に連雀町の山車が参加
- ・川越市合併50周年記念「小江戸川越ふるさと再発見!」開催

平成18(2006)年度

平成18年4月～平成19年3月

川越市シニアカレッジ「ふるさと塾」

川越シニア大学「小江戸塾」

- ・平成18年度 修了生 30名
- ・平成18年5月～平成19年2月

- ・会員数(平成18年4月22日) 161名
- ・会長 吉田庄一・副会長 鎌田保 神田みづゑ

会のトピックス

- ・川越シニア大学「小江戸塾」定期総会(平成18年4月22日)を、市立中央図書館で開催
 - ・記念講演「河越館跡の今迄とこれからの展望」文化財保護課 田中 信 係長
- ・平成18年度「ふるさと塾」受講生 36名 修了生 30名 運営委員長 金子晃、運営委員 井上範雄、上野勝乃、四十崎弘、後藤順造、中島裕子
- ・仙波小学校「4年生」そうGO”学習「川たんけん(わたくしたちの川)支援 4回
- ・小川町東中学校修学旅行準備として支援 2回
- ・障害者青年学級との交流 昔の遊びでお正月を楽しもう(中央公民館、いもの子作業所)
- ・全体事業 杜氏を招いて酒よもやま話、暑気払い、日帰りバス旅行(小江戸佐原を訪ねて)、新春ボウリング大会、新年会、小江戸川越の古き良き建物を探る
- ・史跡めぐりクラブ発足を決定、「小江戸塾メーリングリスト」発足、登録者53名
- ・会報を年4頁発行

会報	第16号	第17号	第18号	第19号
発行日	H18, 5, 15	H18, 9, 19	H19, 1, 15	H19, 3, 19

 全会員に配布

会の主な活動

- ・中央公民館(まちで遊ぼう)活動 ぼくたちの「町探検隊」で遊ぼう!、伝承遊び「折り紙、おはじき、お手玉」、七夕祭りを楽しもう、伝承遊び(竹馬、竹トンボ、水鉄砲、ポックリ)、喜多院おもしろ探検、川越城の七不思議、龍ヶ池弁天湧水探検、お正月飾りを作ろう、節分会を楽しもう、折り紙でお雛様を作ろう、凧揚げをして遊ぼうなど。
- ・伊勢原公民館(小畔川流域探検隊)活動、探検隊をつくろう、ウォーターワールド、小畔川、名細地区の川と森、湧水、小畔川上流探検(宮沢湖)、めずらしい魚を見に行こう、ウインターワールド
- ・大東南公民館(みんなの広場)活動 伝承遊び、ミニ凧を作る、コマを作る、紙飛行機など。

社会の主な出来事

- 国内・4月 耐震構造データ偽造事件で姉齒秀次1級建築士ら逮捕
- ・7月 村上ファンド代表・村上世彰が証券法違反で逮捕
- ・7月 イラク復興支援のため駐留中の陸上自衛隊が全面撤収
- ・9月 天皇家に悠宮親王誕生(秋篠宮妃が男子出産)
- ・07/1月 宮崎県知事にそのまんま東(東国原英夫)氏
- 海外・6月 北朝鮮がミサイル発射
- ・6月 第18回サッカーワールドカップ(ドイツ大会)
- ・7月 ドミニカ移民訴訟和解
- ・10月 北朝鮮、地下核実験を実施
- ・11月 イラク内戦状態、元大統領(フセイン)に死刑判決

平成18年の漢字



秋篠宮紀子さまが約40年ぶりに親王「悠仁さま」をご出産。飲酒運転による交通事故死が多発。

川越市の出来事

- ・川越市の人口 男167,510人、女165,241人、合計332,751人(平成18年4月1日現在)
- ・壁面緑化モデル事業に川越小学校
- ・東武東上線「霞ヶ関駅」北口開設
- ・川越ナンバー発進、川越まつり過去最高110万人の人出があった。
- ・19/3月 天皇・皇后両陛下とスウェーデン国王・王妃両陛下が川越をご訪問

川越シニア大学「小江戸塾」

- ・会員数(平成19年4月28日) 177名
- ・会長 吉田庄一 ・ 副会長 鎌田保 金子晃

会のトピックス

- ・川越シニア大学「小江戸塾」定期総会(平成19年4月28日)を、中央図書館で開催
 - ・アトラクション マジック 中島裕子、舞踊 鈴木二郎、マジックの共演 福島勇吉・室井三男、詩吟 工藤憲一、南京たますだれ 井山幸之
- ・全体事業 川越百選 今と昔・比較、暑気払い懇親会食、日帰りバス旅行(足利学校、ぼんな寺)、川越百選 アンコール上映、川越百選 名細地区の探訪、新春顔合わせ、講演会「観光都市川越」ガイドから見た街景観
- ・仙波小学校 4年生”そうGO”学習「川たんけん(わたくしたちの川) 支援 4回
- ・障害者青年学級との交流 昔の遊びでお正月を楽しもう「ミニ凧、コマ、紙風船、紙飛行機」(中央公民館会場)、「ミニ凧、コマ、紙飛行機、紙風船(伊勢原公民館会場)

会報を年4頁発行
全会員に配布

会報	第20号	第21号	第22号	第23号
発行日	H19, 5, 21	H19, 9, 18	H20, 1, 21	H20, 3, 17

会の主な活動

- ・中央公民館(まちで遊ぼう)活動 喜多院おもしろ探検、伝承遊び(折り紙、おはじき)、七夕祭りを楽しもう、伝承遊び(竹馬、竹トンボ、水鉄砲、ポックリ)、龍ヶ池弁天湧水探検隊、ぼくたちの「町探検隊」で遊ぼう!、川越城の七不思議、お正月飾りを作ろう、節分会、折り紙でお雛様を作ろう、凧揚げをして遊ぼうなど。
- ・伊勢原公民館(小畔川流域探検隊)活動、探検隊をつくろう、ウォーターワールド、川筋探検、源流を訪ねて、さいたま川の博物館、ウインターワールド
- ・大東南公民館(みんなの広場)活動 伝承遊び(折り紙、あやとり)、紙飛行機を飛ばして遊ぼう、伝承遊び(竹馬、竹トンボ、水鉄砲)ミニ凧を作る、コマを作る、お雛様を折り紙で

社会の主な出来事

- 国内・5月 松岡農相自殺「政治とカネ」後絶たず
- ・7月 参院選で自民党歴史的惨敗、民主党第1党に
 - ・9月 安倍晋三首相退陣、後継に福田康夫氏
 - ・12月 食品偽装相次ぐ、不二家・赤福・・・
 - ・H20, 2月 中国製ギョウザで中毒、殺虫剤メタミドホス検出
- 海外・5月 フランス大統領にサルコジ氏
- ・8月 サブプライム問題で米経済失速
 - ・9月 ミャンマーで反政府デモ 日本人映像記者死亡
 - ・11月 NY原油、最高値 99.29ドルを突破
 - ・12月 ノーベル平和賞にゴア前米副大統領ら

平成19年の漢字

偽

食肉や野菜の産地偽装、加工食品の原材料偽造、賞味期限改竄。年金記録や政治活動費の偽りなど。

川越市の出来事

- ・川越市の人口 男167,745人、女165,615人、合計333,360人(平成19年4月1日現在)
- ・川越城築城550年記念シンポジウム。・江戸天下祭に協田町の山車が参加
- ・川越城築城550年記念川越城主行列
- ・河岸川観光舟運海運
- ・H20/2 第1回小江戸川越検定3級試験実施

川越シニア大学「小江戸塾」

- ・会員数（平成20年4月26日） 145名
- ・会長 吉田庄一・副会長 井山幸之 山崎有康

会のトピックス

- ・川越シニア大学「小江戸塾」定期総会(平成20年4月26日)を、中央図書館で開催
 - ・記念講演会 サツマイモと川越文化について 井上 浩氏(サツマイモ資料館館長)
- ・全体事業 同窓部懇話会、暑気払い、一泊バス旅行(信州の鎌倉巡り)、新年会
- ・仙波小学校 4年生”そうGO”学習「川たんけん(わたくしたちの川) 支援 4回 児童数 156名、生き物コース10班、植物コース2班、歴史コース3班、ゴミ・よごれコース2班、橋コース1班、その他のコース2班
- ・小川町立東中学校支援 東中2年生 160名 修学旅行準備講座
- ・障害者青年学級との交流 昔の遊びでお正月を楽しもう「ミニ凧、コマ、紙風船、紙飛行機」(高階公民館軽体育室)、
- ・小江戸塾マークを会員から募集する

会報を年4頁発行
全会員に配布

会報	第24号	第25号	第26号	第27号
発行日	H20, 5, 19	H20, 8, 18	H20, 11, 17	H21, 1, 19

会の主な活動

- ・中央公民館(まちで遊ぼう)活動 ぼくたちの「町探検隊」で遊ぼう!、伝承遊び(折り紙、あやとり)、七夕祭りを楽しもう、伝承遊び(竹馬、竹トンボ、水鉄砲、ポックリ)、喜多院おもしろ探検、川越城の七不思議、龍が池弁天自然観察、下新河岸と寺尾の自然観察、お正月飾りを作ろう、節分会、折り紙でお雛様を作ろう、凧作りと凧揚げなど
- ・伊勢原公民館(小畔川流域探検隊)活動、探検隊を作ろう、上流探検、ウォーターワールド、北本自然博物館、下流探検、展望台に登って川を眺める、ウインターワールド
- ・北公民館(氷川の杜であそぼう)活動 七夕飾り作りー氷川神社でお祓い
- ・大東南公民館活動 伝承遊び、凧を作る、コマを作る、ペットボトルロケットを飛ばそう。

社会の主な出来事

- 国内・4月 後期高齢者医療制度(長寿医療制度)スタート
- ・6月 秋葉原で通り魔、7人死亡
- ・6月 岩手・宮城内陸地震で死者・不明者23人
- ・8月 北島が連続2冠、女子ソフトボールは悲願の金
- ・9月 福田首相が辞任、麻生太郎内閣が発足
- ・11月 日本人4人にノーベル賞
- 海外・5月 中国四川省で大地震、8万人超死亡
- ・8月 北京五輪で北島康介が2大会連続金メダルを獲得
- ・9月 金融危機が世界に波及、株価暴落
- ・11月 米大統領選でオバマ氏当選

平成20年の漢字

変

サブプライムローン問題に端を発した世界経済の大変動。首相の交代など政治の変化。

川越市の出来事

- ・川越市の人口 男168,495人、女166,493人、合計334,988人(平成20年4月1日現在)
- ・東部ふれあいセンターオープン ・高階市民センターがオープン
- ・H21/2月 舟橋功一前市長任期満了、川合義明市長就任
- ・2月 小江戸川越検定2・3級実施
- ・3月 NHK連続テレビ小説「つばさ」放送開始

川越シニア大学「小江戸塾」

- ・会員数(平成21年4月25日) 153名
- ・会長 仲井謙介・副会長 井山幸之 山崎有康

会のトピックス

- ・川越シニア大学「小江戸塾」定期総会(平成21年4月25日)を、中央図書館で開催
記念講演会 「川越の歴史 よもやま話」 児童文学作家 花井泰子さん
- ・全体事業 同窓部懇話会、暑気払い、博物館歴史講座、新年のつどい
 - ・さわやかサロンでクラブ活動の内容展示、歌声集会、小江戸塾メールプリント展示
- ・川合義明川越市長へ講座再開の要望書を提出
- ・「小江戸塾」ホームページ正式公開
- ・前講座「川越むかし むかしの散歩道」松尾鉄城氏(会員41名、一般57名参加)
- ・小江戸塾入会案内パンフレット1000部作成、公民館・図書館・文化会館等に配布
- ・仙波小学校 4年生”そうGO”学習「川たんけん(わたくしたちの川) 支援 4回
- ・障害者青年学級との交流(伊勢原公民館軽 多目的室)、

会報を年4冊発行
全会員に配布

会 報	第28号	第29号	第30号
発行日	H21, 5, 18	H21, 9, 14	H22, 1, 18

会の主な活動

- ・中央公民館(まちで遊ぼう)活動 ぼくたちの「町探検隊」で遊ぼう!、伝承遊び(折り紙、あやとり)、七夕祭りを楽しもう、伝承遊び(竹馬、竹トンボ、水鉄砲、ポックリ)、喜多院おもしろ探検、名細の湧水探検、お正月飾りを作ろう、節分会楽しもう、折り紙でお雛様を作ろう、凧作りと凧揚げ、桜めぐりと自然観察など。
- ・伊勢原公民館(小畔川流域探検隊)活動、探検隊をつくろう、上流探検、ウォーターワールド、下流探検、さいたま水族館、ウインターワールド
- ・大東南公民館(みんなの広場)活動 伝承遊び(折り紙・あやとり)、ペットボトルロケットを飛ばそう、ミニ凧を作って遊ぼう、コマを作って遊ぼう、お雛様を折り紙で作ろう。

社会の主な出来事

- 国内・8月 日本でも新型インフルエンザ流行
- ・8月 「裁判員制度」スタート
 - ・8月 酒井法子容疑者、覚せい剤所持で逮捕
 - ・9月 政権交代、鳩山内閣が誕生
 - ・10月 「足利事件」の菅家さん釈放、再審開始
 - ・11月 天皇陛下即位20年
- 海外・4月 米GM、クライスラーが相次ぎ破綻
- ・6月 マイケル・ジャクソンさん急死、映画は大ヒット
 - ・10月 中国ウイグル自治区で暴動、197人死亡
 - ・12月 オバマ新政権スタート「核なき世界」でノーベル平和賞

平成21年の漢字

新

政権交代で新内閣が発足。裁判員制度や高速道路料金割引制度などの新制度。

川越市の出来事

- ・川越市の人口 男170,036人、女167,727人、合計337,763人(平成21年4月1日現在)
- ・「つばさ」記念碑が鏡山酒造跡地に完成
- ・河越館跡史跡公園オープン ・名細市民センターがオープン
- ・H22/3月 川越市のマスコットキャラクター「ときも」発表
- ・H22/3月 資源化センターが完成

川越市シニアカレッジ「ふるさと塾」

- ・平成22年度 修了生 22名
- ・平成22年6月～平成22年12月

川越シニア大学「小江戸塾」

- ・会員数(平成22年4月24日) 160名
- ・会長 仲井謙介・副会長 井山幸之 山崎有康

会のトピックス

- ・川越シニア大学「小江戸塾」定期総会(平成22年4月24日)を、中央図書館で開催
 - ・アトラクション マジック 室井三男氏、南京玉すだれ 井山幸之氏、歌声 鈴木二郎氏
- ・平成22年度「ふるさと塾」開講 運営委員長 吉田庄一、運営委員 神田みづゑ、鎌田保、井山幸之、仲井謙介、島村清治、原康夫、栗原規一、小川義和
- ・全体事業 クラブ代表懇談会、バーベキュー大会、介護を学ぼう(4回)、暑気払いとボーリング、陶芸体験、新年の集い、折り紙講習会
 - ・さわやかサロンでクラブ活動の内容展示、歌声集会、小江戸塾メールプリント展示等
- ・仙波小学校 4年生「そうGO」学習「川たんけん(わたくしたちの川) 支援 4回
- ・小川町立東中学校支援 川越郊外学習(総合学習)の事前授業補助
- ・中央公民館/勤労青少年ホーム 合同文化祭に参加
- ・会報を年4頁発行
全会員に配布

会報	第31号	第32号	第33号
発行日	H22, 5, 17	H22, 9, 21	H23, 1, 17

会の主な活動

- ・中央公民館(まちで遊ぼう)活動 川越氷川神社おもしろ探検、伝承遊び(折り紙、あやとり)、七夕祭りを楽しもう、伝承遊び(竹馬、竹トンボ、水鉄砲、ポックリ)、ペットボトルロケットを飛ばそう、下新河岸・寺尾遊水地の湧水探検、お正月飾りを作ろう、節分会を楽しもう、折り紙でお雛様を作ろう、凧作りと凧揚げ。
- ・伊勢原公民館(小畔川流域探検隊)活動、探検隊をつくろう、小畔川上流探検、ウォーターワールド、下流探検、埼玉県立自然の博物館、ウインターワールド
- ・大東南公民館(みんなの広場)活動 伝承遊び(折り紙・あやとり)、ペットボトルロケットを飛ばそう、伝承遊び(竹馬・竹トンボ)、凧を作る、コマを作る、お雛様を折り紙で。

社会の主な出来事

- 国内・5月 宮崎県で口蹄疫の被害が拡大、全国を震撼
- ・6月 普天間移設で日米合意、鳩山内閣は辞職し菅内閣誕生
 - ・7月 参議院選挙で民主党が大敗、ねじれ国会に
 - ・9月 尖閣諸島で中国漁船が巡視船に衝突、ビデオ流失騒ぎも
 - ・12月 ノーベル化学賞に根岸英一、鈴木章氏
 - ・H23/3 東日本大震災と東京電力福島第一原発事故
- 海外・4月 中国の国内総生産、日本を抜き世界第2位の経済大国に
- ・8月 チリ鉱山落盤事故、69日ぶり作業員33人全員を救助
 - ・9月 北朝鮮の金正日総書記の後継者に三男、金正恩氏
 - ・11月 北朝鮮の韓国砲撃などで朝鮮半島緊迫

平成22年の漢字

暑

記録的な猛暑で熱中症にかかる人が続出。小惑星探査機「はやぶさ」が暑さを耐え地球に帰還

川越市の出来事

- ・川越市の人口 男171,235人、女169,235人、合計340,529人(平成22年4月1日現在)
- ・環境プラザ(つばさ館)オープン、川越城中門堀跡オープン
- ・農産物直売所「あぐれっしゅ川越」オープン
- ・小江戸川越マラソン2010開催 参加者8,888人
- ・H23/3月 東日本大震災発生、川越城本丸御殿の一般公開再開

川越市シニアカレッジ「ふるさと塾」

川越シニア大学「小江戸塾」

- ・平成23年度 修了生 名
- ・平成23年6月～平成23年12月

- ・会員数（平成23年4月23日） 162名
- ・会長 岩本浩一・副会長 井山幸之 山崎有康

会のトピックス

- ・川越シニア大学「小江戸塾」定期総会(平成23年4月23日)を、中央図書館で開催
- ・平成23年度「ふるさと塾」開講 運営委員長 井山幸之、運営委員 鎌田保、中山和章、島村清治、原康夫、栗原規一、小川義和、藤田誠二、関口良雄、上野勝乃、長谷川とみ子、森下フミ子、山本洋子、仲井謙介、岩本浩一
- ・全体事業 川越城本丸御殿見学ツアー、小江戸塾料理を楽しむ会(7回)、小江戸塾暑気払い、クラブ代表懇談会、新年の集い
 - ・さわやかサロンでクラブ活動の内容展示、歌声集会、小江戸塾メールプリント展示等
- ・仙波小学校 4年生”そうGO”学習「川たんけん(わたくしたちの川) 支援 3回
- ・北公民館かんきょう祭りの「子供の広場」を担当、折り紙、あやとり、科学マジック等
- ・中央公民館/勤労青少年ホーム 合同文化祭に参加・伊勢原公民館の障害者青年学級支援
- ・会報を年4冊発行
全会員に配布

会報	第34号	第35号	第36号
発行日	H23, 5, 16	H23, 9, 20	H24, 1, 16

会の主な活動

- ・中央公民館(まちで遊ぼう)活動 ぼくたちの「町探検隊」で遊ぼう!、伝承遊び「折り紙、あおとり」、七夕祭りを楽しもう、伝承遊び(竹馬、竹トンボ、水鉄砲、ポックリ)、ペットボトルロケットを飛ばそう、お正月飾りを作ろう、凧作りと凧揚げ、節分会を楽しもう、お雛様を折り紙で作ろう、など。
- ・伊勢原公民館(小畔川流域探検隊)活動、探検隊をつくろう、小畔川上流探検、ウォーターワールド、下流探検、県立こども自然動物園、ウインターワールド
- ・大東南公民館(みんなの広場)活動 伝承遊び(折り紙、あやとり)、ペットボトルロケットを飛ばそう、伝承遊び(竹馬、竹トンボ、水鉄砲)、凧を作る、コマを作る、お雛様など。

社会の主な出来事

- 国内・6月 政府要請で浜岡原発停止、九電ではやらせメール問題
- ・7月 サッカー女子W杯、なでしこジャパン世界一
 - ・8月 菅首相が居直りの末退陣、ドジヨウ野田内閣誕生
 - ・9月 小沢民主党元代表を強制起訴、元秘書3人は有罪
 - ・11月 大阪ダブル選で橋下氏、愛知トリプル選で河村氏完勝
- 海外・5月 米特殊部隊がビンラディン容疑者を殺害
- ・7月 中国高速鉄道で追突事故、40人死亡
 - ・10月 タイで大洪水、日本企業が操業停止
 - ・10月 米アップル創業者ジョブズ氏が死去
 - ・12月 北朝鮮の金正日総書記が急死、世界に波紋

平成23年の漢字

絆

東日本大震災で未曾有の被害。大規模な災害の経験から家族や仲間など身近な人々との絆を感じる。

川越市の出来事

- ・川越市の人口 男172,499人、女170,777人、合計343,276人(平成23年4月1日現在)
- ・事業点検で川越シティカレッジ講座は、今年度で廃止
- ・市制施行90周年のテーマが決定「ともに歩む未来へ かわごえ90」
- ・日本橋お江戸舟運まつりに参加
- ・川越市キャッチフレーズが決定「時が人を結ぶまち川越」

川越市シニア大学設立までの経緯

◆ 社会的背景

生活体験・自然体験が日本の子どもの心をはぐくむ 文部科学省（平成11年6月9日 生涯学習審議会答申「概要」）

平成8年7月の中央教育審議会第一次答申において、今後における教育の在り方について、ゆとりの中で、子どもたちに「生きる力」をはぐくむことが基本であり、「生きる力」は学校・家庭・地域社会が相互に連携しつつ、社会全体ではぐくんでいくものとして、家庭や地域社会における教育力を充実していくことが提言されました。また、教育改革プログラムにおいては、平成14年度から完全学校週5日制を実施することとされ、学校教育における教育内容の厳選と軌を一にして、家庭や地域社会における子どもたちの体験活動の推進や体験活動の場の充実を図ることが課題となっています。

このような中、生涯学習審議会は、平成9年6月に文部大臣から「青少年の〔生きる力〕をはぐくむ地域社会の環境の充実方策」について諮問を受け、第1小委員会を設置して審議を行うこととしました。その後、平成10年6月の中央教育審議会答申（「新しい時代を拓く心を育てるために」）において、家庭や地域社会が子どもたちの心をめぐる問題にどのように取り組んでいくべきか具体的に提言されたことも踏まえつつ、幅広い角度から審議を進めてきました。

その結果、日本の子どもの心を豊かにはぐくむためには、家庭や地域社会で、様々な体験活動の機会を子どもたちに「意図的」・「計画的」に提供する必要があり、平成14年度からの完全学校週5日制の実施に向けて、子どもたちの体験活動の充実を図る体制を一気に整備するため、具体的な緊急施策を提言することとしました。

子どもたちの心を豊かにはぐくむためには、教育関係者だけではなく、私たち大人一人ひとりが、それぞれの立場で子どもの問題に関心をもち、活発な議論をしながら取組を進めていくことが大切です。本審議会が緊急にしなければならないこととして提示した取組が速やかに実施されることはもちろん、この答申をきっかけとして、私たち国民の間に、自分にできることを通じて、子どもの心を豊かにはぐくむ活動に参加しようという機運が高まっていくことを期待しています。

I 子どもたちの心の成長には、地域での豊かな体験が不可欠

- ① 生活体験が豊富な子どもほど、道徳観・正義感が充実
- ② お手伝いする子どもほど、道徳観・正義感が充実
- ③ 自然体験が豊富な子どもほど、道徳観・正義感が充実

II 子どもたちの体験を充実させるための地域社会の環境づくり

- ① 世界や地域を能動的に変革していく人間づくりを目指す
- ② 地域の体験を通して試行錯誤していくプロセスが、子どもを育てる
- ③ 子どもたちに様々な体験の機会を意図的・計画的に提供していく
- ④ 新しい人材や組織の参加により、子どもたちの体験の機会が飛躍的に拡充する
- ⑤ 子どもたちをプログラムの企画段階から参画させるような取組により、自主性を引き出す
- ⑥ 新しい情報手段の活用により、子どもたちへの働きかけの可能性が広がる

III 地域の子どもたちの体験機会を広げる

- 実施にあたっては、PTA、青少年団体、企業関係者、JA、老人クラブ、教育委員会、学校などでネットワーク組織をつくって進める。
- 民一過性のイベントではなく、継続的な事業になるように配慮する。
 - ・ 地域に古くから伝わる伝承遊びやものづくり
 - ・ 地域の文化を伝える活動
 - ・ 冒険的な活動や自然体験活動
 - ・ 世代を超えてのボランティア活動
 - ・ お年寄り障害のある人たちとのふれあい体験活動
 - ・ 地域に住む外国人との交流
 - ・ 農業体験
 - ・ 森林文化を学ぶ機会
 - ・ 地域でスポーツを楽しむ機会
 - ・ 芸術文化、民族芸能等の地域文化鑑賞会
 - ・ 商店街で商業活動体験（薬屋、花屋、食堂、ケーキ屋等でレジ打ち、商品の陳列、注文受けなどを体験。やり遂げた充実感、働くことの大変さや喜びを実感。挨拶が人とのコミュニケーションづくりに役立つ）
 - ・ 企業の工場、研究所を訪問する
 - ・ 川あそび
 - ・ 大学、付属農場等の見学会
 - ・ 専門学校での体験
 - ・ 博物館、美術館、動物園、水族館、歴史館の見学会

(仮称)川越市シニア大学企画案

～ 市民活動の推進～

(H12, 5, 25川越市シニア大学企画委員配布資料より抜粋)

■開設趣旨

少子化によって高齢社会へ移行している現在、高齢期に入った人々が自らの生活の質を高めるためには、学習や活動を充実させていく必要があります。

このことは、高齢社会では高齢者自らの問題だけにとどまらず、社会全体の問題でもあります。また、豊かな地域社会を形成していく上でも重要な課題となっています。

高齢期を迎えた人々がそれまでに培ってきた知識や技術だけでなく、新たな領域に挑戦し、生きがいを見出したり、その成果を地域社会に還元することが期待されています。

また地域の活動や学校教育の中で、日本の文化や地域の文化を子どもたちに伝承していくことも、先達として期待されています。

これらの目的を達成するために、「(仮称)川越市シニア大学」を開設します。

大学の運営にあたっては、参加する者が自ら企画に参加し、また運営を行う民主的なシステムを導入します。

■主 催：川越市

■開催時期：平成年月

■会 場：やまぶき会館及び会議室、市内公民館、高階北学習情報館ほか

■運営方法：社会の変化に応じた学習課題や地域に関する学習を中心に、併せて参加者自身が関心のある分野について調査研究を目指す。

具体的な内容の企画について、シニア大学企画委員会で検討する。

運営については、参加者の代表と企画委員で企画・運営委員会を組織する。

■事務局：生涯学習課及び関係課の職員

■対 象：市内在住の55歳以上の男女

■学習期間：学習期間は2年間を単位として、一定の学習成果を修めた者に対しては修了証を交付する。

■シニア大学の組織構想

学 長

舟橋市長

副学長

助役・教育長

シニア大学運営本部

本部長（教育長）

企画・運営委員会

企画・運営委員会は一般
公募と学生の代表から組
織する。代表者は互選、
事務局は生涯学習課

教務部

学生支援部

各部署は市が運営する

本 科 コ ー ス

選
科
コ
ー
ス

- ・ 学びの歴史学
- ・ 未来へ贈る自然学

学生相談室

- ・ 学習情報館等を使って常設を検討する

シニア大学学生

学習内容

- ・ 本科コースの充実
- ・ 専科コースの拡大

■生涯学習の施策におけるシニア大学の位置づけ

平成11年3月に策定された「川越市生涯学習基本構想・基本計画」において、第5章「社会の変化に応じた学習機会の充実とネットク化」の中の施策として「シニア大学の開設」が位置づけられています。

具体的には「地域活動の機会の充実」、「知識・技術を生かす学習機会の充実」、「変化する社会へ対応する学習機会の充実」、「課題に対応する学習機会の充実」などの学習課題を示しています。

また、川越市老人保健福祉計画・川越市介護保険事業計画案にある生涯学習の充実、「勤労者・退職者の学習・生きがいの支援」の中で「シニア大学の開設」が位置づけられています。

■市民憲章：先人の輝かしいあゆみにより、すばらしい歴史的遺産を持つ川越。わたしたちは、このまちに生きること誇りをもって、さらに住みよい魅力あふれるまちづくりをいくことを誓い、ここに市民憲章を定めます。

- 1 郷土の伝統をたいせつにし、平和で文化の香りがたかいまちにします。
- 1 自然を愛し、清潔な環境を保ち、美しいうらおいのあるまちにします。
- 1 きまりを守り、みんなで助けあう明るいまちにします。
- 1 働くことに生きがいと喜びを感じ、健康でしあわせなまちにします。
- 1 教養をふかめ、心ゆたかな市民として、活力にみちたまちにします。

■川越学：未来に萌える歴史のまち川越を、文化・歴史・人・地域・まちづくりなどのさまざまな視点から、新しいスタイルで川越らしさを探求していく学問です。

【学】と言っても、それは「らしさ」探しの目印みたいなものです。

■市民活動：自分の持っている知識や経験を地域社会の中で活かすことで、生産性のある活動ができること。

■川越シニア大学の可能性（長期的事業効果）

現代的な意味でのコミュニティとは、市民としての自主性と権利と責任とを自覚した自由民が、地域への結びつきの感情を持ち、共通の行動をとろうとする。その過程の中ではぐくまれるのがコミュニティである。と考えます。

市民活動もここに含まれると考えれば、市民活動を支援することは、まちづくりの貢献につながる期待があります。

高齢社会へ移行していく中で、市民同士による支え合いや、NPO・NGO的にまちづくりに向かっていくことも期待できます。また、コミュニティが深まることにより、社会的弱者をも含めた市民活動に発展することも期待できます。

■教育と学習の支援

現代的課題として、「教育」・「環境」・「福祉」・「男女平等」・「情報化」・「国際化」・「少子高齢」、また「企業の活性化」などがあげられます。どの分野に関しても、それを単独に解決していける問題ではない、と考えます。

学校における総合的な学習の時間をはじめ、市民団体や行政で行われる生涯学習とネットワークの構築を進めてこそ、有効に取り組めると考えます。

シニア大学では、中期的な展望として、ネットワークの充実をはかり、そのような問題に取り組めるように進めていきたい、と考えます。

その方法は、教育と学習の支援です

- ・「運営」や「活動プログラム」に対する企画、実践力の養成
- ・「学習資料」の開発
- ・「学習資料」の提供

ができる能力をはぐくむプログラムをシニア大学で展開したいと考えます。

■なぜ川越学：目指す市民活動は、様々な活動になることが想定されます。その様々な活動は、越を愛するところを基礎とすれば、活動相互がつながり、広がると考えます。まず、川越の歴史・文化をよりどころにシニア大学を進めていきたいと考えます。

■企画委員のみなさんと考えたいプログラム開発のポイント

- ・川越学の共通認識
(自然、歴史、文化、社会、産業、町並み、人、生活、交流、その他地域に関すること)
- ・教育と学習の支援方法とは何か
- ・みんなが楽しめる多様性 (今年度は、2コース)
- ・誰でも参加できる開放性 (今年度は、本科：300人、専科：60人×2コース)
- ・五感を活かした全身性 (総合的な学習の時間などにつながる可能性)

短期構想

対象 (入口)	:	市民憲章・川越学を求める人
目的 (出口)	:	教育と学習の支援方法を身につける
キーワード	:	自己改革

中期構想

対象 (入口)	:	市民憲章・川越学を求める人
目的 (出口)	:	教育と学習の支援ができる人
キーワード	:	自己啓発

長期構想

対象 (入口)	:	市民憲章・川越学を求める人
目的 (出口)	:	市民活動できる人
キーワード	:	自己実現

川越市シニア大学開設要項

WHY (なぜ)	: 高齢者が活躍する地域社会システムを築くために 生涯学習によるまちづくりを推進するために
WHEN (いつ)	: 平成12・13年度の2ケ年 平成12年11月～14年3月 月2回 金曜日 午前・午後
WHERE (どこで)	: 川越市やまぶき会館ホール及び会議室 その他学習に適した会場（フィールドワークや学校との連携を想定）
WHO (だれが)	: 主催 川越市 主管課 生涯学習課 企画運営 企画運営委員会 ※現在、市民による企画委員10人
WHOM (だれのために)	: 市内在住で通学可能な55歳以上の方 自分らしい生き方を追求し、人の役に立ちたい人のために
WHAT (何を)	: 生涯学習ボランティアに必要な知識や技術の習得 市民憲章・川越学を柱に学習プログラムを立案していく
HOW (どのように)	: 本科・専科コースのプログラムを、企画委員会（市民）による 主体性のある運営で進める
キーワード	: 体験学習（調査研究を含む実践的プログラムの提供） 異世代交流（コミュニティの推進と総合的学習の時間に融合）

環境／課題／効果

<p>◆生涯学習環境</p> <p>人それぞれの学びや人の役に立つ何かをしたい気持ちに、柔軟に受け止められる環境が望まれ、それは高齢者を中心に高まりを見せています。 生涯学習ボランティアがさらに活躍できるシステムを築くことへの期待は大きく、実践的な学習が求められています。</p>	<p>◆高齢者をめぐる課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会への移行 ・高齢者の健康維持 ・高齢者の自立 ・高齢者の自己実現 ・高齢者の人材活用 ・高齢者の学習ニーズの多様化 ・国及び地方公共団体の取組み
<p>◆シニア大学の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間づくりの促進 ・専門的な学習の維持 ・コース別学習の会場の確保 ・主体的な学習への支援のあり方 ・ボランティアコーディネーターの育成 ・社会的評価、人材バンクのあり方 ・広域行政への対応 	<p>◆事業効果予測</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康維持と自立 ・多様な生涯学習の創出 ・異世代交流の拡大や深まり ・生涯学習ボランティアの養成と活用 ・潜在的学習者の社会参加 ・生涯学習によるまちづくりの推進具体化 ・川越市のイメージアップ



Mr. [Name]

[Blurred text block]

[Blurred text block]

[Blurred text block]

～ 学び輝く彩の国県民運動協賛～
平成12,13年度 第1期 川越市シニア大学

小江戸塾

～ 川越らしさを探し 未来へ贈る 学舎 ～

「学び合い支え合う学習を、世代を超えて進めていこう。」私たち市民企画委員と行政が共に考え、『小江戸塾』を企画しました。

『小江戸塾』で大切にしたいことは、川越らしさ・学びの支援、そして将来的には世代を超えた学びの交流です。

ふるさと川越に学び、いろいろな学びの支援者として、一人ひとりが活躍できることを願い開催します。 (企画委員一同)

- 1, 期 間 平成12年11月～平成14年3月 月1回 金曜日
- 2, 会 場 川越市やまぶき会館ホール及び会議室 その他学習に適した会場
- 3, 対 象 川越市在住在勤で通学可能な55歳以上の方
本科コース：300人 専科コース：各60人 いずれも応募者多数の場合は抽選になります
- 4, 経 費 本科コース2,000円 専科コース 2,000円 いずれも2年分になります。その他学習にかかわる実費
- 5, 内 容 プログラム予定表をご覧ください。
- 6, 申込み 平成12年9月22日(消印有効)まで、往復はがきでお申込み下さい。
- 7, 問合せ 生涯学習課社会教育係 電話24-8811 内線2842

11月10日(金) スタート

主催 川越市

川越市シニア大学『小江戸塾』開講

小 江 戸 塾 本科コース

～ 川越らしさを探し 未来へ贈る 学舎 ～

会場 川越市やまぶき会館ホール

回	日 時	学 習 内 容	講 師
1	11月10日(金)	生涯学習とまちづくり 市民の学習活動がまちを支えはぐくむ	東京国際大学教授 遠藤 克弥 氏
2	12月 8日(金)	市民がはぐくむ川越の未来像 川越の風土・歴史・人の営み	立教大学教授 溝尾 良隆 氏
3	1月19日(金)	子どもの成長と地域社会の役割 総合的な学習の時間と地域学習の機会	県・生涯学習課社会教育主事 清水 隆 氏
4	2月16日(金)	市民活動(NPO)のしくみと重要性 市民活動を結んでいくまちづくり	東京国際大教授 遠藤 克弥氏 宇都宮大助教授 広瀬 隆人氏 社会調査研究所 犬塚 裕雅氏 市生涯学習課長 有山 達氏
5	4月 6日(金)	世代をつなぐ学習支援プログラム 学校支援ボランティアでやっていること	大東西小学校長 島田 光子 氏
6	5月11日(金)	川越にみるさつまいも文化とこれから 産業としてのさつまいもの歴史	さつまいも資料館長 井上 浩 氏
7	6月 1日(金)	年中行事をささえてきた人と技 暮らしの中で途絶えてしまう伝承技術	さいたま民族文化研究所 所長 大館 勝治 氏
8	7月 6日(金)	武蔵野の平地林の特徴と変遷 自然保護活動の取組み	おおたかの森トラスト代表 足立 圭子 氏
9	8月10日(金)	蔵造りの町並みと商人文化の意気込み 新河岸川舟運が支えた小江戸の繁栄	市・文化財保護課主査 加藤 忠正 氏
10	9月14日(金)	小江戸を支えた川と水田 水災害の歴史・水環境の移り変わり	市・文化財保護協会副会長 阿部 徳之助 氏
11	10月12日(金)	氷川神社の祭礼 秘蔵絵巻に見る川越まつりの歩み	市・博物館解説員ほか
12	11月 9日(金)	世代を超えて共に学ぶには 現代っ子の心理と行動	塾生 鯨井愛子氏、 神田みづゑ氏・仲井謙介氏
13	12月 7日(金)	学びやすい雰囲気づくり 子どもの自律の支援	世田谷まちづくりセンター 朝比奈 ゆり 氏
14	2月 1日(金)	「学びの歴史学」成果発表 「未来に贈る自然学」成果発表	喜多院と周辺の関わり 新河岸川の歴史・その他
15	3月 1日(金)	修了証授与 地域木養育の方向性と塾生への期待	舟橋 功一 学長代理 有山生涯学習課長

学びの歴史学 専科コースA

江戸時代から現代までの学びや遊びの移り変わりを学び、次世代へ育む歴史学を探します。また、調査研究を通して、ふるさと学習を考え、本科コースで発表していきます。

回	日 時	学習テーマ	学 習 内 容	講師・支援者
1	11月24日(金)	であいの時	オリエンテーション であいのゲーム 役割分担	生涯学習課職員
2	12月15日(金)	江戸時代の 学び	寺子屋を中心とした学び あそびの時間・空間・仲間	かわごえ子ども文化研究所長 梶川 牧子 氏
3	2月 2日(金)	明治・大正の 学びⅠ	義務教育と 子どもたちの生活	埼玉大学教授 新井 淑子 氏
4	2月23日(金)	明治・大正の 学びⅡ	就学率の高まりと 子どもたちの生活	埼玉大学教授 新井 淑子 氏
5	3月 9日(金)	昭和の学び	高度経済成長と 子どもたちの生活	埼玉大学名誉教授 川合 章 氏
6	4月13日(金)	平成の学び	飽食の時代と 子どもたちの生活	埼玉大学名誉教授 川合 章 氏
7	6月22日(金)	ふるさと学習 を考える	小江戸塾らしい足跡探し 目的別グループ分け	生涯学習課職員
8	7月27日(金)	川越らしさの 探求	調査研究活動 企画手順及び方法の理解	生涯学習課職員
9	8月31日(金)	体験学習を 体験する	博物館プログラム体験 博物館活用辞典について	市立博物館長 平岡 健 氏
10	9月28日(金)	川越らしさの 探求	調査研究活動 プログラムデザイン	生涯学習課職員
11	10月19日(金)	直接体験の 学習法	ハンズオンの手法 見て・ふれて・感じる学習	市立博物館長 平岡 健 氏
12	11月30日(金)	五感を活かす 考え方	こころをはぐくむプログラム 参加型学習になつているか	生涯学習課職員
13	12月21日(金)	川越らしさの 探求	調査研究活動 成果のプレゼンテーション	生涯学習課職員
14	1月18日(金)	小江戸塾の 足跡	企画の実践 本科コースの発展に備える	生涯学習課職員
15	2月15日(金)	出発の時	修了証授与 懇話会・川越らしさの気づき	舟橋 功一学長代理 大室生涯学習部次長

未来へ贈る自然学

専科コースB

身近にある樹林の変遷を学び、次世代へはぐくむ自然学を探します。また、調査研究を通して、ふるさと学習を考え、本科コースで発表していきます。

回	日 時	学習テーマ	学 習 内 容	講師・支援者
1	11月24日(金)	であいの時	オリエンテーション であいのゲーム 役割分担	生涯学習課職員
2	12月15日(金)	やすらぎ空間 の自然	樹林の遷移 2次林(※1)の自然	川越・樹の会会長 愛川 敬武 氏
3	2月 2日(金)	樹木に親しむ	樹木・盆栽と見方と生活	川越巨樹・古木の会会長 金子 晃 氏
4	2月23日(金)	川越の 自然を知る	平地林の樹木の特徴 武蔵野の緑の生態	川越・樹の会会長 愛川 敬武 氏
5	3月 9日(金)	川越の 巨樹・巨木	巨樹・巨木の魅力と見方 川越にある面白い樹	川越巨樹・古木の会会長 金子 晃 氏
6	4月13日(金)	自然からの ささやき	植物から環境を知る 見る・わかる・行動する	川越・樹の会会長 愛川 敬武 氏
7	6月22日(金)	ふるさと学習 を考える	小江戸塾らしい足跡残し 目的別グループ分け	生涯学習課職員
8	7月27日(金)	川越らしさの 探求	調査研究活動 企画手順及び方法の理解	生涯学習課職員
9	8月31日(金)	体験学習を 体験する	博物館プログラム体験 博物館活用辞典について	市立博物館長 平岡 健 氏
10	9月28日(金)	川越らしさの 探求	調査研究活動 プログラムデザイン	生涯学習課職員
11	10月19日(金)	直接体験の 学習法	自然観察の手法 見て・ふれて・感じる学習	中級指導員 清水 秀樹 氏ほか
12	11月30日(金)	五感を活かす 考え方	こころをはぐくむプログラム 参加型学習になつているか	生涯学習課職員
13	12月21日(金)	川越らしさの 探求	調査研究活動 成果のプレゼンテーション	生涯学習課職員
14	1月18日(金)	小江戸塾の 足跡	企画の実践 本科コースの発展に備える	生涯学習課職員
15	2月15日(金)	出発の時	修了証授与 懇話会・川越らしさの気づき	舟橋 功一学長代理 大室生涯学習部次長

※1 2次林：原生樹林の遷移が進んだ森林の最終段階を極相林といい、関東地方の平地や低山は殆ど人手が入っていて原生林はなく、伐採・開墾を受けた後、2次的にできた林です。

小江戸塾における「体験学習法」の重要性

体験学習への期待の高まり

社会教育では「現代的課題の学習」で、学校教育では「総合的な学習の時間」で、おとなも子どもも個別の競争、記憶の学習ではなく、連帯の学習、協働の学習へと転換が求められています。

こうした「協働」できる力をはぐくむための方法として体験学習法に注目しました。体験学習法は、体験する→考える→分析する→生かす、という学習サイクルです。特徴は、体験と生活のつながりに留意し、実体験に通じる改善が絶えず具体的に行われることです。主体性や自律的な学習により行動変容することを目指します。これまでの学習方法に、効果的な体験活動を組み合わせて学習展開を図ることによって、学習目的と対象に応じた幾通りものプログラムを成立させることができます。

小江戸塾の学習プログラムは、この体験学習法を基にして進めてきました。そして、体験学習を体験しながら自らも体験学習プログラムを「学習支援プログラム」というかたちで川越の風土を題材に企画と実践をしました。

学習を市民活動につなげていく視点が生涯学習課で実施する小江戸塾の社会的役割と考えています。変化に対応するための学習だけではなく、変化を主体的に創造する社会変革の主体となるための学習という視点です。体験学習法による体験学習は、未来社会から必要とされている学習と考えられ、体験学習による市民活動推進への期待はますます高まっています。

プログラムを「可視化」する必要性

小江戸塾生が企画した学習支援プログラムの「信頼度」を支える資料。と考えます。

プログラムは、工業製品のように事前に手に取って確認した上で選択することができません。「どのような学習ができるのか」「そのプログラムの内容や品質は、他のプログラムと比較するとどうなるのか」など、潜在的な依頼者や参加者にサービスの質が問われます。

そこで「サービスの可視化」、つまり提供されるプログラムの内容・品質をわかりやすく紙情報で伝えることで、潜在的な依頼者や参加者に安心と信頼を促し、小江戸塾生の市民活動の場を拡げていこうと考えました。

また今後は、プログラムの企画や実践をすることだけが目的ではない、ということをさらに意識できるように、自己やグループの活動の課題や原因・対策を、自己評価シートという形での可視化も進めていきたいと考えます。これは、学習過程での新しい発見や気づき、人とのかかわりなどによる行動変容を得ることも目的のひとつであるからです。

ヒコーキ型企画書の見方

■ヒコーキのかたちをしたもの

尾翼：依頼者（例えば学校の先生）からの、「〇〇〇〇を目的に、何を・誰に・いつ・どこで・何時間位でやって欲しい」などの条件を明らかにし、その背景を理解します。

エンジン：その学習を通してどんな人になつてもらいたいのか、実施側の共通した「思い」を明らかにします。

左翼：社会の動向や、世の中の人々の気持ちを調査します。（テーマに対して対象者はどのような状況にあるのか）ここで自分の思いとの距離を計り、ひとりよがりにならないようにします。

右翼：利用する場所（地域）の自然や文化資源を調査します。他の場所ととどんな違いがあるのか（強みと弱み）を明らかにし、自分たちでできることを考えます。（素材探し）

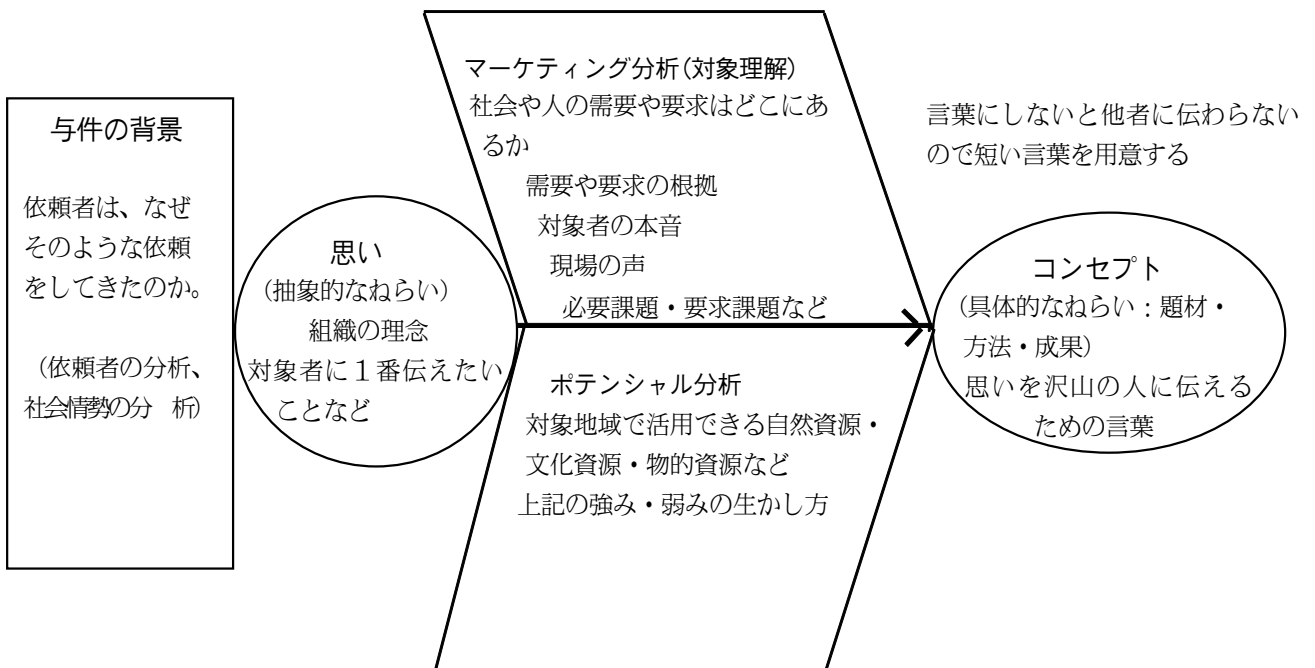
コクピット：具体的に何を題材に・どんなことをして・何を指すのか（行き先）を明らかにします。そして、自分たちの役割は何か（社会的役割）も見失わないようにします。ヒコーキ全体の要素をわかりやすい言葉で表現するようにします。

ヒコーキ型 企画書

グループ名

与件（依頼内容）：私たちのチームに何をしてほしいのか。子どもたちがどのようなことが望まれるのか。その時間の位置づけ等。
（いつ／どこで／何人／何分／テーマ／話？それとも体験？／打合せ日程等）

メンバー名



～ 平成14年度 第2期 川越市シニア大学 ～

小江戸塾

～ 川越らしさを探し 未来へ贈る 学舎 ～

川越の風土を生かした体験学習の企画と実践をしていきます。
1年先には、学習支援者として第3期「小江戸塾」や学校・公民館
などで企画を実践することを目指します。

『小江戸塾』で大切にしたいことは、川越らしさ・体験的学び・そして
自発性です。

ふるさと川越に学び、自分を生かした学習支援者として、一人
ひとりが地域で活躍できることを願い開催します。

- 1, 期 間 平成14年5月～11月 歴史・文化コース(水)・自然コース(木) 各15回
- 2, 会 場 川越市さわやか活動館及び川越市やまぶき会館中ホール
その他学習に適した会場
- 3, 対 象 川越市在住在勤で公共交通機関をご利用の上、通学可能な55歳以上の方
歴史・文化コース、自然コース：各30人 いずれも応募者多数の場合
は抽選になります
なお、今年度に限り、第1期生が各コースに30人運営支援者を兼ねて
参加します
- 4, 経 費 5,000円 その他学習にかかわる実費(教材費1,500円程度：希望制)
- 5, 内 容 学習予定表をご覧ください。
- 6, 申込み 平成14年4月8日(消印有効)まで、往復はがきでお申込み下さい。
〒350-8601 川越市元町1-3-1 川越市教育委員会 生涯学習課社会教育係
- 7, 問合せ 生涯学習課社会教育係 電話224-8811 内線2843

主催 川越市・川越市教育委員会

歴史・文化コース

川越の歴史や文化に興味のある方が対象です。未来に残していきたい題材をテーマに、体験学習のプログラムの企画と実践をしていきます。

講義を聞くだけの学習会ではありません。各回のテーマに主体的にかかわっていく参加型学習になっています。修了後は、体験学習の企画者や学習支援者として市民活動にかかわっていくことを目指します。

回	日 時	学 習 (活 動) 内 容	講 師 ・ 支 援 者
1	5月15日(水)	入塾式オリエンテーション であいのゲーム/ジョハリの4つの窓	生涯学習課職員 小江戸塾同窓会学習支援部
2	5月22日(水)	地域と学校の連携 学校で必要とされる地域の教育力	東京農工大学農学部 永石 文明 氏
3	5月29日(水)	ここまで企画しよう(1期生5グループ) 川越城歴史教室/巨樹・古木ほか	川越城歴史教室 齊藤 恒 氏
4	6月 5日(水)	研究テーマを決める 未来に伝えたい川越/グループづくり	生涯学習課職員 小江戸塾同窓会学習支援部
5	6月12日(水)	企画書づくりの進め方 企画手順の共有/センスオブワンダー	生涯学習課職員 小江戸塾同窓会学習支援部
6	6月19日(水)	伝承行事をテーマにした体験学習 七夕の体験学習/体験のふりかえり	スマイルオールウェイズ 鯨井 愛子 氏ほか
7	7月 4日(木)	参加型学習と支援者の役割 参加者主体の学習/学習課程の重視	栃木県総合教育センター 部長補佐 澤田 実 氏
8	7月17日(水)	新河岸川をテーマにした体験学習 新河岸川の観察/体験のふりかえり	新河岸川観察グループ 横溝 栄 氏ほか
9	8月 7日(水)	参加型の学習になっていますか 体験学習法/対象理解/地域資源活用	川越市中央公民館 係長 清水 秀樹 氏
10	9月 4日(水)	プレゼンテーション(5グループ) 伝えることと伝わることとの違い	生涯学習課職員 小江戸塾同窓会
11	9月18日(水)	グループの実践発表(3グループ) 時の鐘・成田山をテーマにした体験学習	小江戸塾同窓会学習支援部 尾原 晋 氏ほか
12	10月 9日(水)	グループの実践発表(2グループ) 時三芳野神社をテーマにした体験学習	小江戸塾同窓会学習支援部 増田 慎一 氏ほか
13	10月16日(水)	「思い」を生かす人づくり 成果目標と行為目標/展望と戦略	人と組織のための国際研究所 代表 川北 秀人 氏
14	11月 6日(水)	修了式(全体のふりかえりとわからあい) 同窓会についての説明・申込み	小江戸塾同窓会会長 仲井 謙介 氏ほか
15	11月23日(土)	実践発表(1期生4グループ・2期生7グループ) 体験学習企画の過程を見せる	小江戸塾同窓会学習支援部 鎌田 保 氏ほか

自然コース

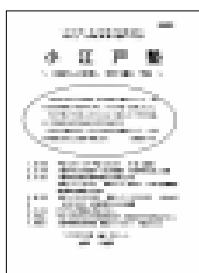
川越の自然に興味のある方が対象です。未来に残していきたい題材をテーマに、体験学習のプログラムの企画と実践をしていきます。

講義を聞くだけの学習会ではありません。各回のテーマに主体的にかかわっていく参加型学習になっています。修了後は、体験学習の企画者や学習支援者として市民活動にかかわっていくことを目指します。

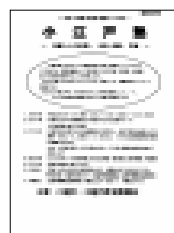
回	日 時	学 習 (活 動) 内 容	講 師 ・ 支 援 者
1	5月16日(木)	入塾式オリエンテーション であいのゲーム/ジョハリの4つの窓	生涯学習課職員 小江戸塾同窓会学習支援部
2	5月22日(水)	地域と学校の連携 学校で必要とされる地域の教育力	東京農工大学農学部 永石 文明 氏
3	5月29日(水)	ここまで企画しよう (1期生5グループ) 川越城歴史教室/巨樹・古木ほか	巨樹・古木グループ 堀尾 勝巳 氏ほか
4	6月 6日(木)	研究テーマを決める 未来に伝えたい川越/グループづくり	生涯学習課職員 小江戸塾 同窓会学習支援部
5	6月13日(木)	企画書づくりの進め方 企画手順の共有/センスオブワンダー	生涯学習課職員 小江戸塾同窓会学習支援部
6	6月27日(木)	湿地をテーマにした体験学習 湿地の体験学習/体験のふりかえり	湧水グループ 井山 幸之 氏ほか
7	7月 4日(木)	参加型学習と支援者の役割 参加者主体の学習/学習課程の重視	栃木県総合教育センター 部長補佐 澤田 実 氏
8	7月18日(木)	喜多院をテーマにした体験学習 喜多院の自然観察/体験のふりかえり	喜多院の自然観察会 飯島 一次 氏ほか
9	8月 7日(水)	参加型の学習になっていますか 体験学習法/対象理解/地域資源活用	川越市中央公民館 係長 清水 秀樹 氏
10	9月 5日(木)	プレゼンテーション (5グループ) 伝えることと伝わることとの違い	生涯学習課職員 小江戸塾同窓会学習支援部
11	9月19日(木)	グループの実践発表 (3グループ) 時の鐘・成田山をテーマにした体験学習	小江戸塾同窓会学習支援部 尾原 晋 氏ほか
12	10月 3日(木)	机上と実践の違い 9/19ふりかえり/11/23発表準備	生涯学習課職員
13	10月16日(水)	「思い」を生かす人づくり 成果目標と行為目標/展望と戦略	人と組織のための国際研究所 代表 川北 秀人 氏
14	11月 7日(木)	修了式 (全体のふりかえりとわからあい) 同窓会についての説明・申込み	小江戸塾同窓会副会長 飯田 静子 氏ほか
15	11月23日(土)	実践発表 (1期生4グループ・2期生7グループ) 体験学習企画の過程を見せる	小江戸塾同窓会学習支援部 鎌田 保 氏ほか

川越市シニア大学『小江戸塾』から
川越市シニア カレッジ『ふるさと塾』へ

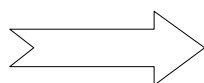
講座名 川越市シニア大学「小江戸塾」
平成12・13年度 第1期
主催：川越市 担当 生涯学習課



講座名 川越市シニア大学「小江戸塾」
平成14年度 第2期
主催：川越市 担当 生涯学習課



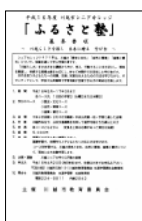
修了生が「小江戸塾同窓会」
を結成し、活動を始める。



川越市シニア大学「小江戸塾同窓会」が、
団体名を川越シニア大学「小江戸塾」と変更

講座名：川越市シニアカレッジ「ふるさと塾」
平成16年度～平成18年度
主催 川越市 ・教育委員会
企画・運営 川越シニア大学「小江戸塾」

平成16年度



平成17年度



平成18年度



講座名：川越市シニアカレッジ「ふるさと塾」
平成24年度
主催 川越シニア大学「小江戸塾」
後援 川越市 ・文化スポーツ部

平成22年度



平成23年度



平成24年度



平成16年度 川越市シニアカレッジ

「ふるさと塾」

募集要項

～ 川越らしさを探し 未来に贈る 学び舎 ～

シニアカレッジふるさと塾は、川越の「歴史と文化」「自然と環境」「産業と観光」について、体験を通じて学ぶ学習の場です。

「川越らしさ」をさまざまな講師から学び、考え、行動することを大切にし、現地を踏査し、体感する現場主義を大切にし、併せて仲間作りを目指した学び舎です。

次代を担う子どもたちへの知識、技術、知恵を伝えるための方法を学びながら、ボランティアとして、学校や公民館等で学習活動が支援できる方の育成を目指します。

- 1, 期 間 平成16年5月～17年3月まで
各コース共、18回の学習日（火曜日または水曜日）
- 2, 学びのコース ◇歴史・文化コース
◇自然・環境コース
◇産業・観光コース
- 3, 会 場 やまぶき会館・さわやか活動館・中央公民館・他・学習に適した会場
- 4, 対 象 川越市在住で、公共交通機関を利用して通学可能な55歳以上の方
- 5, 定 員 各コースとも20人（定員を上回る応募があった場合は抽選）
- 6, 経 費 5,000円
- 7, 内 容 学習プログラムをご参照ください。
基礎学習で、仲間作りと子どもたちへの伝え方を学びます。
コース別学習では、川越の歴史と文化、自然と環境、産業と観光について、現地に立ち体験学習します。
- 8, 企画・運営 川越シニア大学小江戸塾の皆様
- 9, 申込み 平成16年4月20日(消印有効)まで、往復はがきでお申込み下さい。
〒350-8601 川越市元町1-3-1 川越市教育委員会 生涯学習課社会教育係
- 10, 問合せ 川越市教育委員会 生涯学習課 社会教育係
電話224-8811 内線2842

主 催 川 越 市 教 育 委 員 会

平成17年度 川越市シニアカレッジ

「ふるさと塾」

募集要項

～ 川越らしさを探し 未来に贈る 学び舎 ～

シニアカレッジふるさと塾は、川越の「歴史と文化」「自然と環境」について、体験を通じて学ぶ学習の場です。

「川越らしさ」をさまざまな講師から学び、考え、行動することを大切にし、現地を踏査し、体感する現場主義を大切にし、併せて仲間作りを目指した学び舎です。

地域の子どもたちへの知識、技術、知恵を伝えるための方法を学びながら、ボランティアとして、学校や公民館等で学習活動が支援できる方の育成を目指します。

- 1, 期 間 平成17年6月～18年3月まで
各コース共、18回の学習日（火曜日または水曜日）
- 2, 学びのコース ◇歴史・文化コース
◇自然・環境コース
- 3, 会 場 やまぶき会館・さわやか活動館・中央公民館・他・学習に適した会場
- 4, 対 象 川越市在住で、公共交通機関を利用して通学可能な55歳以上の方
- 5, 定 員 各コースとも25人（定員を上回る応募があった場合は抽選）
- 6, 経 費 3,500円
- 7, 内 容 学習プログラムをご参照ください。
基礎学習で、仲間作りと子どもたちへの伝え方を学びます。
コース別学習では、川越の歴史と文化、自然と環境について、現地に立ち体験学習します。
- 8, 企画・運営 川越シニア大学小江戸塾
- 9, 申込み 平成17年5月16日(消印有効)まで、往復はがきでお申込み下さい。
〒350-8601 川越市元町1-3-1 川越市教育委員会 生涯学習課社会教育係
- 10, 問合せ 川越市教育委員会 生涯学習課 社会教育係
電話224-8811 内線2842

主 催 川 越 市 教 育 委 員 会

平成18年度 川越市シニアカレッジ

「ふるさと塾」

募集要項

～ 川越らしさを探し 未来に贈る 学び舎 ～

シニアカレッジふるさと塾は、川越の「歴史と文化」「自然と環境」について、体験を通じて学ぶ学習の場です。

「川越らしさ」をさまざまな講師から学び、考え、行動することを大切にし、現地を踏査し、体感する現場主義を大切にし、併せて仲間作りを目指した学び舎です。

地域の子どもたちへの知識、技術、知恵を伝えるための方法を学びながら、ボランティアとして、学校や公民館等で学習活動が支援できる方の育成を目指します。

- 1, 期 間 平成18年5月31日～19年2月21日まで
各コース共、18回の学習日
- 2, 学びのコース ◇川越の歴史・文化コース
◇川越の自然・環境コース
- 3, 会 場 やまぶき会館・さわやか活動館・中央公民館・他・学習に適した会場
- 4, 対 象 川越市在住で、公共交通機関を利用して通学可能な55歳以上の方
- 5, 定 員 各コースとも25人 (定員を上回る応募があった場合は抽選)
- 6, 経 費 3,000円
- 7, 内 容 学習プログラムをご参照ください。
基礎学習で、仲間作りと子どもたちへの伝え方を学びます。
コース別学習では、川越の歴史と文化、自然と環境について、現地に立ち体験学習します。
- 8, 企画・運営 川越シニアカレッジ「ふるさと塾」運営委員会
- 9, 申込み 平成18年5月8日(月)午前9時から、電話またはFAXで生涯学習課へ申込みください。
川越市教育委員会 生涯学習課 社会教育係
電話 049-224-8811 内線 28432844
FAX 049-226-4699

主 催 川 越 市 教 育 委 員 会

平成22年度 ふるさと塾

～ 川越らしさを探し 未来に贈る 学び舎 ～

「ふるさと塾」は、文化・歴史・人・自然・地域・まちづくりなどの視点から、新しいスタイルで川越らしさを探求していく講座で、座学のみでなく、現場体験型学習を取り入れ、あわせて仲間作りを目指す学び舎です。

さらに、生涯学習ボランティアとして、子どもたちへの知識、技術、知恵を伝える学習支援方法を習得し、学校や公民館での学習活動を支援できるシニアの育成を目指します。

講座日程

回	日 程	テ ー マ	講 師	会 場
1	6月23日(水)	入塾式 ・基調講演「生涯学習のすすめ」	東京国際大学 遠藤克弥氏	中央図書館
2	7月14日(水)	川越学のすすめ その1 ・「都市学」～川越の街づくりと川越らしさ～ ・「甘藷学」～たかがいも、されど川越いも～	市職員 加藤氏 井上 浩 氏	市立博物館
3	7月28日(水)	川越学のすすめ その2 ・川越城の歴史と城廊探訪	東京国際大学 松尾鉄城氏	市立博物館
4	8月11日(水)	川越学のすすめ その3 ・江戸文化を垣間見る 川越祭りと蔵造り	東京国際大学 松尾鉄城氏	中央図書館
5	8月25日(水)	川越学のすすめ その4 ・「自然環境学」～川越の河川と雑木林～	東洋大学 小瀬博之氏	東洋大学 川越キャンパス
6	9月8日(水)	全体学習 ・	小江戸塾	さわやか活動館
7	9月22日(水)	体験学習 ・グループ別学習/テーマ選定・資料収集・調査	小江戸塾	さわやか活動館
8	10月13日(水)	体験学習 ・グループ別資料収集・調査 ・学習支援プログラムの作成と発表準備	小江戸塾	さわやか活動館
9	10月27日(水)	・学習成果発表会 修了式	小江戸塾	中央図書館

期 間 平成22年6月23日(水)～10月27日(水)

午後1時30分～4時30分 第2・第4水曜 全9回

会 場 中央図書館・市立博物館ほか

対 象 川越市在住で、55歳以上の成人

定 員 50人(定員を超えた場合は抽選)

経 費 3千円(1回目に集金)

申込み 6月15日(火)までに、電話またはEメール(ふるさと塾・〒住所・氏名(ふりがな)・性別・年齢・職業・電話番号)で文化振興課まで。

問合せ 文化振興課 生涯学習推進担当 049-224-8811(内線3311)

Eメール:bunkashinko@city.kawagoe.saitama.jp

協 力 川越シニア大学『小江戸塾』

平成 23 年度川越市 「ふるさと塾」

～川越らしさをさがし、未来へ贈る学び舎～

平成 23 年度川越市「ふるさと塾」は、生涯学習ボランティアとして公民館や学校での体験学習・支援活動に関わり、地域の子どもたちに知識・技術・知恵を伝承するシニアの人材育成のため、ふるさと川越の「歴史・文化」「自然・環境」「観光・産業」等を学習し、あわせて仲間づくりを目指す学び舎です。

日 時 6月22日(水)～12月21日(水) 午後1時30分～4時30分
ただし、8月3日の講座は午前9時～12時 (全13回)

会 場 市民会館・やまぶき会館・中央図書館ほか

対 象 市内在住・在勤の55歳以上の方

定 員 50人(定員を超えた場合は抽選)

経 費 3,000円(第1回目に集金)

申 込 6月15日(水)までに電話またはEメール
(ふるさと塾・住所・氏名(ふりがな)・性別・年齢・職業・電話番号)

問合せ 川越市役所・文化振興課 生涯学習担当(224-6157)まで
Eメール：bunkasyinkou@city.kawagoe.saitama.jp

協 力 川越シニア大学『小江戸塾』

平成24年度川越市文化振興課との協働事業

ふるさと塾・受講生募集

川越の歴史・文化・自然環境等を学び子どもたちに伝えよう!!

川越シニアカレッジ「ふるさと塾」受講生募集内容

- 開講期間等 7月 11日～12月 19日
全11回(水曜日) ・ 9時30分～3時30分
- 会 場 市民会館他 ・ 現地見学
- 対 象 川越市在住 ・ 55歳以上
- 定 員 30名 (応募者多数の場合抽選)
- 受 講 料 3,000円
- お申込み 郵便ハガキに「ご住所・ご氏名・電話番号」
をご記入のうえ6月20日までに必着
- お申込み先 「〒350-8601 川越市元町1-3-1
川越市文化振興課 」 あて

お問合せ先 川越市文化振興課 電話 224-6157

主 催 川越シニア大学『小江戸塾』 後 援 川 越 市



入塾式 川越市やまぶき会館 基調講演 遠藤 克弥 教授



専科の学習成果発表 やまぶき会館



生涯学習課職員と企画・運営委員



第1期本科修了証書



修了懇親会 第7班・第8班 氷川会館



修了懇親会 第11班・第12班 氷川会館

川越市シニア大学「小江戸塾」第2期

(平成14年6月～平成14年11月)



入塾式会場

川越市さわやか活動館

入塾式挨拶 塾長代理 有山 達生涯学習課長



「地域と学校の連携」講師永石 文明 氏
やまぶき会館 中ホール



研究テーマを決める
講師 小野寺職員



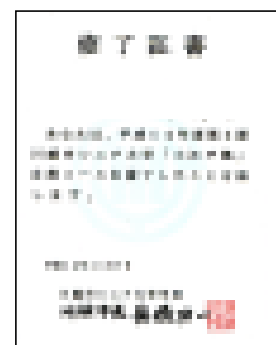
グループの実践発表
「とおりゃんせ」



1期生の新河岸グループと実践する受講生



さわやか活動館で実践活動



第2期、自然コース修了証書

平成16年度 川越市シニアカレッジ 「ふるさと塾」
 (平成16年5月～平成17年3月)



入塾式 教育長代理 上野敏雄生涯学習部長



町めぐり 時の鐘 説明



基礎学習 さわやか活動館



学習成果発表 埼玉県 川越福祉センター講堂



平成16年度「ふるさと塾」修了式

平成17年度 川越市シニアカレッジ 「ふるさと塾」

(平成17年6月～平成18年2月)



平成17年度「ふるさと塾」修了生34名と運営委員
(中央公民館 玄関前)



入塾式 やまぶき会館B・C会議室



アイスブレイク 「川越郷土かるた」取り



基礎学習「子どもたちへの支援のあり方」



修了式 修了証書授与 中央公民館

平成18年度 川越市シニアカレッジ「ふるさと塾」

(平成18年5月～平成19年2月)



平成19年2月21日 平成18年度「ふるさと塾」修了記念(北部ふれあいセンター)



入塾式 塾長挨拶 山浦秀男 川越市教育長



川越の建物めぐり 仲町 お茶亀の蔵
講師 市建築課 荒牧澄多氏



学習成果の発表 「神社の彫刻を探検しよう」
街道探検隊グループ



修了証書授与式
「ふるさと塾」塾長 山浦秀男 教育長

平成22年度 川越市シニアカレッジ「ふるさと塾」

(平成22年6月～平成22年12月)



運営委員の皆さん



川越学 講師 松尾鉄城氏(市立博物館)

受付け風景
川越市立博物館



街中散策 蔵造り商店街



グループを作って研究



学習成果発表 市立中央図書館



修了証書授与 今井文化スポーツ部副部長

平成23年度 川越市シニアカレッジ「ふるさと塾」

(平成23年6月～平成23年12月)



歴史散策 河越氏一族の墓 養寿院



グループに分かれてテーマの研究



学習成果発表 市立中央図書館



修了証書授与 今井文化スポーツ部副部長

企画部・同窓部・同窓担当

平成14年10月4日 会員親睦バス旅行（東京電力須田貝発電所）



平成14年10月4日 会員親睦バス旅行（宝川温泉）



第1期 修了生 懇親会風景(氷川会館)



H14.11 他団体交流(宇都宮市生涯学習ボランティアの会)



H15, 7 市民の為の河川学「これからの荒川づくり」



彩湖見学(模型の前で説明)



H15, 9, 16 街並みウォッチング パート I

松本醤油説明と見学



時の鐘の前で説明を聞く



時の鐘の楼上から見た街並み

H15, 10 書道は楽しい(さわやか活動館)



H16, 2 ストーンペインティング(さわやか活動館)





平成16年度 国会議事堂と日本銀行見学会

川越市内施設見学（新宿消防署見学）



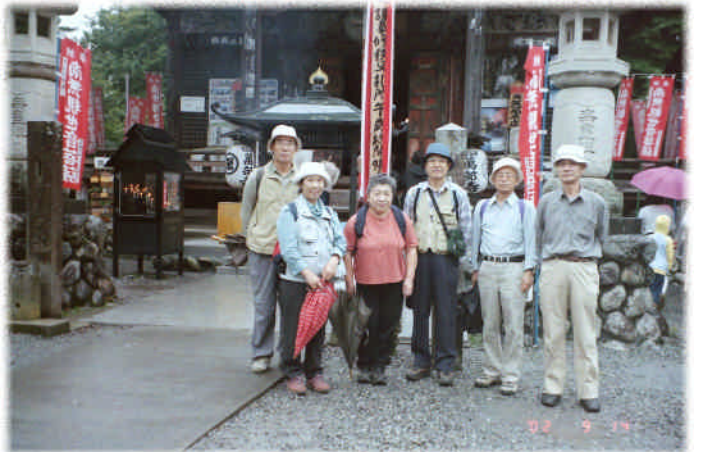
農業ふれあいセンター・旧家屋



東照宮内覧と中院見学



秩父札所ハイキング



介護講習会



介護講習会



介護講習会 障がい者体験



歌声集会(さわやか活動館)



楽しく バーベキュー大会①



楽しく バーベキュー大会②



事務局

平成19年度 定期総会とアトラクション



吉田会長のあいさつ

新三役の紹介



鈴木二郎氏の踊り



井山幸之氏の南京玉すだれ



室井三男氏と福島勇吉氏の手品

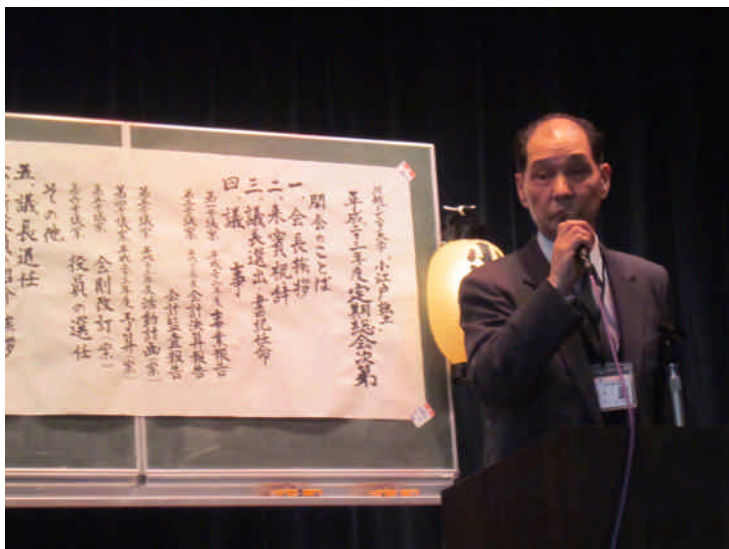


出演者者一同(中島、室井、福島、井山、工藤)



平成23年度 定期総会 於:市立図書館

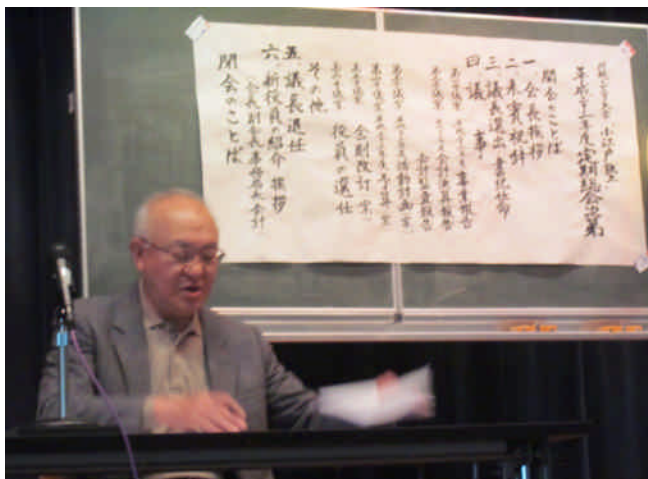
仲井会長の挨拶



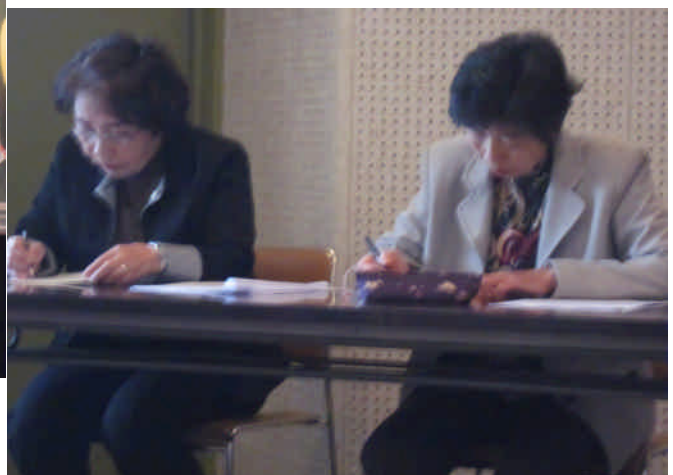
来賓 今井文化スポーツ副部長のご挨拶



議長の堀尾勝巳氏



書記の伊勢勢子さんと岡田三和子さん



本間仁事務局長



鈴木二郎同窓担当



井山幸之副会長



山崎有康副会長

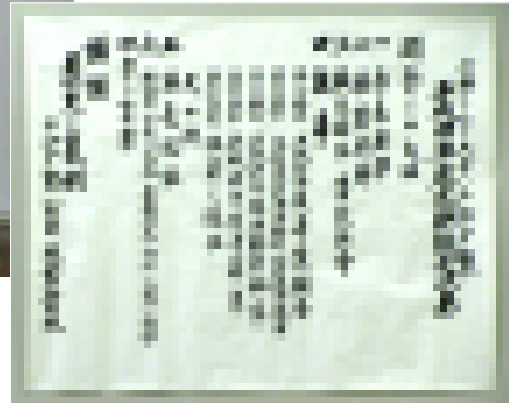


平成24年度 定期総会と講演会



岩本会長のあいさつ

総会式次第



議長の菅野仲夫氏



書記の伊勢勢子さんと岡田三和子さん



「歴史の裏側」を講演する大金正司氏



総会会場、川西市西文化会館(メルト)



舟橋功一市長に「生涯学習センター」早期建設の要望書を提出



川合善明市長に「ふるさと塾」再開の要望書提出



小江戸塾ハイキングクラブ



07.04.24 皇鈴山



07.09.19 日和出山



07.10.23 子の権現



07.11.27 御岳神社



08.04.28 館林のつつじ



08.09.09 富士山お中道バスハイク 2008.09.09



09.06.04 入笠湿原



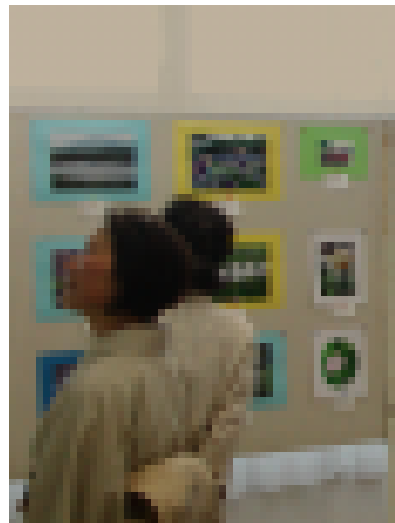
11.07.22 本白根山のコマクサ

パソコンクラブ

中央公民館 秋の文化祭展示の写真です。
2008/9/26 絵手紙を展示 (A4とハガキサイズ)



2009/9/25



2010/9/25



2011/9/25 Tシャツにプリントを転写



2007/2/20 例会風景 (中央公民館 講座室)



2007/6/19 暑気払い



「書とペン字」クラブ

① 東洋書芸展(青木代表の作品)見学



② 「my扇」づくり



⑤ 書展 (青木政代の作品)



③ 青木教室展に参加した会員の作品



④ ポーランドで日本の書のデモ



史跡めぐりクラブ



小江戸塾さわやかダンスクラブ



ゴルフクラブ



地域活動

「ペットボトルロケットを飛ばそう」

地域活動担当 大久保 彦

平成23年7月23日（土） 於；川越市大東南公民館
平成23年8月 3日（水） 於；川越市中央公民館

夏休み中、2回にわたり、児童を集めて「ペットボトルロケットを飛ばそう」を行ってきました。

特に2回目に行った中央公民館でのこの行事は、定員を上回る人気で結果的には抽選になりました。

当日は20名を超す保護者と小江戸塾・川越市が共催した「ふるさと塾」生が見学され、大変盛り上がりがありました。



順番を待つ子供たち



空気入れで空気を入れる



ペットボトルロケットは水と空気の圧力で飛ばします。飛びすぎると危険なのでコントロールするのが大変です。それでも、最高50メートル以上も飛び、子供たちは大感動でした。

終了後、子供たちにアンケートをお願いしました。「楽しかった」、「またやりたい」の声が多数を占めていました。子供たちの生き生きした、輝く瞳こそが、我々の活動の原動力なのです。そんな子供たちと会うために、次の計画に取り組んでいます。

5, 4, 3, 2, 1、発射！



終了後、アンケートを記入する



小江戸新聞

川越

ほっと

■2010.07.31

心ゆすらぐ歴史と文化のまち
川越に暮らす皆さんに
話題と情報をお届けします



先生役は市民講座のOBら 伊勢原公民館の小畔川自然探検隊



竹とペットボトルで作ったいかだに乗り、小畔川を下る子どもたち

小畔川の自然にふれあう

川越市の西部を流れる小畔川の魚や動植物を観察し、子どもたちに自然にふれてもらおうという「小畔川自然探検隊」が、31日午前9時から伊勢原町の御伊勢塚公園と吉田地内を流れる小畔川で開かれました。

これは、伊勢原公民館(戸田勝男館長)が小学生を対象に毎年行っている事業で、今年で6回目。活動は、県の水辺再生事業「彩の国水すましクラブ」にも登録されています。

シニア世代が川遊び”伝授”

この日、子どもたちの指導にあたったのは、2000(平成12)年から55歳以上を対象にした市民講座「シニア大学」で学んだ卒業生らでつくる「小江戸塾」(仲井謙介会長・約150人)のメンバー12人。子どもたちにとっては、おじいちゃん・おばあちゃんの世代。

シニア大学の趣旨が「学び合い支えあう学習を、世代を超えて進めていこう」というもので、まさにうってつけの役どころ。

自然の中で遊びを覚えたシニア世代が、外遊びが苦手な現代っ子に川遊びを”伝授”しました。

ペットボトルで帆掛け船や魚捕り罠作り

この日参加したのは、公募で集まった小学3年～5年の男女16人(男子10人・女子6人)。

最初は、御伊勢塚公園の木陰でペットボトルを使い、小魚・水生昆虫などを捕まえる罠や帆掛け船作りに挑戦。

小江戸塾のメンバーから錐(きり)やカッター、接着剤などの使い方を教わりながら慣れない工作に取り組んでいました。

一方、毎年参加しているという4年生や5年生の男の子は慣れたもの。皆が見本通りの帆掛け船を作る中、ペットボトルを幾つも組み合わせてロケットや宇宙船など、オリジナルの作品に仕上げていました。



錐(きり)やカッターの使い方を指導



毎年参加の4～5年生の中にはオリジナルでロケットや宇宙船に仕上げる子も



子どもたちにペットボトルを使った帆掛け船作りを教える小江戸塾ノメンバー



女の子もいかだに乗って“競争”？



昨年末に切った竹とペットボトルで作った3艘のいかだ



船遊びの前には救助法も勉強

自然の中で遊ぶ楽しさ知ってもらいたい

小江戸塾で小畔川自然観察隊長を務める室井三夫さんらは「小江戸塾には伝承遊びや伝統行事を教えるなど、たくさんのグループがあります。メンバーは市内各地にちらばっていますが、駆け付けて協力してくれます。子どもたちに、ふるさとの自然の中で遊ぶ楽しさなどを知ってもらえることが皆の喜びです」と話していました。（写真は伊勢原町の御伊勢塚公園と吉田地内を流れる小畔川で）

メンバー手作りのいかだで川下り

午前11時前からは、公園脇を流れる小畔川に移動。足首ほどの深さの川を歩きながら、小江戸塾のメンバーから小魚が集まりそうな場所を教えてもらい、作ったばかりの畚を水辺の草陰などに仕掛けていきました。

続いて、手作りのいかだに乗って川下りを体験。これは昨年12月、小江戸塾のメンバーらが約10人掛かりで切り置いた竹40本と、酒屋でもらった4リットルの大型ペットボトル36個を使い、22日に半日かかって組み立てたもの。1艘がペットボトル12個と竹11本でできており、この日のために3艘が用意されました。子どもたちは、いかだに括り付けられた箱に1人ずつ腰掛け、緩やかな流れの小畔川を竹竿を使いながら、約50mの区間をゆっくりと下っていました。

メンバー手作りのいかだで川下り

昼食後は川に仕掛けた畚を回収し、中に入った小魚や水生昆虫などを観察。川の生きものが描かれた下敷きと照らし合わせて取れた生きものの名前を学んでいました。参加した子どもたちは「テレビゲームより面白い」「川で遊ぶことがなかったけど、楽しかった」「ペットボトルでいろんな物が作れるんだと驚いた」などと話していました。また、一緒に参加したお父さん・お母さんからも「こういう催しをやってもらえるのはありがたい」「自然になんて興味を示さなかった子が楽しそうにしているのがうれしかった」などの声が聞かれました。



小魚などが集まる所を教わりながら畚を仕掛ける子どもたち



仕掛けるペットボトルの畚を作る子どもたち



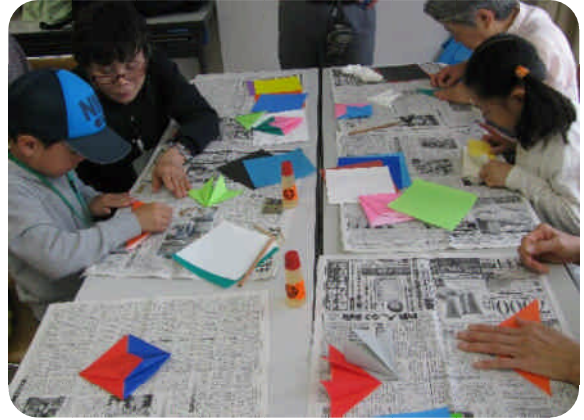
小畔川で楽しそうに遊ぶ子どもたちからは「テレビゲームより面白い」の声が

※インターネット「小江戸新聞 川越ほっと」2010年7月31号(<http://www.kawagoehot.com/>)から転載しました。

伝承遊び(折り紙・お手玉)



折り紙を折り方の説明



折り紙を折る



お手玉体操をする



お手玉出来るようになったかな

田谷堰の前で川のお話をする

新河岸川観て・遊び隊

新河岸川沿岸を歩く



濯紫公園前で水質調査をする

ボート遊びをする子ども達





凧作りと凧揚げ

凧を作りはじめる



凧たこ揚がれ天まであがれ



折り紙で
つるし雛を作ろう

いよいよ飾り付けです



折り紙で桃の花やウサギなどを作る



完成した つるし雛の前で歌を歌う



ペットボトル・ロケットを飛ばそう

作り方の説明を熱心に聞く



ロケットの完成!

第1小学校校庭で準備する小江戸塾会員



ロケットの発射!!

川越城の七不思議を探そう



川越城の七不思議の碑の前で



博物館前の霧吹き井戸



とおりゃんせの道

まちで遊ぼう!

中央公民館

七夕祭りを楽しもう



硯に墨をすり、短冊に筆で願いを書く



色紙で七夕飾りを作る



笹に短冊や飾りをつるします

節分会を楽しもう!



歌を歌いながら豆を煮る



青鬼・赤鬼に色を塗る



鉄で切って鬼の面が完成



鬼役にみんなで豆をぶつける

まちで遊ぼう!

中央公民館

伝承遊び

折り紙・あやとり



花づくり



あやとり

ワラでお正月飾りの作り方を実演する



お正月かざりできたよ!!

お正月飾りを作ってみよう

お母さんもお手伝い



まちで遊ぼう!

中央公民館

名細地区(小堤・鯨井)

湧水探検

名細公民館に集合して説明



つぎさ館近くの湧水で魚とり



八幡神社前の湧水



親子で竹トンボ



伝承遊び
竹馬・竹トンボ・水鉄砲

水鉄砲で遊ぶ



竹トンボを飛ばす



竹馬に乗る



まちで遊ぼう!

中央公民館

喜多院
おもしろ探検



喜多院の五百羅漢を見る

龍池弁財天の湧き水見学



喜多院慈眼堂の説明



氷川神社おもしろ探検

まずは御手水の作法を習う



大鳥居にある扁額の「氷川神社」の文字は勝海舟の直筆



本殿脇にある浦島太郎の彫り物



大鳥居前で神主さんの説明を聞く

大東南公民館

コマを作って 回しましょう



最初に支援者の紹介と作り方の説明



コンパスの使い方を教える



ボール紙の丸と色紙でコマ作り



作ったコマを回して競争だ



色紙で作ったコマも回るよ



最後は男女混合で競争する



みんなの広場

大東南公民館

伝承遊び (竹馬・竹トンボ・水鉄砲・ぽっくり)

始める前に準備運動



水鉄砲



竹馬に乗る練習



竹馬に乗る



竹トンボ



ぽっくり





凧造りを説明



凧を作りはじめる



公園で凧揚げ



凧を揚げる前に注意事項の説明



風がないので走る



みんな公園で走って凧揚げ



ペットボトル・ロケットを 飛ばそう

大東南公民館

受付に子ども達が続々と集まる



ペットボトルと発射台



空気入れで発射準備



支援者が手伝って発射



ロケットは水を噴射して飛ぶ！！



最後に皆さんの感想を聞く「もっと飛ばしたい」



ペットボトル・ロケットを 飛ばそう

大東南公民館

ロケットの完成見本とロケット発射台



作り方の説明を熱心に聞く



お父さんもお手伝いして完成



空気入れて発射準備



ロケットの発射！！



最後に皆さんの感想を聞いて終わり



みんなの広場

大東南公民館

折り紙でつるし雛を作ろう



ひな祭りの歌を歌う



小江戸塾支援者の紹介



菟風船をつくる



折り紙で扇を折る



桃の花を切り抜く



いよいよ飾りつけ



完成したつるし雛を見せ合う

小畔川流域探検隊

第1回 探検隊をつくろう

- ・ 霞ヶ関公民館
- ・ 霞ヶ関北公民館
- ・ 伊勢原公民館
- ・ 川鶴公民館
- ・ 名細公民館

2003. 06. 28

「小江戸塾」支援員の紹介とプログラムの説明



ゲームでアイスブレイク



班分けをします



班に分かれて新聞紙で舟づくり



舟は次回の川あそびに使用します



大きい舟、小さい舟が沢山できました



小畔川流域探検隊

第2回ウォーターワールド

川と仲良くなろう

- ・霞ヶ関公民館
- ・霞ヶ関北公民館
- ・伊勢原公民館
- ・川鶴公民館
- ・名細公民館

2003, 07, 27



麦わらで舟づくり (御伊勢塚公園の広場)



麦わらで作った舟



舟を浮かべて競争だ!!



魚を追い出し網でとります



北小畔川と南小畔川の合流点です



大きい魚がとれたよ



小畔川流域探検隊

第 3 回

夜の生き物ウォッチング

- ・ 霞ヶ関公民館
- ・ 霞ヶ関北公民館
- ・ 伊勢原公民館
- ・ 川鶴公民館
- ・ 名細公民館

2003, 08, 23



夜の生き物について説明



今日の日程などをチェックする



川の近くで虫取りの準備をする!



どんな虫がいたかな



暗くなって尾形神社の境内で昆虫探し



尾形神社の宮司さんのお話を聞く



小畔川流域探検隊

第4回 川の博物館を見学しよう

- ・霞ヶ関公民館
- ・霞ヶ関北公民館
- ・伊勢原公民館
- ・川鶴公民館
- ・名細公民館

2003, 09, 06



東武東上線「鉢形駅」から博物館まで歩く



博物館前に集合する子ども達



川の博物館の説明を受ける



いろいろな実験器具があります



水圧による切断機や川の流れの実験



帰りも各班ごとに集合します



小畔川流域探検隊

第5回下流探検

2003. 10. 12

- ・霞ヶ関公民館
- ・霞ヶ関北公民館
- ・伊勢原公民館
- ・川鶴公民館
- ・名細公民館

川の自然度調査をする子ども達①



川の自然度調査をする子ども達②



川の自然度調査をする子ども達③



下流まで歩いて探検（ビンゴゲーム）をする



変わった石などあったかな!



歩きながら水切りをする子もいる



小畔川流域探検隊

第6回 もっと自然に 親しもう

- ・霞ヶ関公民館
- ・霞ヶ関北公民館
- ・伊勢原公民館
- ・川鶴公民館
- ・名細公民館

2003. 11. 15



埼玉県自然学習センターへ公民館からバスで出発



係りの人に説明を聞く



この公園で見ることができる生き物たちの説明



公園内で鳥の巣を発見



公園内の野鳥を探そう



帰りも事務所前に集合



小畔川流域探検隊

- ・霞ヶ関公民館
- ・霞ヶ関北公民館
- ・伊勢原公民館
- ・川鶴公民館
- ・名細公民館

2003. 12. 13



御伊勢塚公園の広場で受付



全員で準備体操



ネイチャーゲームをする子供たち



木に目玉をつけてみます



水鳥公園で色々な鳥を観察しています



ご両親にハガキを書こう



小畔川自然探検隊

ウォーターワールド

伊勢原公民館

2011.08.06



うけと舟づくり



筏に乗って楽しむ子どもたち



ゴミ拾いの説明



うけの仕掛け



支援者が川の中でサポート



うけにかかった魚



小畔川自然探検隊

下流探検

伊勢原公民館

2009, 10, 10



ペットボトルでカゴの作り方を説明する

川越西文化会館（メルト）に集合



ペットボトルでカゴ作りをする子供たち

ザリガニを竿で釣っています



ザリガニ捕れたよ

湧水調査と一休み



小畔川自然探検隊

上流探検

伊勢原公民館

2009. 07. 11



J R 的場駅で集合、受けを済ませる



高麗川駅で下車高麗峠を越えて歩く



宮沢湖方面の標識をみながら進む



源流宮沢湖から小畔川へ取水している場所



宮沢湖で昼食をします



宮沢湖の周囲を歩いて観察



小畔川自然探検隊

さいたま水族館見学

伊勢原公民館

2009. 11. 14



さいたま水族館に到着



海なし県の埼玉は淡水魚水族館

水族館職員のお話を聞く



いつも楽しい屋食です



小山を見つけ早速滑って遊んで



小畔川自然探検隊

県立自然の博物館見学

伊勢原公民館

2010, 11, 14



伊勢原公民館からバスで出発



日本地質学発祥の地碑を通して博物館へ



パレオパレドキシア骨格復元模型



松かさでクリスマスツリー作りを楽しむ



長瀬石畳で昼食



宝登山神社に参拝



2010北公民館かんきょう祭り

北公民館

こどものひろば

(だるま落とし・竹馬・お手玉・けん玉等)

こどもひろば



けん玉で遊ぶ



お手玉



竹馬練習



高い竹馬



低い竹馬で乗れるかな



2011北公民館かんきょう祭り

北公民館

こどものひろば

(だるま落とし・縄跳び・折り紙・あやとり等)

こどもひろばの準備



ペットボトルとビー玉で遊ぶ



ダルマ落とし



縄跳び



折り紙



あやとり



「総合的な学習の時間」支援

仙波小学校 4年生そうGO!

わたしたちの川

(単元のねらい)

新河岸川や不老川などの身近な川に繰り返しかかわり、そこに見られる生き物や植物、水質などを調べたり、昔の川の様子や川を守る活動について考えたりすることを通して、身近な自然環境と自分の生活とのかかわりについて考えることができる。

(関心・意欲・態度)

- ・身近な川に関心をもち、友達と協力しながら課題を追求しようとする。
- ・川に繰り返しかかわりながら、身近な自然環境に親しもうとしている。

(表現・技能)

- ・課題を追求するために必要な情報を集め、それを自分なりに工夫してまとめることができる。
- ・課題について、追求したことを自分の言葉でいろいろな人に伝えることができる。

(自己への理解)

- ・地域の川について理解を深めるとともに、地域のよさを見直し、自分の生活と結びつきや今後の川とのかかわりについて考える。

活動時間 (時間) 1学期・・・ 時間 2学期・・・ 時間

4月・5月

・6月・7月

9月・10月

・11月

ふれる・つかむ

見通す・調べる

まとめる・生かす

興味、関心をもつ

- ①川に出かけて、感じる。
- ②川についての話、情報を得る。
- ③自分の課題をもつ

どんな課題？
クラス単位？
学年単位？

調べる方法を知り、調べる

- ①調べる計画を立てる
- ②調べる
個人か、グループか
- ③中間発表をする
- ④さらに調べ活動をする

どんな調べ方
ボランティア

自分の言葉でまとめて発表・発信

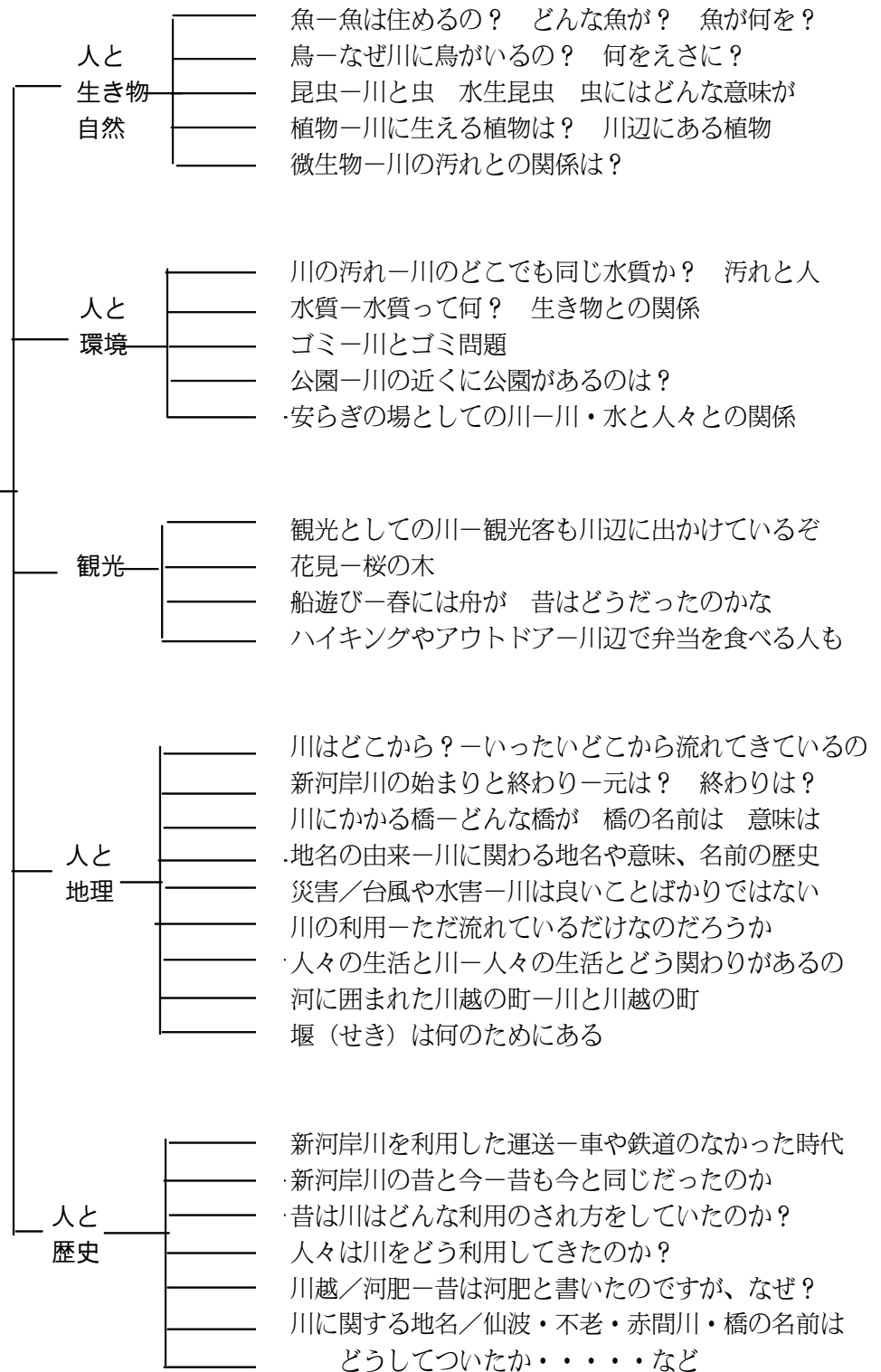
- ①まとめる
- ②発表会
- ③発信

どんな発表？





わたしたちの川 新河岸川



●まだまだ、いろんな課題（テーマ）が考えられますよ。同じことを調べるより、一人一人が違ったテーマで学習し、お互いに知らないことを学び合えるといいよね。

そうGO！学習

わたしたちの川 新河岸川のお話

川越市立仙波小学校

4年生の児童が調べた新河岸川の地図(廊下に貼ってある)



4年生児童に新河岸川の話をする会員



新河岸川の歴史・環境などをせつめいする渋谷氏



川の生き物や植物を観察すると楽しい



模造紙や黒板に地図などを書いて説明している



聞いたことを熱心にノートにメモする児童



そうGO！学習

わたしたちの川 川たんけん

川越市立仙波小学校

仙波小学校の和室に集合した支援者と打ち合わせ



校庭で小江戸塾支援者を児童に紹介する



浮嶋神社の湧水や伝説を調べる



新河岸川の周辺を調べる



赤間川公園で歴史などを調べる



濯紫公園前で水質や生き物を調べる



そうGO！学習

わたしたちの川 新河岸川調査

川越市立仙波小学校

校庭に集合する4年生の児童の皆さん



小江戸塾支援者を児童に紹介する



川越駅から川越市駅まで電車体験して月吉陸橋へ



川の生き物や植物を観察



水辺の近くで観察する



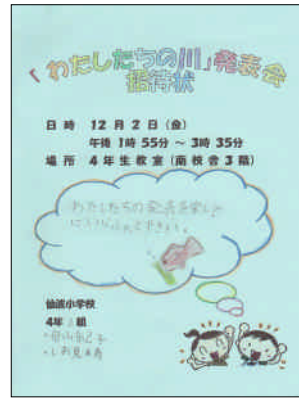
学業の神様柿本人麻呂神社に参拝



そうGO！学習

わたしたちの川 発表会

川越市立仙波小学校



「わたしたちの川」発表会 招待状

「わたしたちの川」発表の会のはじまり



教室の入り口に発表するポスター



魚・鳥の生態などを見て思ったこと



汚い川・きれいな川をしらべた



新河岸川の流れ・舟や曲りについて



水辺の生物について発表する



小江戸塾ホームページとメーリングリスト

I T担当山崎有康

1. 小江戸塾ホームページとメーリングリストの経過

2006年	1月	理事会で、I T活用を検討、準備グループメンバー募集スタート。
	5月	第1回準備会議開催
	8月	月報でアンケート実施（メールアドレス等） 集計結果：回答数107、パソコン所有81名、アドレスあり49名、
	10月	第1回運営会開催（準備グループメンバー→運営グループに移行）
	10月	小江戸塾メーリングリストスタート（参加者45名）
2007年	7月	ホームページ作成準備開始
	10月	運営会議月1回から2回に（2007年10月から1年2ヶ月間）
	10月	無料ホームページサイト利用開始
	11月	会議会場へパソコン持参実習開始
2008年	2月	小学校学年別漢字配当表配布
	8月	小江戸塾ホームページ仮オープン
	9月	有料サイト契約
2009年	4月	小江戸塾ホームページ正式スタート（ http://ko-edo.web.infoseek.co.jp/ ）
2010年	9月	Yahoo!JAPAN、goo、Google等の検索で、小江戸塾がヒットし始める。
2011年	7月	新サーバ契約（使用中のサーバは2012年5月閉鎖）
	12月	新旧のホームページ併行稼働（旧ページには、新ページへ自動リンクを設定）
2012年	1月	新サーバで正式スタート（ http://ko-edo.sakura.ne.jp/ ）

2. 小江戸塾メール数とホームページアクセス数実績

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	総計
メール本数	30	97	106	100	117	93	23	566
備考：2006年は10月開始、2012年は5月末まで								

年度	2009	2010	2011	2012	総計
HPアクセス数	464	573	768	175	1,980
備考：2009年は6月からカウント、2012年は5月末まで					

3. 広報I T化グループメンバー表

2006. 5～	井山、神田、島貫、高木、仲井、西澤、水田、山崎
2006. 7～	井山、神田、島貫、高木、田嶋、仲井、水田、山崎
2006. 10～	井山、仲井、水田、山崎
2007. 4～	安西、井山、鈴木(健司)、土井、仲井、水田、山崎
2007. 8～	井山、小池(清)、鈴木(健司)、土井、仲井、本間、水田、山崎
2007. 11～	井山、大久保、小池(清)、鈴木(健司)、土井、仲井、本間、水田、山崎
2008. 4～	井山、菅野、佐野、土井、仲井、本間、水田、山崎
2009. 1～	井山、菅野、佐野、仲井、本間、水田、山崎
2012. 5～	井山、菅野、佐野、仲井、本田(清)、本間、水田、山崎

4. 小江戸塾ホームページ作成と運用を正当に実施するために、2008年3月、次ページの通りの基準と指針を、設定した。

5. 小江戸塾ホームページの「トップページ」と「楽しい遊びの募集」の画面表示を続けて掲載する。

小江戸塾ホームページの作成基準と運用指針

1. 小江戸塾ホームページの目的

- 1) 小江戸塾の活動の内容を早く、正確に、多数の人たちに伝えること（保護者、公民館の職員、学校の先生に対して小江戸塾の活動を伝えること、信頼を得ること）
- 2) 支援活動の対象者（主に小学生）の参加増に役立てること
- 3) 上記の活動伝達により、小江戸塾の継続、発展を図ること

2. ホームページ作成基準

- 1) このホームページのターゲット
 - a. 現在の小江戸塾の支援活動の対象である小学生3年生から6年生
 - b. この子どもたちの保護者（子どもたちの参加を促す）
 - c. この子どもたちの活動支援に関与する公民館の職員、学校の先生（支援要請に結びつける）
- 2) 情報源（情報作成者）
 - a. 小江戸塾の活動を行う組織が作成した情報
 - b. 各組織がホームページに掲載のために作成した内容
- 3) 作成内容
 - a. 主に小江戸塾の支援活動の対象者（小学生）が参加をしたくなるような情報内容
 - b. さらには、友達にもこのホームページを口コミで宣伝してもらえそうな内容
- 4) ホームページ作成
 - a. 情報源からの情報に基づいて、ホームページという形に作り変えて作成
 - b. 見る側（小学生）が見やすく、興味を持ち、喜んで見るような画面を作成
 - c. 広報部の中にあるIT化運用グループが作成を担当
 - d. いつから掲載（発表）するかは、情報作成者（情報源）が明示
- 5) ホームページ表現方法
 - a. 対象とする小学生向けのわかりやすい表現、文字サイズ、文章量、イラストや写真を併用
 - b. 小学生がアクセスしやすい訴求効果を考慮
 - c. 保護者、職員、先生向けのページのリンク元部分に、「保護者の皆様へ」等の文言を配置
 - d. プライバシーを考慮
 - e. 公開されているガイドブックの利用（特に子供向けコンテンツ用）

3. 掲載内容

- 1) 遊びの募集
- 2) 最近の遊びの様子（約半年分）
- 3) 過去の遊びの様子一覧
- 4) 小江戸塾とは（保護者、公民館職員、先生向け）
- 5) 小江戸塾会員向けのページは必要であれば別途検討

4. 運用

- 1) 連絡先としてメールアドレスを掲載する。窓口・対応は
 - a. 小江戸塾活動に関する問い合わせ、連絡には、小江戸塾会長、副会長、事務局長を窓口とする。
 - b. ホームページ画面、動作に関する問い合わせ、連絡には、IT化運用グループが対応する。
- 2) 情報源（情報作成者）からHP掲載情報をIT化運用グループへ連絡するルートは、
 - a. 小江戸塾メールを活用
 - b. CDその他メディアで
- 3) 定期的に更新
 - a. 情報作成者は、新しい情報を定期的に作成する。
 - b. IT化運用グループは、情報源から受け取った情報を速やかにページに掲載、更新する。

以上

トップ

楽しい遊び
ぼしゅう

さいきんの
遊びのようす

遊びのようす
記録ーらん

小学校
そう合学習
川たんけん

保護者先生方
小江戸塾紹介

サイトマップ

こ え ど じゅく 『小江戸塾』

たい けん がく しゅう さん か
楽しい遊び(体験学習)に参加しよう！



楽しい遊びに
さんか(参加)しよう
(小学生)

さいきん(最近)の
遊びのようす

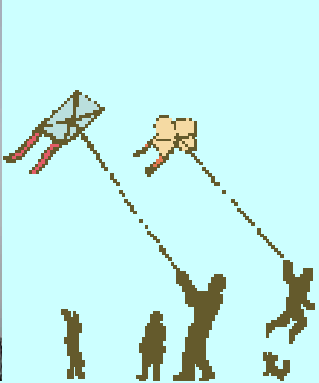
川たんけん
しょうがっこうそうごうがくしゅう
小学校総合学習

遊びのようす
きろく(記録)ーらん

保護者/先生方へ
公民館の方へ
小江戸塾の紹介

サイトマップ

ちゅうおうこうみんかん
中央公民館
たこ
“凧を作って遊ぼう”



こ う てい た こ あ
—— 第1小学校校庭で凧揚げ



ロケット、発射！(川越第一小学校、関連記事は裏表紙)

大切です。早めの相談、周囲の気づき：2

保育園・家庭保育室、入園・入室のお知らせ：6

川越から世界へ：10

●「社協だより」が折り込まれています

●「第8回川越市生涯スポーツフェスティバル」が同時に配布されます

*川越市ホームページ(<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>)でも、広報川越をご覧になれます。

広報

川越

No.1254

平成23年9月10日

(毎月10日・25日発行)



川越市マスコットキャラクター
「ときも」

2012年、川越市は
市制施行90周年
を迎えます。

みんなでペットボトルロケットを作って飛ばそう。

平成23年8月3日第一小学校の校庭で

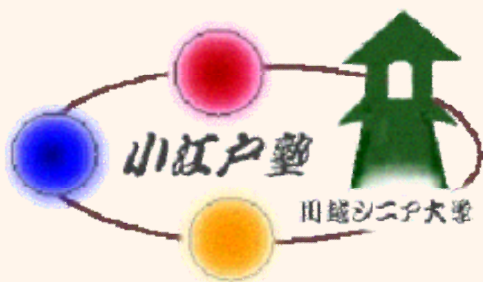
広報川越の表紙を飾りました。(平成23年9月10日 No.1254)



こあぜがわ さかな
小畔川で魚とり



こあぜがわどて こんちゅうさいしゅう
小畔川土手で昆虫採集




川越シニア大学

『小江戸塾』 広報担当

『小江戸塾』 へのお問い合わせは

お問い合わせ記入用紙へ(リンク)

<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="background-color: #90EE90; padding: 5px;">トップ</div> <div style="background-color: #FF69B4; padding: 5px;">楽しい遊び ぼしゅう</div> <div style="background-color: #FFD700; padding: 5px;">さいきんの 遊びのようす</div> <div style="background-color: #FFA500; padding: 5px;">遊びのようす 記ろくーらん</div> <div style="background-color: #90EE90; padding: 5px;">小学校 そう合学習 川たんけん</div> <div style="background-color: #FFD700; padding: 5px;">保護者先生方 小江戸塾紹介</div> <div style="background-color: #00CED1; padding: 5px;">サイトマップ</div> </div>					
 たの あそ ぼ しゅう 楽しい遊び (募集) 更新日2012年6月4日					
募 集	テーマ	開 催 日 (かいさい び)	場 所 (ばしょ)	申 し 込 み 先 (もうしこみさき)	メ モ
募集中	折り紙や お手玉で 楽しく遊 ぼう	6月16日 (土) 9:30~11:30	中央公民館	中央公民館 往復ハガキに ・催し名 ・住所・氏名・ふりがな ・電話番号 ・学年 ・保護者参加の場合は氏名 を明記し、6月2日(土)(必 着)までに郵送してくださ い。	「遊べる折り紙」を折ってみます お手玉を使って皆で楽しく遊び ます。 ・小学1~4年生 (保護者参加可) ・定員30人 ・経費100円
募集中	七夕祭り を楽しも う	6月23日 (土) 9:30~11:30	中央公民館	中央公民館 往復ハガキに ・催し名 ・住所・氏名・ふりがな ・電話番号 ・学年 ・保護者参加の場合は氏名 を明記し、6月16日(土) (必着)までに郵送してく ださい。	七夕祭りの由来や、伝説話を聞い たりして皆で七夕飾りを作り楽 しく遊びます。 ・小学1~4年生 (保護者参加可) ・定員30人 ・経費100円
これから の募 集予定	竹馬、竹 トンボ、 水鉄砲で 遊ぼう	7月21日 (土) 9:00~11:30	中央公民館	中央公民館	竹馬、竹トンボ、水鉄砲などを使 って皆で楽しく遊びます 竹馬は一人で乗れるようになっ たら認定書を進呈し表彰します。
これから の募 集予定	ペットボ トルでロ ケットを 作ろう	7月28日 (土) 9:30~11:45	大東南公民 館 富士見公園	大東南公民館	ペットボトルや牛乳パックの廃 材を使ってロケットを作り空へ 飛ばしてみます。
年間の予定一覧表へ					

川越シニア大学「小江戸塾」10周年記念誌

『小江戸塾』10年の歩み

平成24年10月15日発行

編集 「小江戸塾」10周年記念誌編集委員会

発行 川越シニア大学「小江戸塾」

会長 岩本 浩一

TEL&FAX 049-246-3799

印刷 株式会社 わかば

川越市小堤677-1 TEL 049-299-4350

